

次期総合計画策定に関する市民意見

＜目 次＞

①市政アンケート	2
②キックオフシンポジウム	12
③WEBアンケート	
(1)子育て世代アンケート	14
(2)若者アンケート	34
(3)通勤通学者アンケート	46
④高校生アンケート	67
⑤高校生と市長との懇談会	73

平成31年3月11日

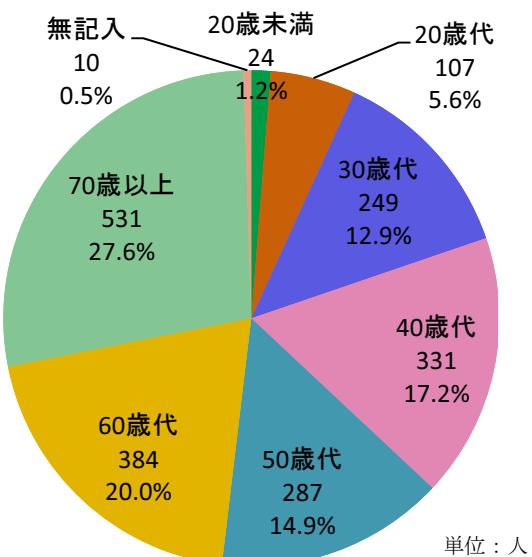
四日市市 政策推進部 政策推進課

1. 次期総合計画策定に関する市民意見について

1. 市政アンケートによる次期総合計画策定に関する意見について

○第46回 市政アンケート調査 (平成30年9月実施)

- ・アンケート調査数 5,000人
(市内在住の18歳以上の方から
無作為抽出)
- ・有効回答数 1,923人
- ・回答率 38.5%

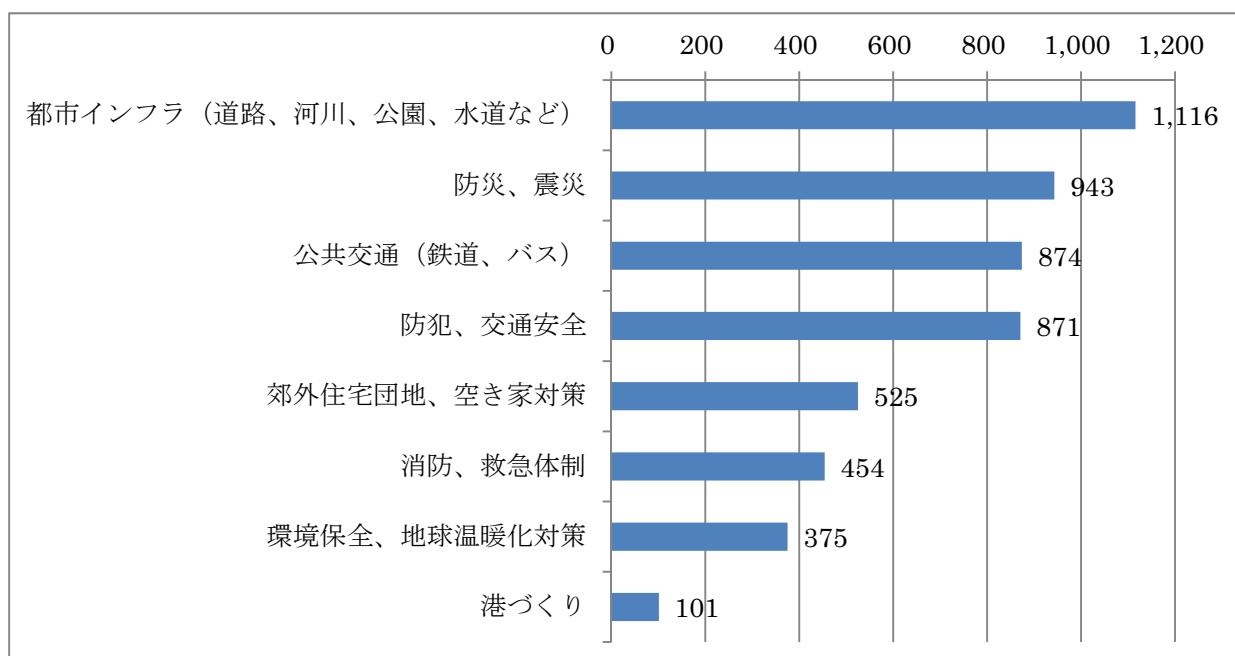


○次期総合計画の策定について

四日市市が住みやすいまちとなるため、各分野において、長期的な視野で将来に
向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。

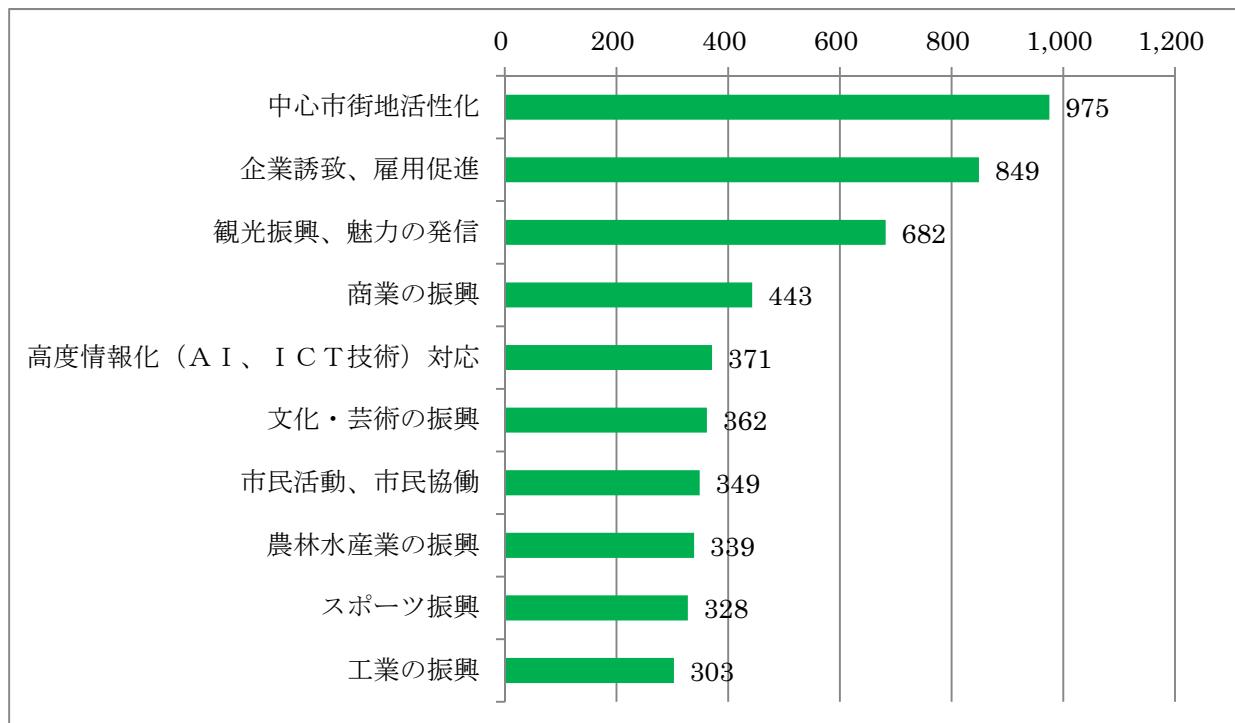
3つまで選んで番号に○をつけてください。

(1) まちづくり・環境・防災・防犯・港湾



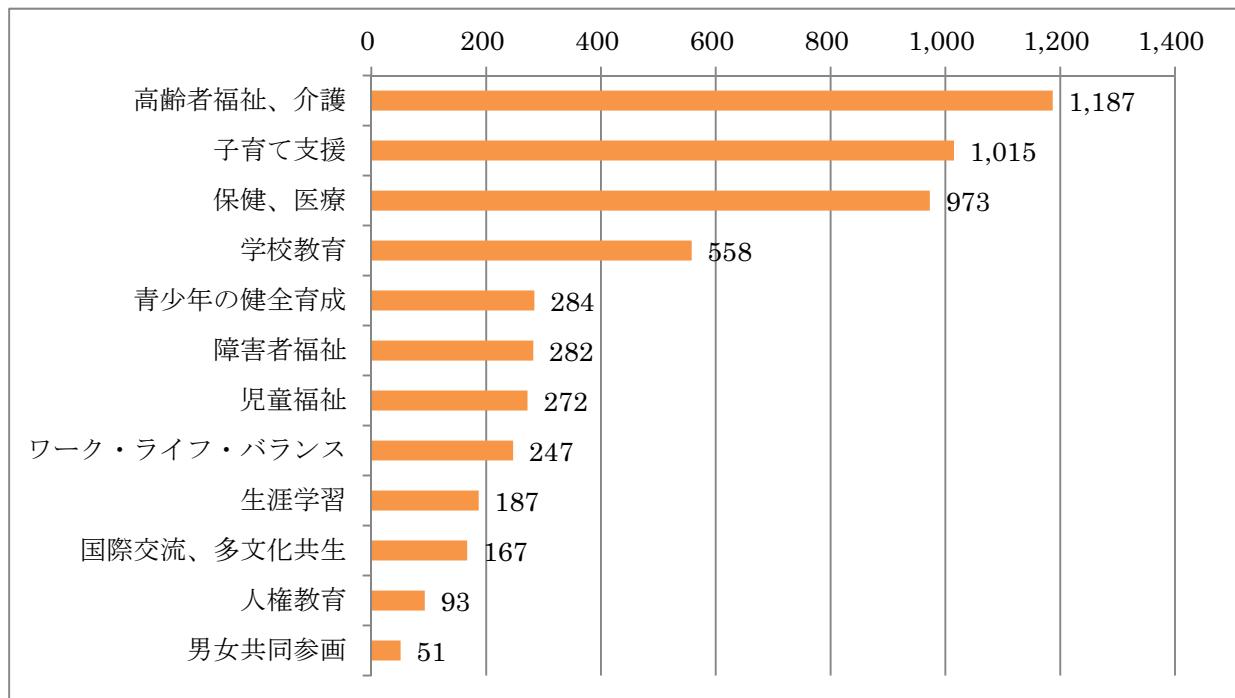
※無回答 50人

(2) 産業・観光・市民活動・文化・スポーツ



※無回答 83 人

(3) 子育て・保健・福祉・人権・教育・国際交流



※無回答 58 人

四日市市の重要な取り組みについて

9～10ページでは、現在、市が取り組んでいる重要な取り組みのうち、三つのことについてお尋ねします。

■9ページ 「次期総合計画（※）について」

市では、2020年度から2029年度までを計画の期間とする、次期総合計画を2018年度と2019年度の2カ年かけて策定を進めます。

これまでのページでは、市が現在行っているさまざまな取り組みに対する満足度や、この先当面の間で特に期待する取り組みを伺いましたが、ここでは総合計画の策定に当たり、長期的な視野で「将来の四日市市」が力を入れていくべき分野や取り組みについて、皆さんのご意見をお聞きします。

※総合計画

市のまちづくりの基本となる計画。

長期的な視野で「今後のまちづくりをどうしていくのか」という方向性を示すもので、市民や企業の皆さんと市が一体となって四日市のまちづくりを進めるための指針となります。

■10ページ 「シティプロモーションについて」

四日市市の良さを市内外にPRしていくに当たり、皆さんのご意見をお聞きします。



あと4ページです
引き続きご協力を
お願いいたします

次期総合計画の策定について、ご意見をお聞かせください

問2. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【まちづくり・環境・防災・防犯・港湾】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）
2. 公共交通（鉄道、バス）
3. 郊外住宅団地、空き家対策
4. 環境保全、地球温暖化対策 | 5. 防災、減災
6. 消防・救急体制
7. 防犯、交通安全
8. 港づくり |
|--|---|

問3. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【産業・観光・市民活動・文化・スポーツ】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 中心市街地活性化
2. 農林水産業の振興
3. 工業の振興
4. 商業の振興
5. 企業誘致、雇用促進 | 6. 高度情報化（AI、ICT 技術）対応
7. 観光振興、魅力の発信
8. 市民活動、市民協働
9. 文化・芸術の振興
10. スポーツ振興 |
|--|---|

問4. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【子育て、保健、福祉、人権、教育、国際交流】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 子育て支援
2. 児童福祉
3. 保健、医療
4. 高齢者福祉、介護
5. 障害者福祉
6. 学校教育 | 7. 生涯学習
8. 青少年の健全育成
9. 人権教育
10. 男女共同参画
11. ワーク・ライフ・バランス
12. 国際交流、多文化共生 |
|---|---|

2 四日市市の重要な取り組みについて

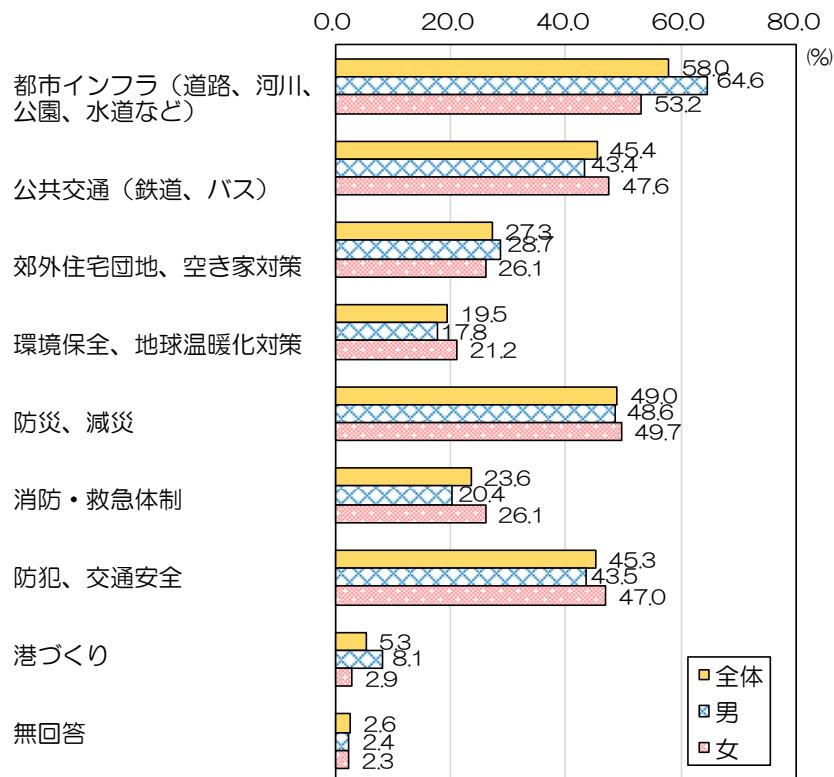
(1) 次期総合計画の策定について

【まちづくり・環境・防災・防犯・港湾】

問2. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【まちづくり・環境・防災・防犯・港湾】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

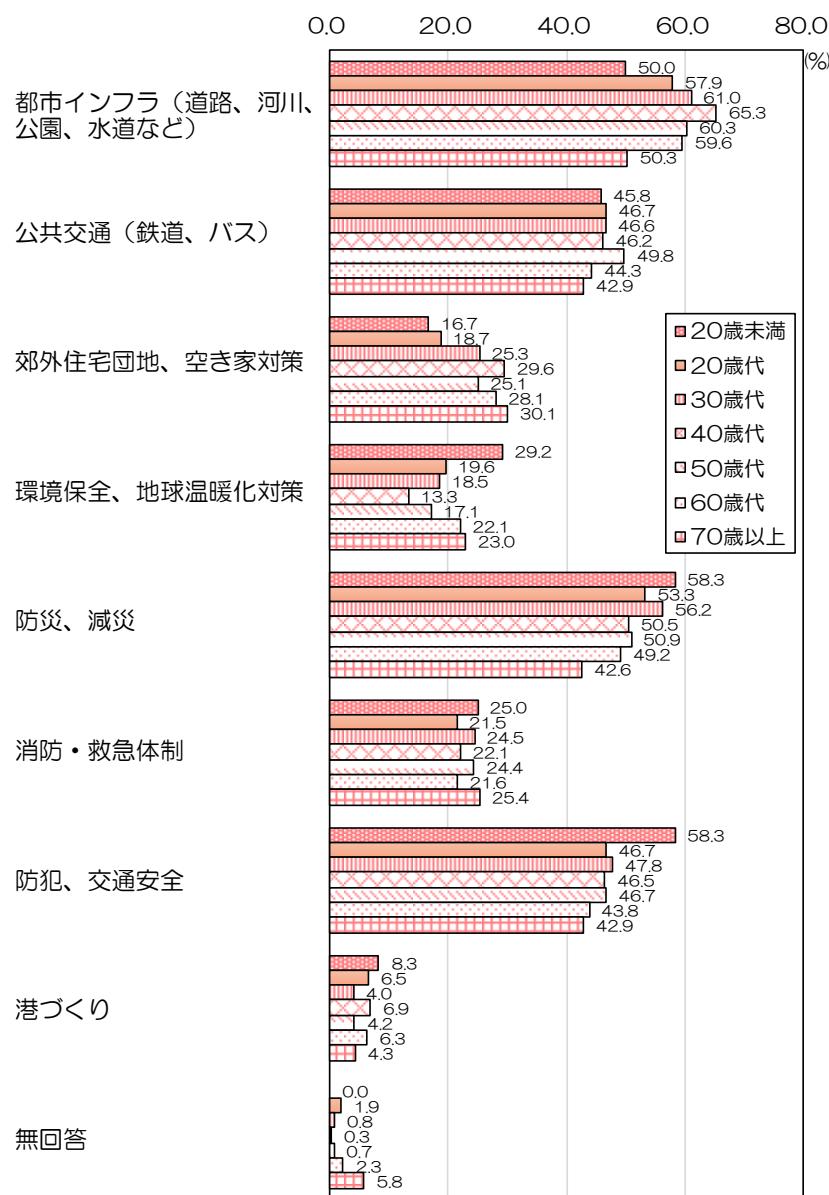
「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」が半数以上であり、男女とも最も多く挙げられている

- 【まちづくり・環境・防災・防犯・港湾】の分野において、特に力を入れて取り組むべきことを聞いたところ、「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」が最も多く、半数以上（58.0%）の人が挙げています。次いで「防災、減災」（49.0%）、「公共交通（鉄道、バス）」（45.4%）、「防犯、交通安全」（45.3%）などが多く挙げられています。
- 男女別にみると、男女とも最も多く挙げているのは「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」でした。男女で差が大きかった項目としては、男性のほうが高かった項目は「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」、「港づくり」など、女性のほうが高かった項目は「消防・救急体制」、「公共交通（鉄道、バス）」などとなっています。



20歳未満では「防災、減災」「防犯、交通安全」
 「環境保全、地球温暖化対策」は年齢別での差が大きい

- 年齢別にみると、20歳未満以外の年代では「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」が最も多く挙げられていました。20歳未満では「防災、減災」「防犯、交通安全」が多く挙げられています。
- 年齢別で差が大きかった項目としては、「環境保全、地球温暖化対策」（最大20歳未満29.2%、最小40歳代13.3%）、「防災、減災」（最大20歳未満58.3%、最小70歳以上42.6%）などとなっています。

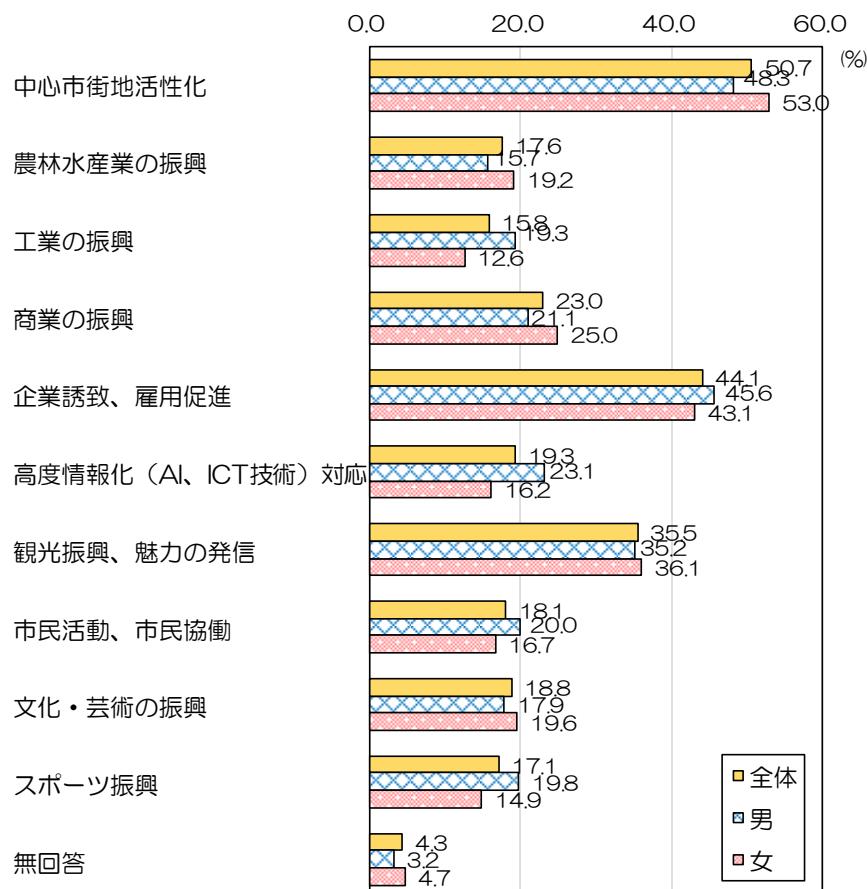


【産業・観光・市民活動・文化・スポーツ】

問3. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【産業・観光・市民活動・文化・スポーツ】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

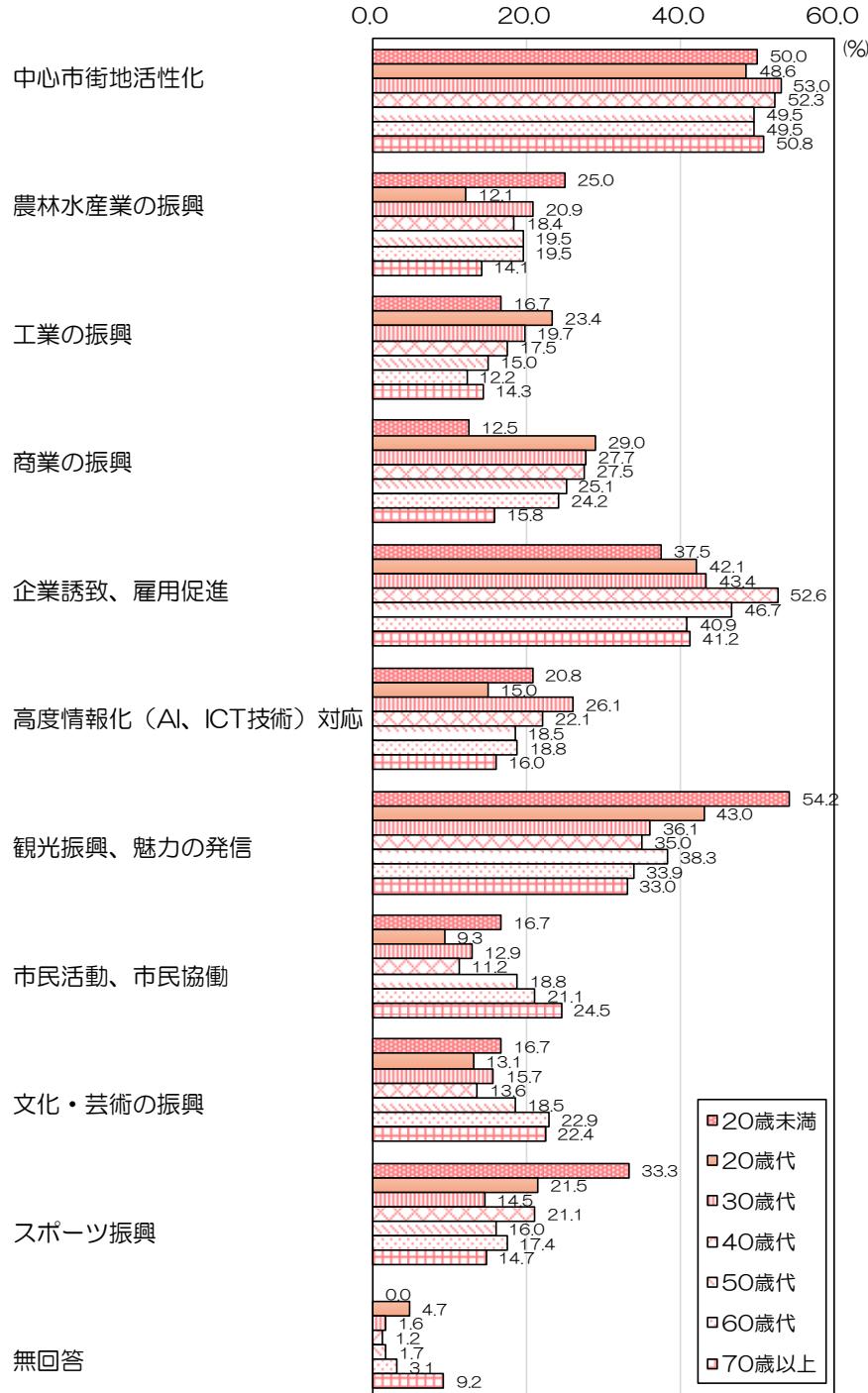
「中心市街地活性化」が半数以上であり、
男女とも最も多く挙げられている

- 【産業・観光・市民活動・文化・スポーツ】の分野において、特に力を入れて取り組むべきことを聞いたところ、「中心市街地活性化」が最も多く、半数以上（50.7%）の人が挙げています。次いで「企業誘致、雇用促進」（44.1%）、「観光振興、魅力の発信」（35.5%）などが多く挙げられています。
- 男女別にみると、男女とも最も多く挙げているのは「中心市街地活性化」でした。男女で差が大きかった項目としては、男性のほうが高かった項目は「高度情報化（AI、ICT技術）対応」、「工業の振興」など、女性のほうが高かった項目は「中心市街地活性化」、「商業の振興」などとなっています。



20歳未満では「観光振興、魅力の発信」、40歳代では「企業誘致、雇用促進」
 「観光振興、魅力の発信」「スポーツ振興」は年齢別での差が大きい

- 年齢別にみると、20歳未満、40歳代以外の年代では「中心市街地活性化」が最も多く挙げられていました。20歳未満では「観光振興、魅力の発信」、40歳代では「企業誘致、雇用促進」が多く挙げられています。
- 年齢別で差が大きかった項目としては、「観光振興、魅力の発信」(最大20歳未満54.2%、最小70歳以上33.0%)、「スポーツ振興」(最大20歳未満33.3%、最小30歳代14.5%)などとなっています。

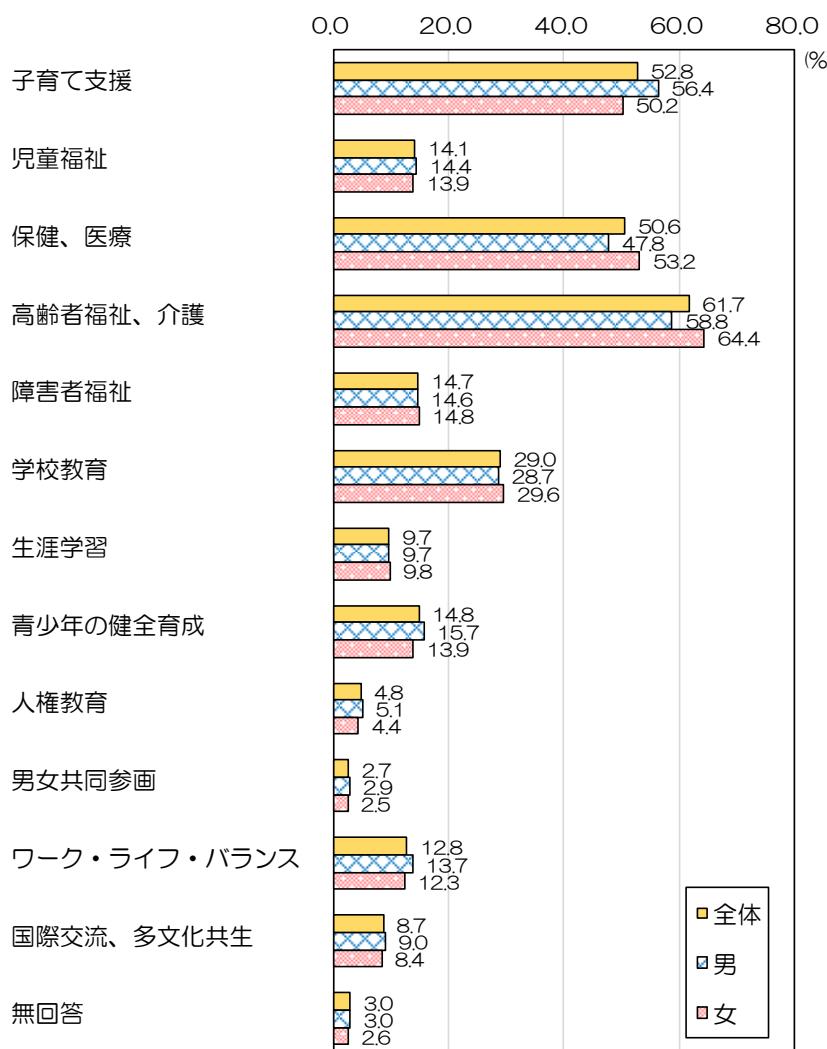


【子育て、保健、福祉、人権、教育、国際交流】

問4. 四日市市が住みやすいまちとなるため、【子育て、保健、福祉、人権、教育、国際交流】の分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

「高齢者福祉、介護」「子育て支援」「保健、医療」は半数以上
男女とも「高齢者福祉、介護」が最も多く挙げられている

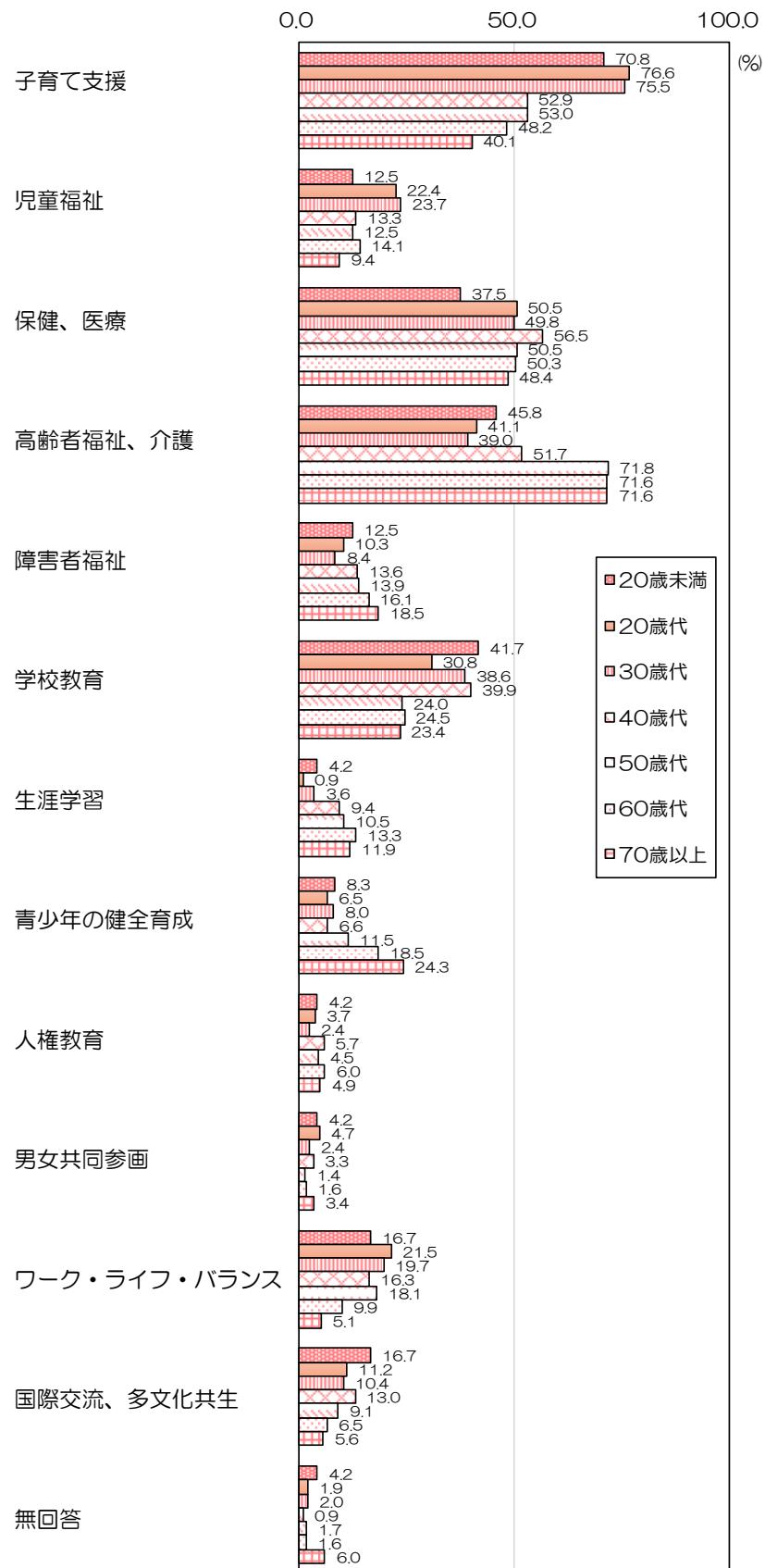
- 【子育て、保健、福祉、人権、教育、国際交流】の分野において、特に力を入れて取り組むべきことを聞いたところ、「高齢者福祉、介護」(61.7%)が最も多く、次いで「子育て支援」(52.8%)、「保健、医療」(50.6%)が多く、半数以上の人人が挙げています。
- 男女別にみると、男女とも最も多く挙げているのは「高齢者福祉、介護」でした。男女で差が大きかった項目としては、男性のほうが高かった項目は「子育て支援」、「青少年の健全育成」など、女性のほうが高かった項目は「高齢者福祉、介護」、「保健、医療」などとなってています。



20歳未満～40歳代は「子育て支援」、40歳代は「保健、医療」、
50歳代～70歳以上は「高齢者福祉、介護」

○年齢別にみると、20歳未満から30歳代までは「子育て支援」、40歳代は「保健、医療」、50歳代から70歳以上は「高齢者福祉、介護」が、最も多く挙げられています。

○年齢別で差が大きかった項目としては、「子育て支援」（最大30歳代75.5%、最小70歳以上40.1%）、「高齢者福祉、介護」（最大50歳代71.8%、最小30歳代39.0%）などとなっています。



2. 四日市市総合計画キックオフシンポジウムの開催結果について

概要

- 日時：平成30年11月25日（日）13:30～16:10
- 会場：四日市市総合会館 8階 視聴覚室ほか
- プログラム
 - ・第1部：基調講演：「総幸福最大化への道 --- クオリティストック形成とスマートシティ」
- ク
林 良嗣氏（中部大学工学総合研究所教授、
名古屋大学名誉教授）
- 参加者数：140名
- ・第2部：テーマ別分科会：82名
 - ①土地利用・環境
 - ②産業・市民活動
 - ③防災・交通・港湾
 - ④健康・医療・福祉・人権
 - ⑤教育・文化・スポーツ・生涯学習
- 報道機関：CTY



①土地利用・環境（参加者数 14名）

(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【自然共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海、山、川といった自然とまちが近い <p>【生活の利便性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・マーケットが多く、郊外でも生活の利便性が高い <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公害の事実をしっかり受け止め、資料館開設など、将来を見据えたまちづくりを進めている <p>【多様な活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が活躍している <p>【安心なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心な街が多く、住みたいエリアが多様である <p>【大都市圏へのアクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道が多く、交通アクセスが良い ・名古屋、大阪、京都といった大都市圏へのアクセスが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏から近い利便性を活かし、他市から四日市へ来てもらうまちづくりをしてほしい。 ・四日市を継続していくために、中心市街地で東海地区No.1の中心市街地の形成にチャレンジしてほしい。 ・中心市街地から郊外に向けた放射線状道路の整備と高規格化道路の整備でもっとヒトが集まりやすくなれてほしい。 ・歩道と車道との段差が多いため、バリアフリー化の推進を。 ・自然との共生に向け、田畠の農業法人化、有害鳥獣対策、里山づくりのための人材育成といった取り組みを促進してほしい。

②産業・市民活動（参加者数 12名）

(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【産業・コンビナート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場が多い ・多様性・産業集積（偏りがない） ・コンビナート企業が立地している ・かぶせ茶の生産 <p>【コンビナート・港】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客船の寄港による港が賑わってきている ・コンビナート夜景 <p>【中心市街地（現代版宿場町）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史がある ・ホテル・商業施設が充実 <p>【立地・交通アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪にも名古屋にも近い好立地 ・主要幹線道路にもアクセスしやすい <p>【人づきあい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の絆がある ・人があたたかい 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業集積、コンビナート、四日市港などに市民は誇りや愛着がある。 ・これらを含めて、行政と市民が双方向で四日市の情報や魅力をもっと共有、また相互に発信できるようになるべき ・中心市街地には戻り戻す取り組みが必要 ・地区市民センターを拠点とした市民交流や情報発信をもっと活発に ・組織内の連携だけでなく、組織・団体間の連携を活発化していくべき <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現計画の総括をきっちりと（市民にもわかるようにするべき） ・市民の将来への漠然とした不安をどう解消していくかの方向性が市民にわかってもらえるかが大事 ・三重県最大の都市としての責任を果たすべき⇒名古屋から人口を獲得していくように

③防災・交通・港湾（参加者数 17名）

(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ、防災メールが充実している ・年長者を中心に自主防の活動が活発 ・消防署が整備され、救急車が早く来てくれるようになった <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市より鉄道が充実しており利用しやすい ・あすなろう鉄道の存在も大きい ・高速ICへのアクセスが良く、他都市へ気軽に遊びに行ける ・都会からのアクセスが良い <p>【港湾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港のおかげでまちが発展している ・市街地に港が近いことが良い ・夜景も良いし、おいしい魚もたくさん釣れる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員の対応が良く、相談しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に市民自ら判断し行動できるよう、あらゆる手段を用いて即時に情報発信していってほしい ・災害時に行政を待たずに地域が動けるよう資機材の充実を ・普段から若者・子育て世代・年配の方が一緒に防災について学べる場所がほしい ・公共交通をもっと利用しやすいまちづくりを進めてほしい（例：高齢者向けシルバーパス） ・交通状況や災害情報を市民がリアルタイムで状況判断できるよう、数値化して発信してほしい ・横断歩道で車が停止するよう、交通マナー向上が必要 ・JR四日市駅の活性化、高架化して開かずの踏切の改善も ・港に市民やクルーズ客が休憩できる場所がほしい ・駅から港まで距離があり徒歩だと危険を感じるので、バスを通すなどアクセスを充実してほしい ・思い切って港の機能を霞へ集中させてはどうか

④健康・医療・福祉・人権（参加者数 19名）

(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営有料法人認定企業、地域ボランティアや活動参加者が多く、企業も含め、市民の健康づくりの意識が高い ・助成も含め、健診内容が充実しており、広報よっかいちで高齢者への周知もされている <p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院の数が多く、信頼できるかかりつけ医もいる ・全国的に見て、在宅医療が進んでいる <p>【子育て・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所が全小学校区にある ・第3子保育料無料、未就学児医療費の窓口負担無料化 ・高齢者のサロンづくりが進んでいる 	<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院と診療所の役割分担が進む中で、かかりつけ医と患者の信頼できる関係性が築いていくことよい。 ・災害時対応のためにも、ヘルプマーク（耳マーク）の普及を進めていくべき <p>【子育て・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの人の2次避難所の確保 ・電動車いす等の福祉用具の規制を緩和すべき ・障害者への医療費助成が弱い ・学童保育所数は一定あるが、待機児童もいる。 ・地域で子育てしようという動きを応援すべき。 ・民生委員の高齢化が進んでいるが、若い人も参加しやすい環境づくりが必要 ・ユニバーサルデザインの考え方を計画に反映させ、ハード・ソフト両面でのまちづくりを進めるべき

⑤教育・文化・スポーツ・生涯学習（参加者数 20名）

(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【教育・文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然にも恵まれ、教育環境なども程々に良い ・県内では学校施設数が多く、先生と生徒の距離も近い ・教育、文化活動等の大小様々なイベントがあり、子ども連れの家族も参加しやすい ・健康寿命が長く、文化の継承にもつながりやすい <p>【スポーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいスポーツ施設の完成や学校開放の利用などもあり、スポーツに触れられる環境が身近にある <p>【生涯学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区市民センターでの活動や熟年大学、市民大学など、生涯学習の機会が多くある ・大学連携の拠点が集積してきており、高等教育が盛んになる可能性を秘めている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の数が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報などを一体化して発信することで、活動やイベントに参加しやすくなるとともに活動者の育成にもつながる ・図書館等の文化施設、スポーツ施設、商業施設の充実について中途半端にならないようなまちづくりをして欲しい ・中心市街地だけでなく、小学校の図書室開放などにより、各地域における図書機能の充実も必要 ・高齢者コミュニティの充実など、余生の過ごしやすいまちづくりを ・ボール遊びができる公園や、子ども会の充実など、子どもが集まる工夫が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ＩＣＴ技術を活用して、見守りや教育などの充実につながるとよい ・交流が生まれやすい公共交通網の整備をして欲しい

四日市市総合計画策定WEBアンケート
子育て世代アンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

周辺市町に流出している子育て世代の市内定住を促進するために、北勢地域における四日市市の子育て環境の評価と課題を分析し、定住促進策の検討資料とする。

(2) 調査対象者

- ・d ポイントクラブ会員を対象。
- ・会員のうち、北勢地域及び名古屋西部地域在住の 25 歳以上 39 歳以下の人

(3) 調査実施状況

①調査期間

平成 30 年 11 月 19 日～12 月 7 日

②回収状況

回収数：1,360

居住地	対象者母数	回収数	回収率 (%)
四日市市	3,681	355	9.6
津市	3,680	295	8.0
桑名市	1,487	122	8.2
鈴鹿市	2,483	201	8.1
亀山市	702	55	7.8
いなべ市	498	35	7.0
員弁郡東員町	253	22	8.7
三重郡菰野町	447	45	10.1
三重郡朝日町	126	11	8.7
三重郡川越町	218	18	8.3
愛知県名古屋市	—	135	—
弥富市	516	41	7.9
蟹江町	417	25	6.0
合 計	14,508	1,360	

※名古屋市は、回収数が 100 以上となった日で調査を終了した。

2. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年齢

- 性別では、女性が 70.6%を占め、女性が多い。
- 年齢では、「35～39 歳」が 45.7%、「30～34 歳」が 34.9%と 30 歳代が 8 割以上を占めている。

図 2-1 性別

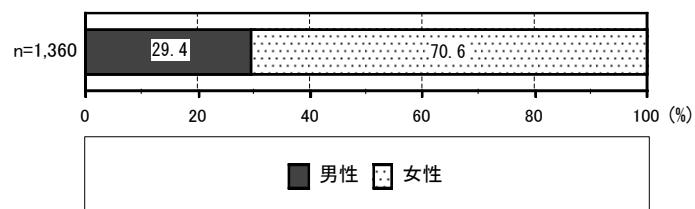
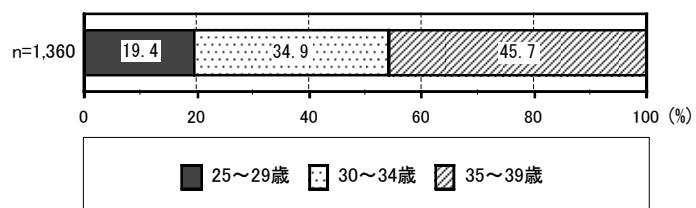


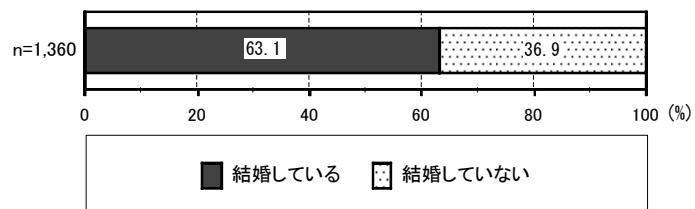
図 2-2 年齢



(2) 既婚・未婚

- 結婚の有無については「結婚している」が 63.1%あり、未婚よりも既婚の人が多くなっている。

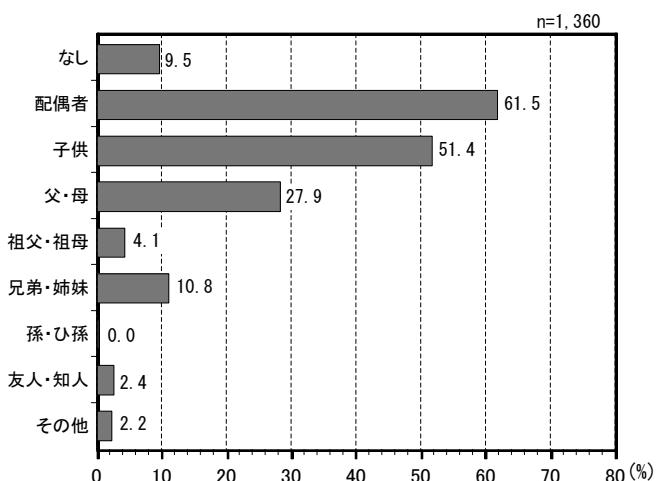
図 2-2 既婚・未婚



(3) 同居家族

- 同居家族は、「子供」が 51.4%と半数は子どもがいる人となっている。

図 2-3 同居家族

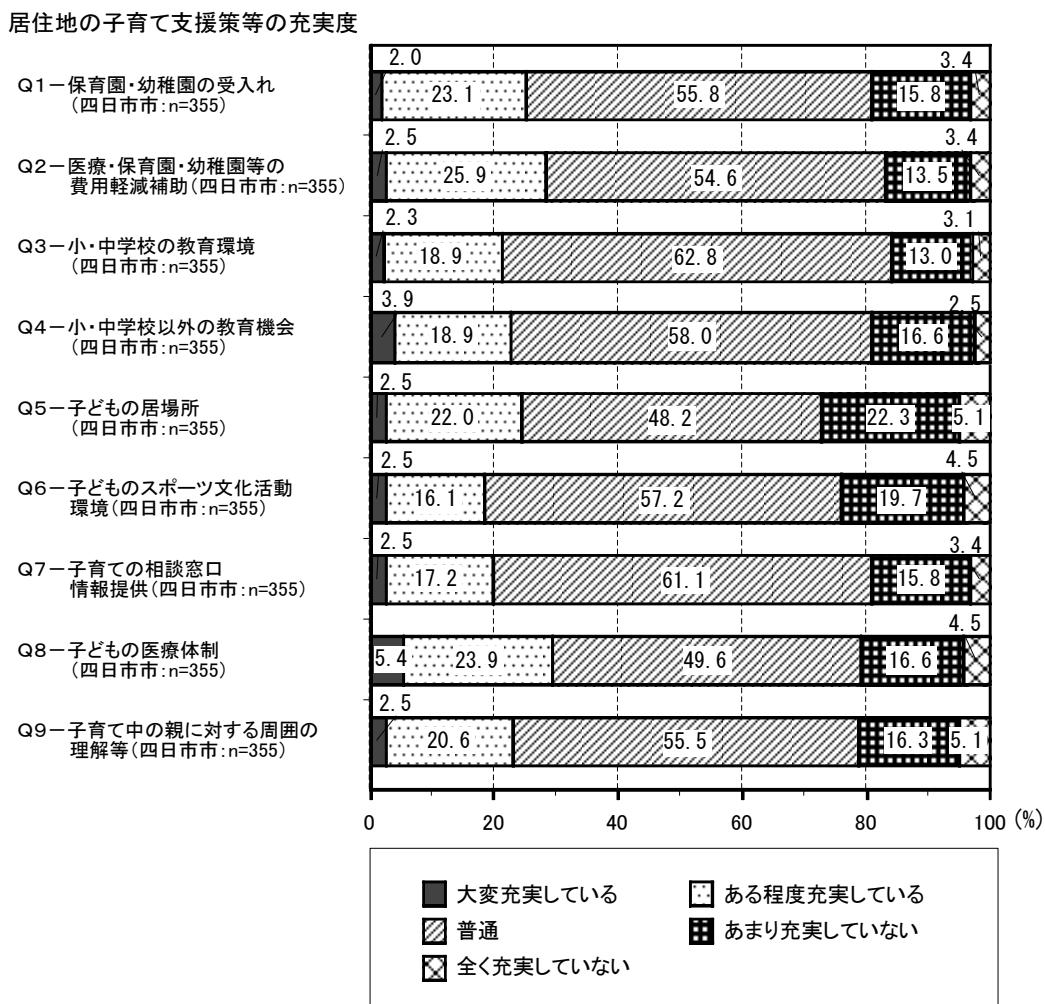


3. 子育て・教育環境の評価

(1) 四日市在住者の四日市の評価

- 四日市在住者の四日市市の子育て・教育環境の項目別評価をみると、各項目とも「普通」の割合が高く、約5～6割を占めている。
- 「大変充実している」と「ある程度充実している」を合わせたプラス評価の割合が高い項目は、「子どもの医療体制」29.3%、「医療・保育園・幼稚園等の費用軽減補助」28.4%となっている。
- 「あまり充実していない」と「全く充実していない」を合わせたマイナス評価の割合が高い項目は、「子どもの居場所」27.4%、「子どものスポーツ文化活動」24.2%、となっている。「子どものスポーツ文化活動」は、プラスの評価が18.6%と最も低い割合となっている。

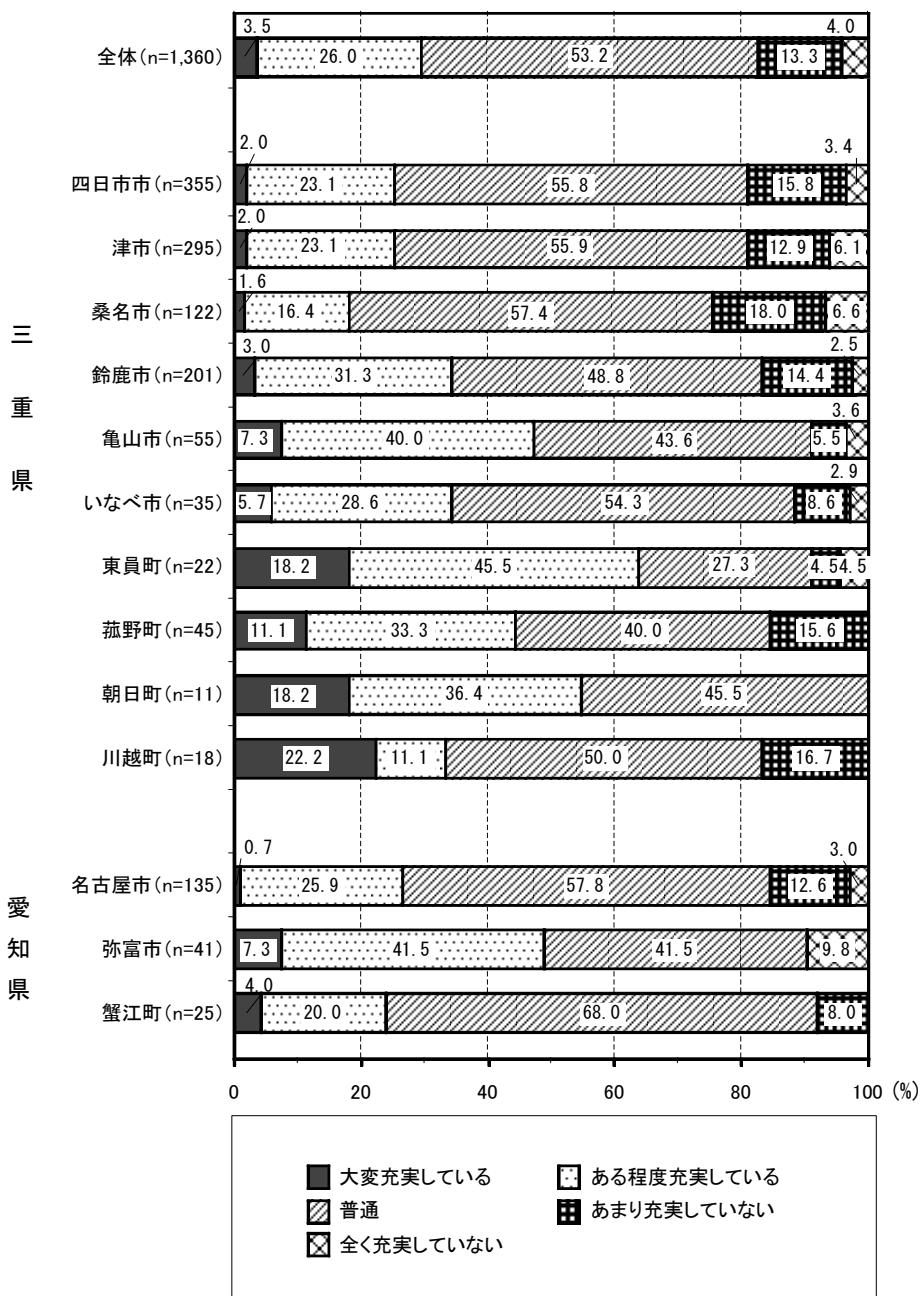
図3-1 四日市在住者の四日市の子育て・教育環境の評価



(2) 保育園・幼稚園の受入れ（施設数、定員、低年齢保育）

- 保育園・幼稚園の受入れ（施設数、定員、低年齢保育）については、「大変充実している」と「ある程度充実している」を合わせたプラス評価の割合が高い市町は、「東員町」63.7%、「朝日町」54.6%、「弥富市」48.8%、「亀山市」47.3%、「菰野町」44.4%となっている。「四日市市」は25.1%と全体平均よりもやや低くなっている。

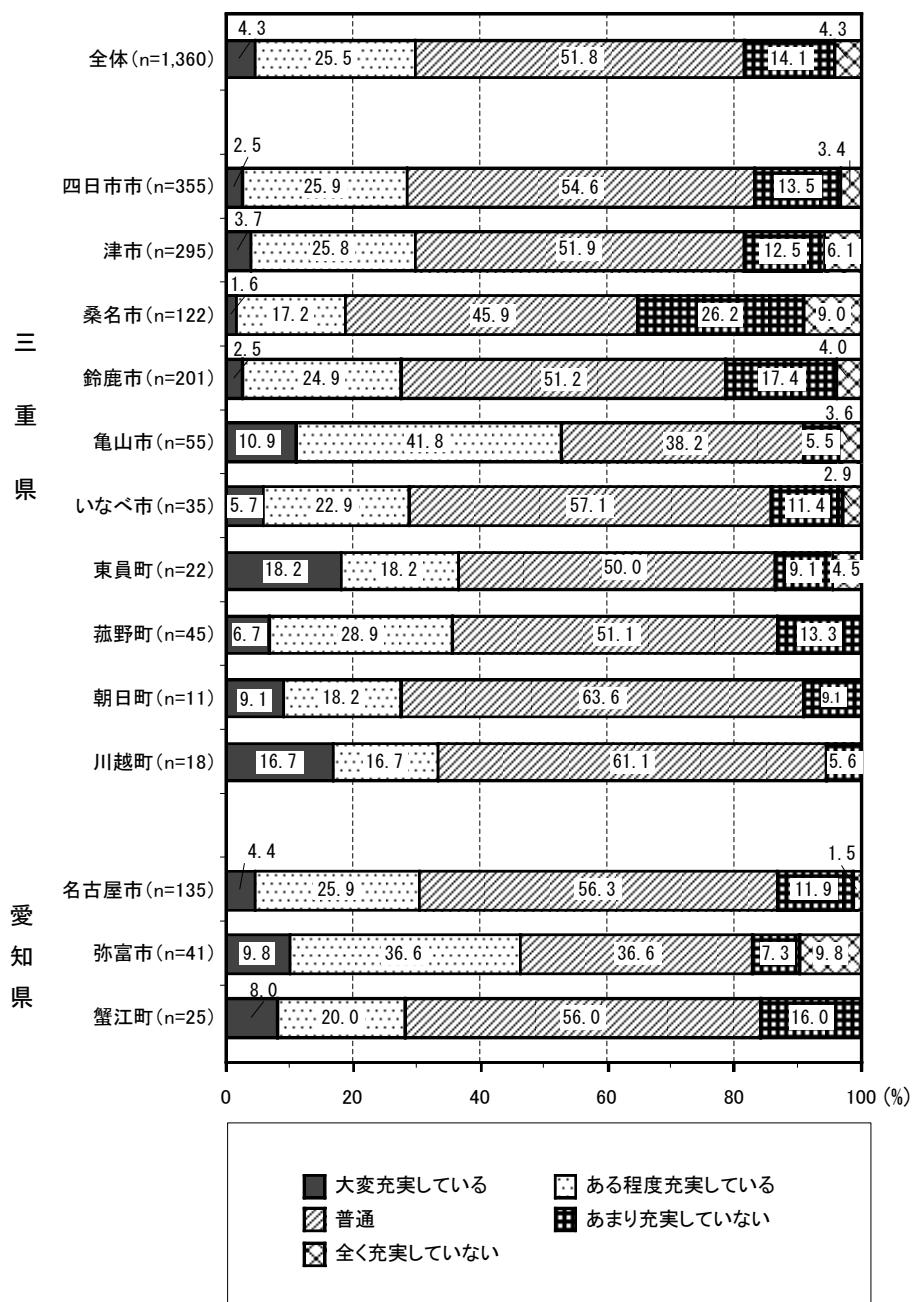
図3-2 居住地別居住都市の保育園・幼稚園の受入れの評価



(3) 医療費、保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助の評価

- ・医療費、保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助については、プラス評価の割合が高い市町は、「亀山市」52.7%、「弥富市」46.4%、「東員町」36.4%、「菰野町」35.6%「川越町」33.4%となっている。「四日市市」は28.4%となっている。
- ・「桑名市」はマイナス評価の割合が35.2%あり、最も評価が低くなっている。

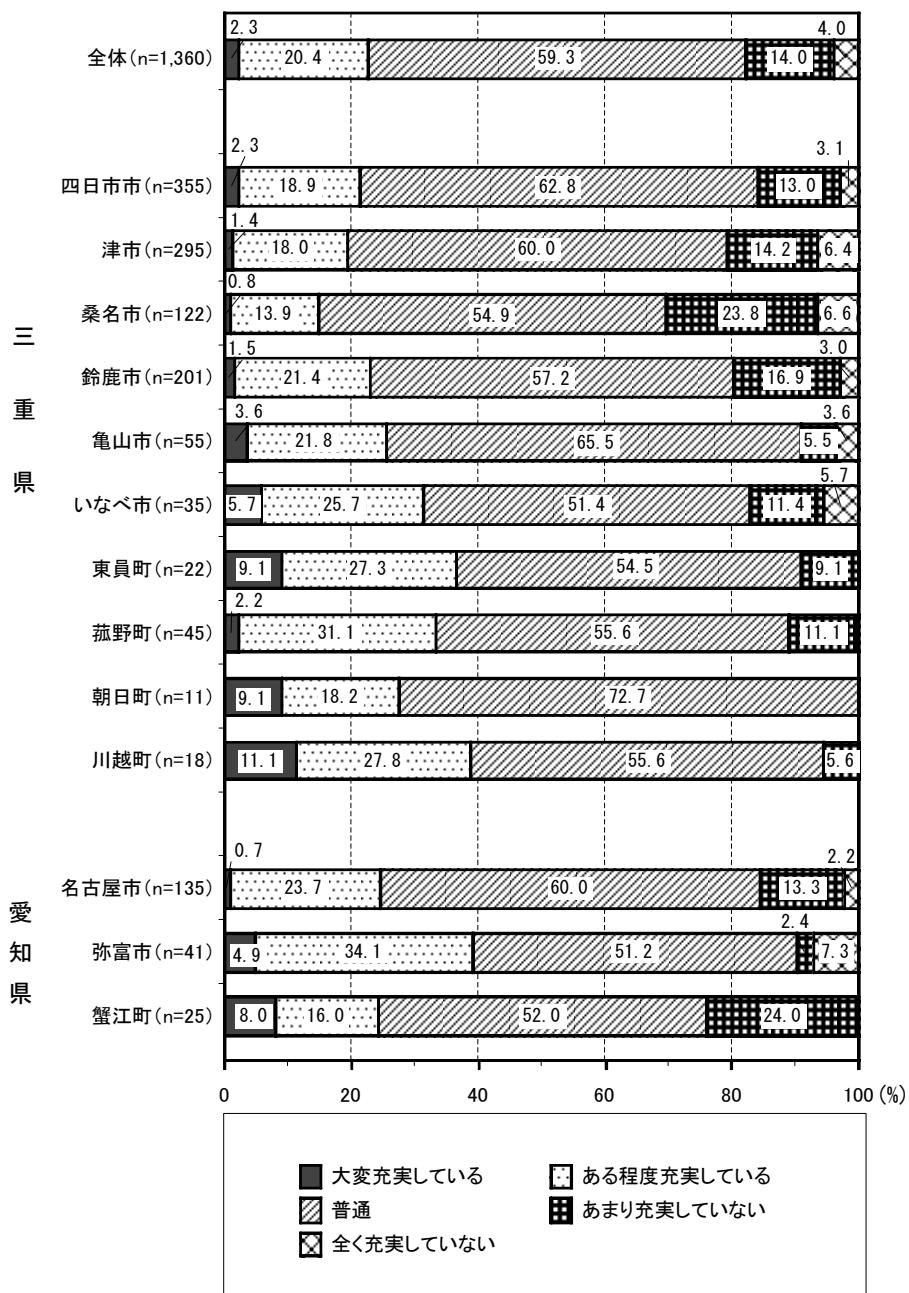
図3-3 居住地別居住都市の医療費、保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助の評価



(4) 小・中学校の教育環境の評価

- ・小・中学校の教育環境の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「弥富市」39.0%、「川越町」38.9%、「東員町」36.4%となっている。「四日市市」は21.2%と全体平均よりもやや低くなっている。
- ・マイナス評価の割合が高いのは「桑名市」30.4%、「蟹江町」24.0%となっている。

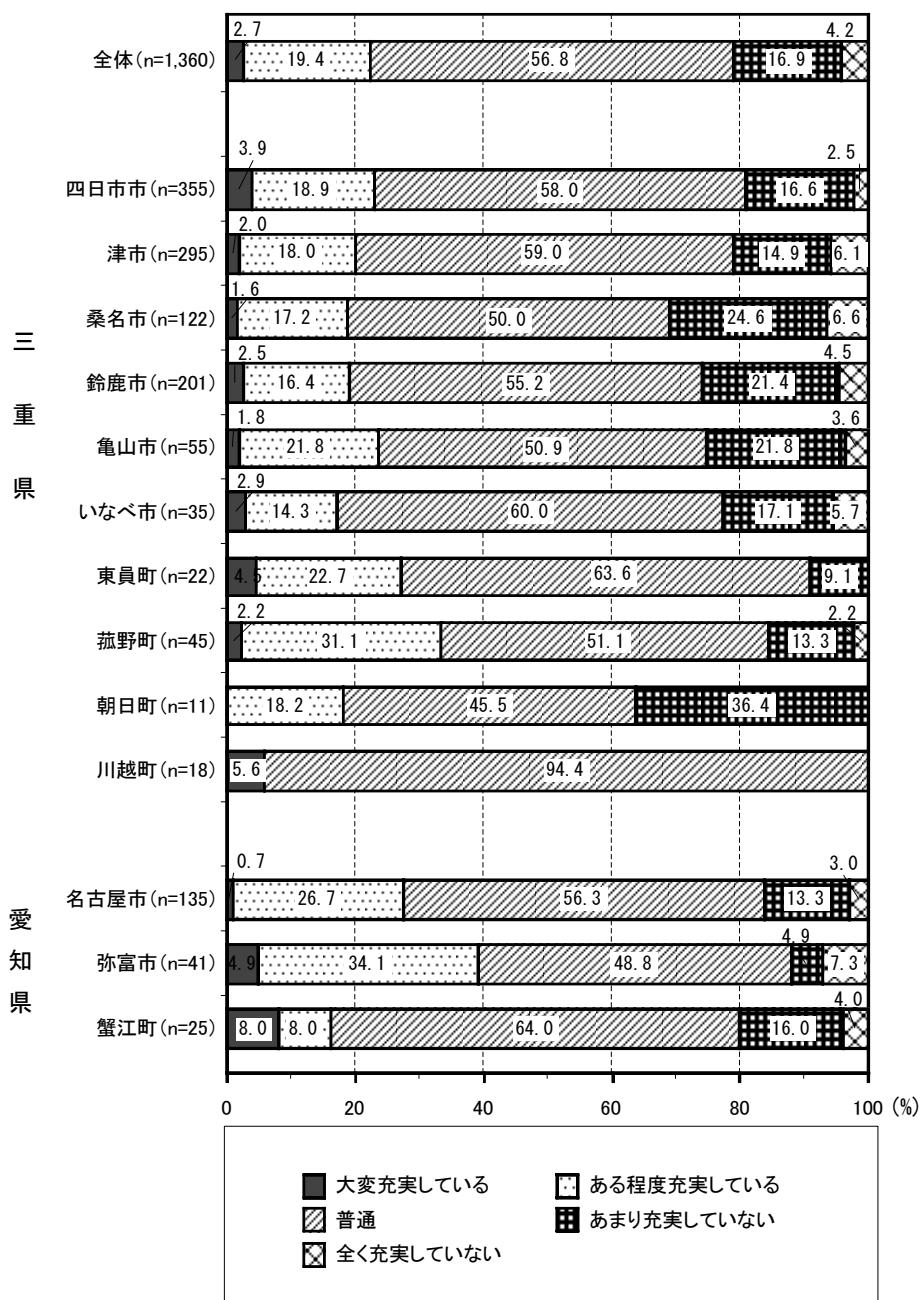
図3-4 居住地別居住都市の小・中学校の教育環境の評価



(5) 小・中学校以外の教育機会（塾、子ども向け教室等）の評価

- 小・中学校以外の教育機会（塾、子ども向け教室等）の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「弥富市」39.0%、「菰野町」33.3%、「名古屋市」27.4%、「東員町」27.2%となっている。「四日市市」は22.8%と全体平均とほぼ同じである。
- マイナス評価の割合が高いのは、「朝日町」36.4%、「桑名市」31.2%となっている。

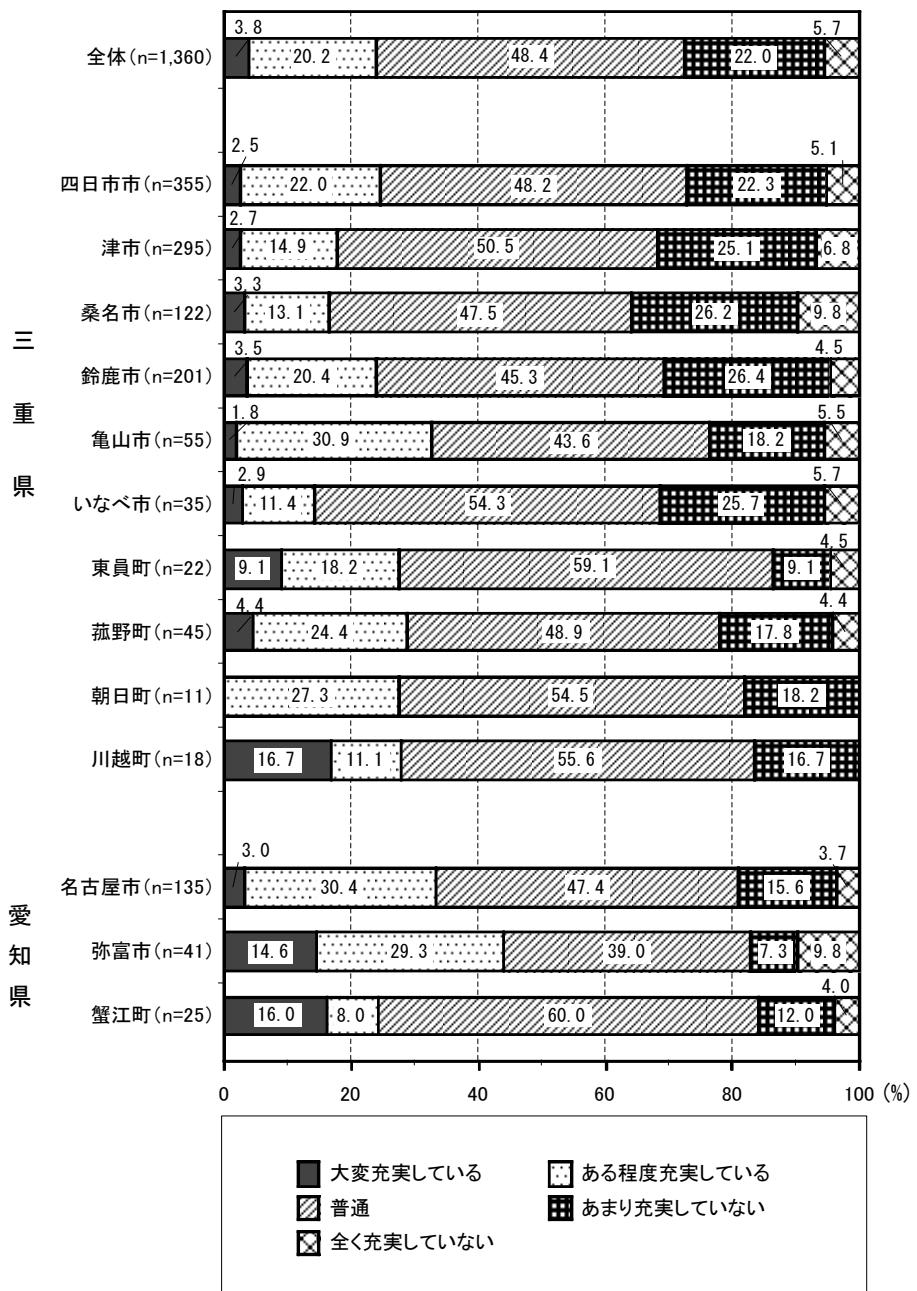
図 3-5 居住地別居住都市の小・中学校の教育機会以外の評価



(6) 子どもの居場所の評価

- 子どもの居場所（学童保育、児童館、遊び場、公園など）の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「弥富市」43.9%、「名古屋市」33.4%、「亀山市」32.7%となっている。「四日市市」は24.5%と全体平均とほぼ同じである。
- マイナス評価の割合が高いのは、「桑名市」36.0%、「津市」31.9%、「いなべ市」31.4%となっている。

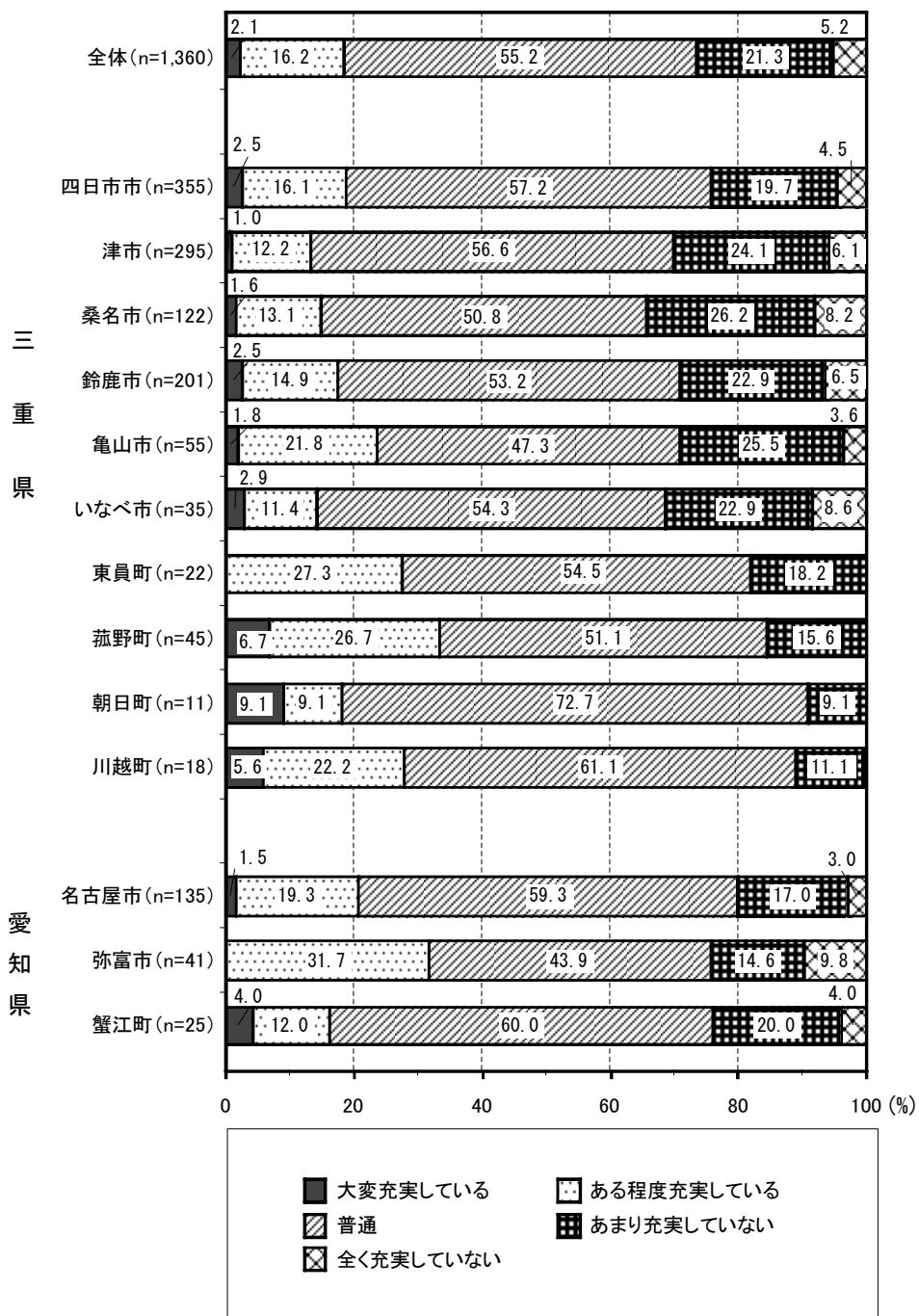
図 3-6 居住地別居住都市の子どもの居場所の評価



(7) 子どものスポーツ・文化活動環境の評価

- 子どものスポーツ・文化活動の環境の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「菰野町」33.4%、「弥富市」31.7%、「川越町」27.8%、「東員町」27.3%となっている。「四日市市」は18.6%と全体平均とほぼ同じである。
- マイナス評価の割合が高いのは、「桑名市」34.4%、「いなべ市」31.5%、「津市」30.2%となっている。

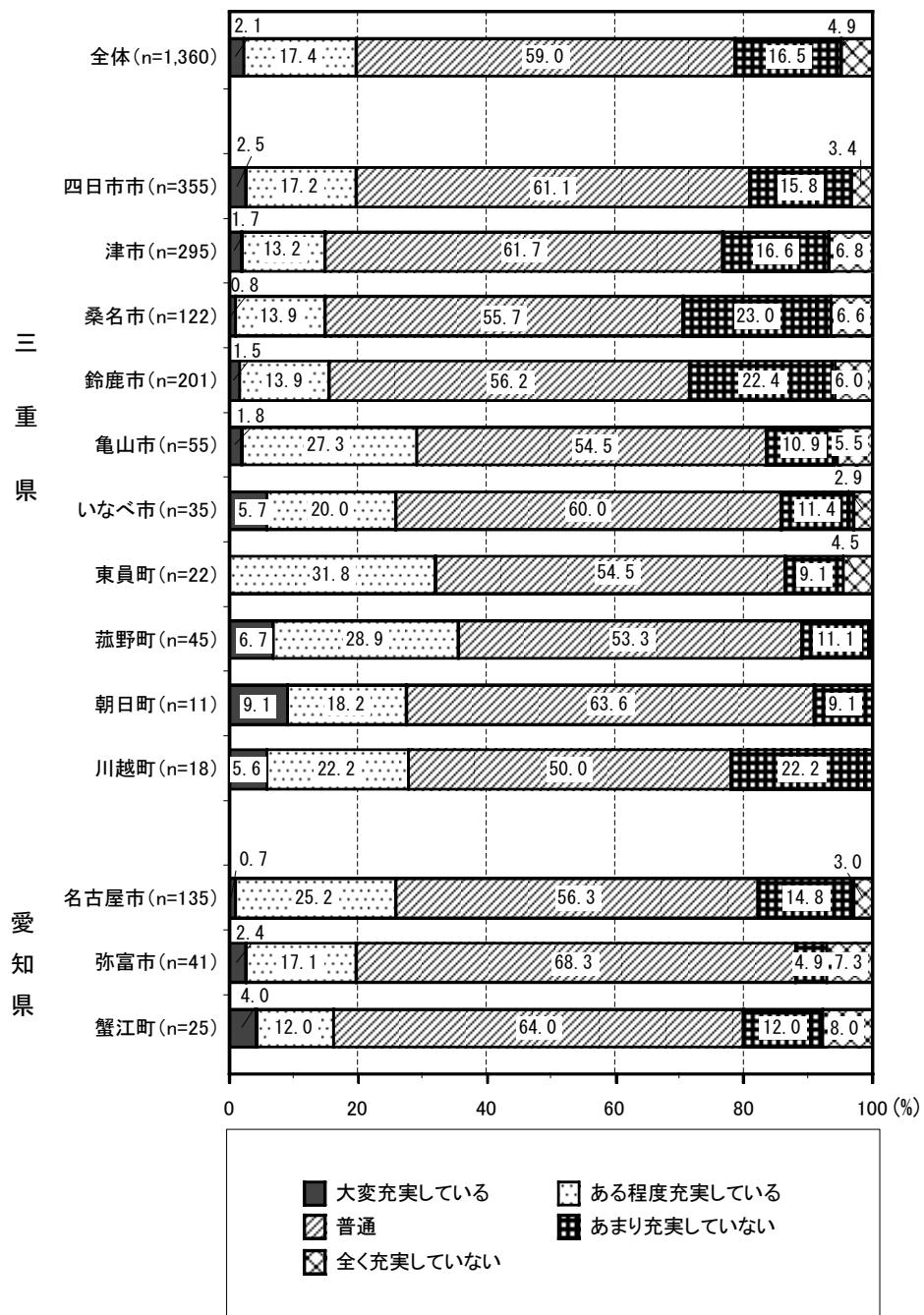
図3-7 居住地別居住都市の子どものスポーツ・文化活動環境の評価



(8) 子育ての相談窓口・情報提供の評価

- 子育ての相談窓口・情報提供の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「菰野町」35.6%、「東員町」31.8%、「亀山市」29.1%となっている。「四日市市」は19.7%と全体平均とほぼ同じである。
- マイナス評価の割合が高いのは、「桑名市」29.6%、「鈴鹿市」28.4%となっている。

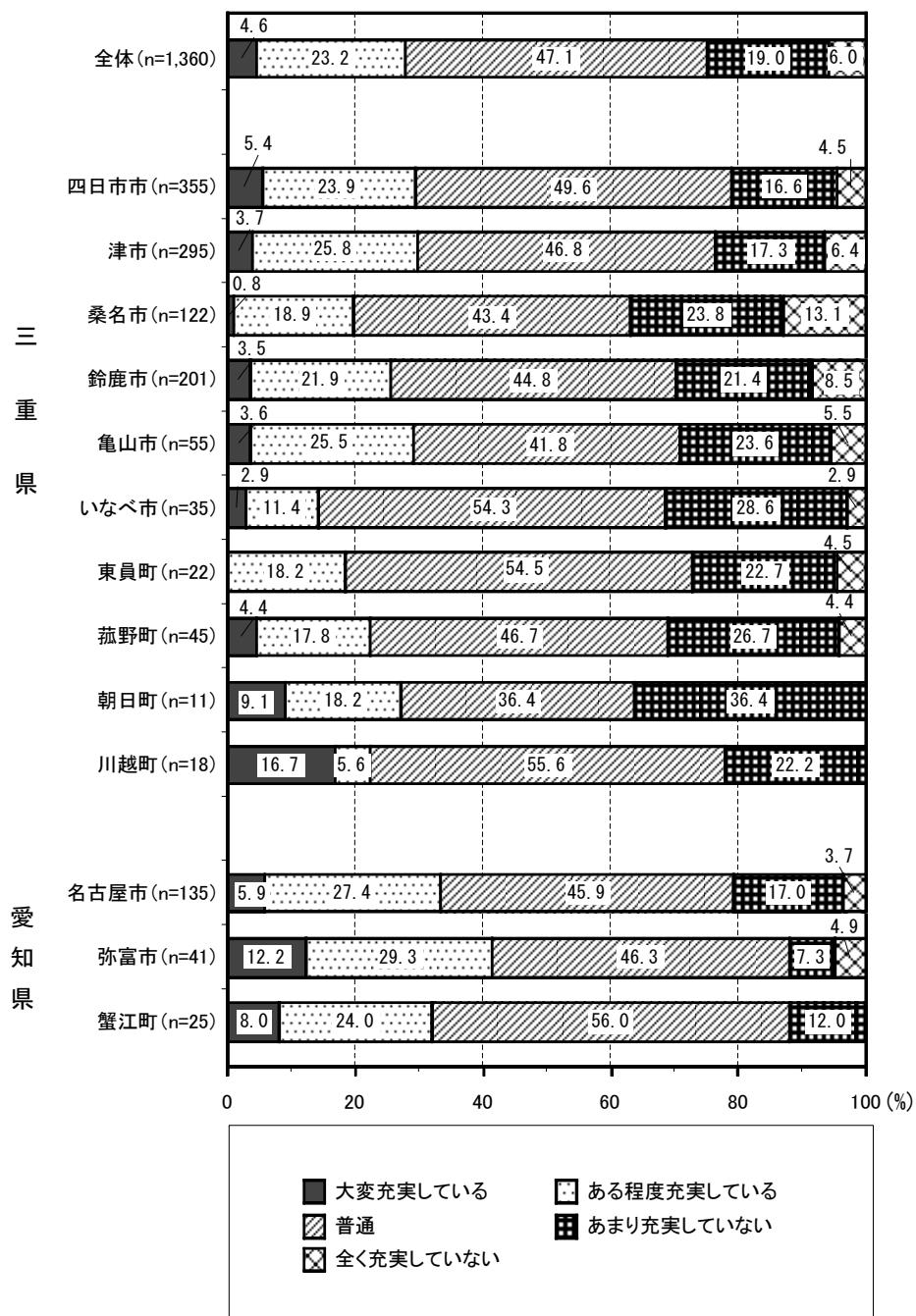
図 3-8 居住地別居住都市の子育ての相談窓口・情報提供の評価



(9) 子どもの医療体制（小児科・救急病院）の評価

- 子どもの医療体制（小児科・救急病院）の評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「弥富市」41.5%、「名古屋市」33.3%、「蟹江町」32.0%、「四日市市」29.3%、「亀山市」29.1%となっている。愛知県の市町の割合が高く、「四日市市」は、全体の平均よりもやや高い割合となっている。
- マイナス評価の割合が高いのは、「桑名市」36.9%、「朝日町」36.4%となっている。

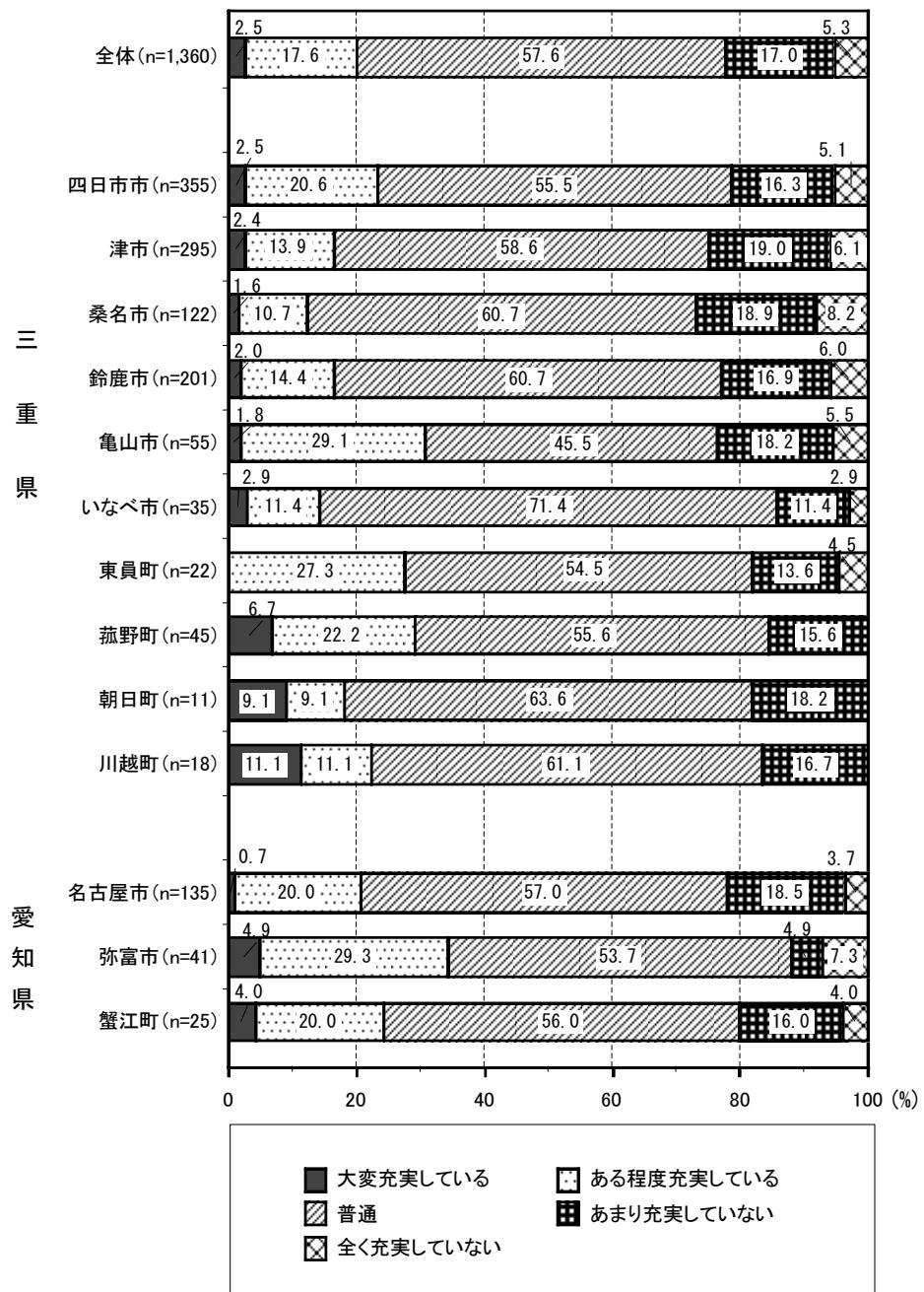
図 3-9 居住地別居住都市の子どもの医療体制（小児科・救急病院）の評価



(10) 子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートの評価

- 子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートの評価については、プラス評価の割合が高い市町は、「弥富市」34.2%、「亀山市」30.9%、「菰野町」28.9%となっている。「四日市市」は23.1%と全体の平均よりもやや高い割合となっている。
- マイナス評価の割合が高いのは、「桑名市」27.1%、「津市」25.1%となっている。

図 3-10 居住地別居住都市の子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートの評価



4. 子育てしやすい都市

(1) “子育てしやすいまち”のイメージの都市

- ・“子育てしやすいまち”というイメージの都市について、一部を除き各都市とも居住している都市の割合が高くなっている。その割合の高い順にみると、「川越町」72.2%、「名古屋市」70.4%、「東員町」54.5%、「津市」53.6%、「弥富市」51.2%となっている。
- ・四日市市在住者については、43.1%が「四日市市」と回答しており、4割以上の人には、四日市市を“子育てしやすいまち”と感じている。四日市市以外では「川越町」14.1%、「名古屋市」12.7%となっている。
- ・居住都市の割合が低い都市は、「桑名市」27.0%、「朝日町」27.3%、「蟹江町」28.0%となっている。

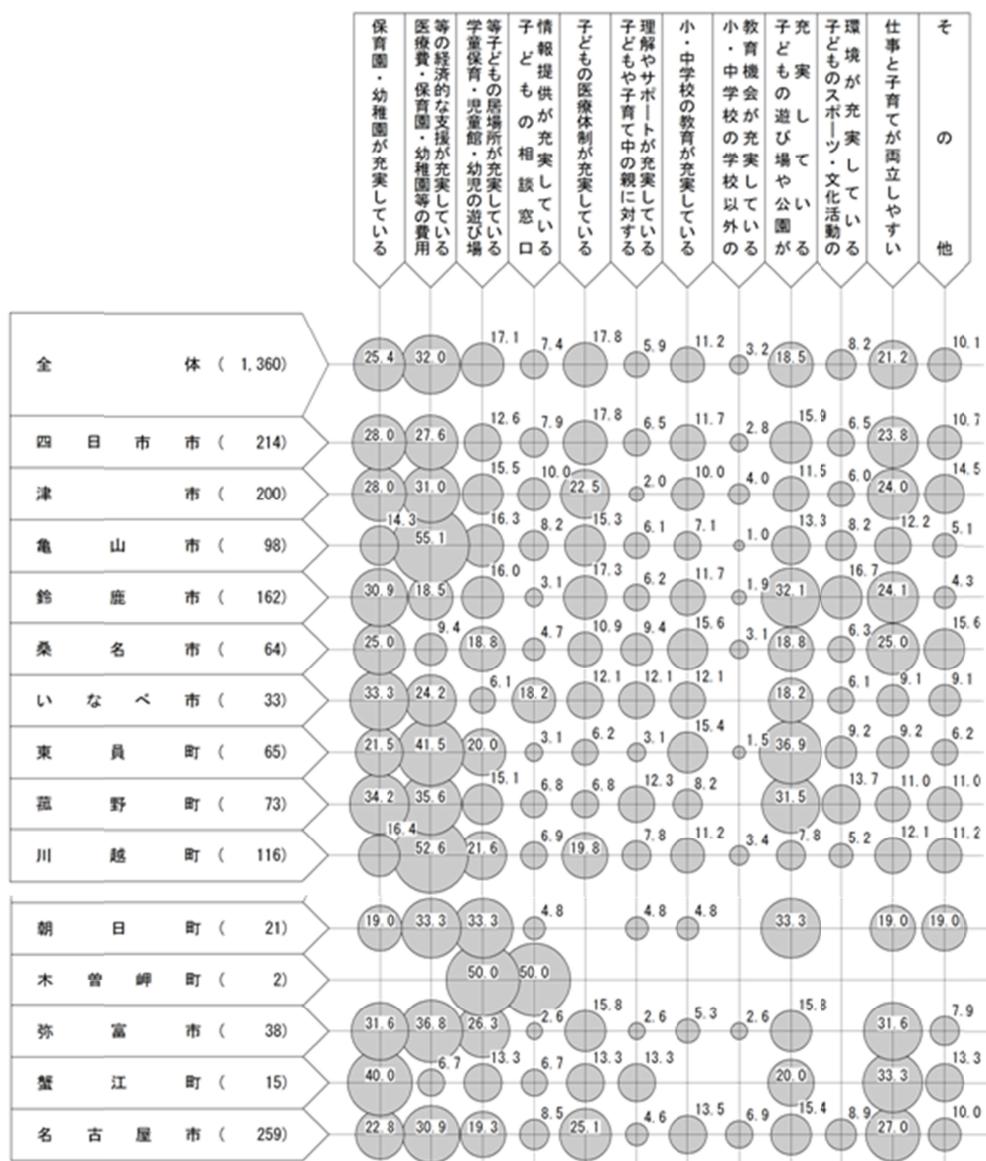
表 4-1 居住地別“子育てしやすいまち”というイメージの都市

	四日市市	津市	桑名市	鈴鹿市	亀山市	いなべ市	東員町	蘆野町	川越町	朝日町	木曽岬町	名古屋市	弥富市	蟹江町	(%)
全体(n=1,360)	15.7	14.7	4.7	11.9	7.2	2.4	4.8	5.4	8.5	1.5	0.1	19.0	2.8	1.1	
四日市市(n=355)	43.1	2.3	2.5	5.9	2.5	1.4	3.4	8.5	14.1	2.5		12.7	0.6	0.6	
津市(n=295)	4.1	53.6	1.7	12.2	7.1	1.4	2.0	2.0	3.4	0.7		9.8	1.4	0.7	
桑名市(n=122)	3.3	1.6	27.0	4.1		0.8	18.0	0.8	13.1	2.5		23.8	4.9		
鈴鹿市(n=201)	8.0	10.0	1.0	39.8	20.4	0.5	0.5	4.0	2.5		0.5	11.4	1.0	0.5	
亀山市(n=55)	5.5	10.9		20.0	45.5	3.6	1.8	1.8				10.9			
いなべ市(n=35)		2.9	11.4	2.9	2.9	42.9	17.1	5.7	2.9			11.4			
東員町(n=22)			4.5			4.5	54.5	9.1	13.6	4.5		4.5	4.5		
蘆野町(n=45)		8.9			4.4		2.2	11.1	44.4	26.7	2.2				
朝日町(n=11)									9.1	45.5	27.3	9.1	9.1		
川越町(n=18)		5.6		5.6		5.6			72.2	5.6		5.6			
名古屋市(n=135)	14.1	3.0	3.7	3.7		0.7		1.5	0.7			70.4	0.7	1.5	
弥富市(n=41)	2.4		7.3	2.4	2.4	2.4				2.4		26.8	51.2	2.4	
蟹江町(n=25)	4.0	4.0	4.0									56.0	4.0	28.0	

(2) “子育てやすいまち”の選択理由

- “子育てしやすいまち”と選択した理由について、選択した都市別にみると、「四日市市」を選択した理由は、「保育園・幼稚園が充実している」28.0%、「医療費、保育園・幼稚園等の費用等の経済的な支援が充実している」27.6%、「仕事と子育てが両立しやすい（通勤が便利など）」23.8%となっている。
- 「亀山市」「東員町」「川越町」では、「医療費、保育園・幼稚園等の費用等の経済的な支援が充実している」の割合が高いのが特徴となっている。また、「鈴鹿市」「東員町」「菰野町」「朝日町」では、「子どもの遊び場や公園が充実している」の割合が高いのが特徴となっている。

図 4-1 子育てしやすいまち”というイメージの都市別選択理由



(3) 子育てをしていて困ったこと

- 子育てをしていて困ったこととしては、「子育ての経験がない」が33.2%と最も高い割合となっている。それ以外では「保育料が高額である」が13.3%、「安心して遊ばせる公園が近くにない」が12.1%、「子どもが病気になった時に預けられる保育園がない」が8.6%となっている。
- 同居家族に子どもがいる人のみを対象に子育てをしていて困ったことをみると、四日市市在住者は「安心して遊ばせる公園が近くにない」が23.4%と最も割合が高く、次いで「保育料が高額である」が17.7%となっている。

図4-2 居住地別子育てをしていて困ったこと

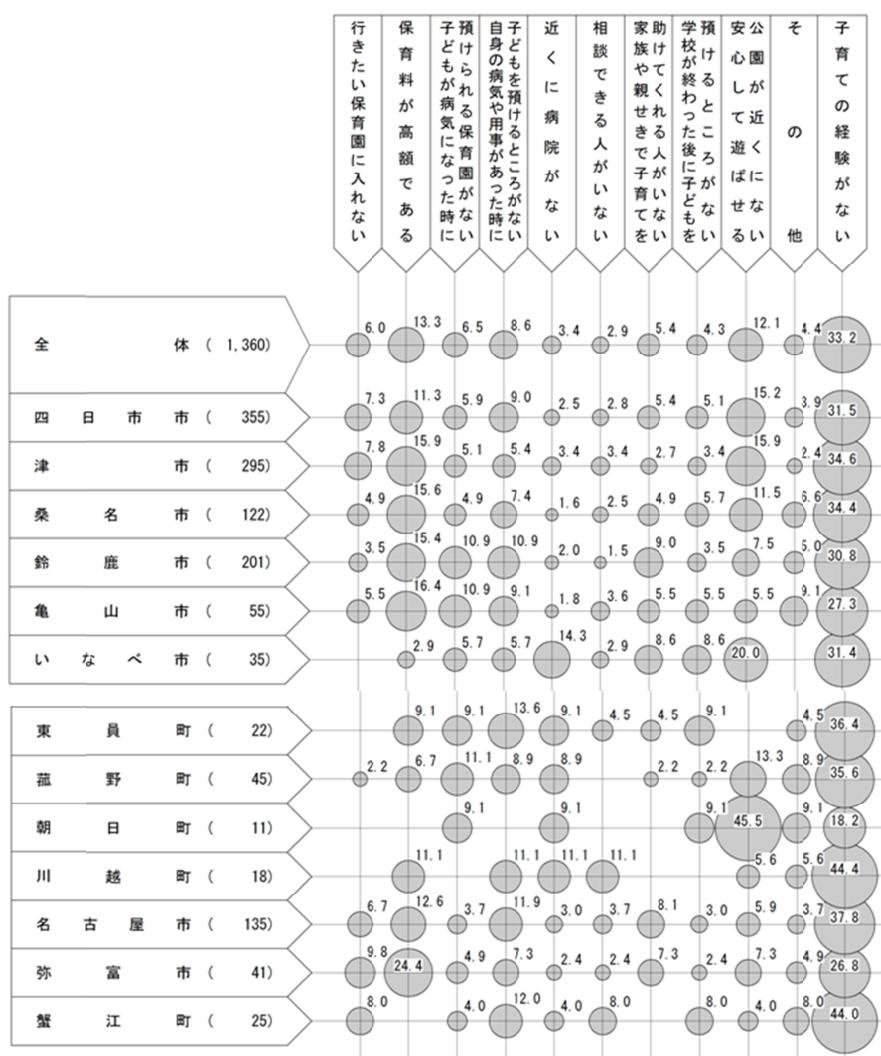
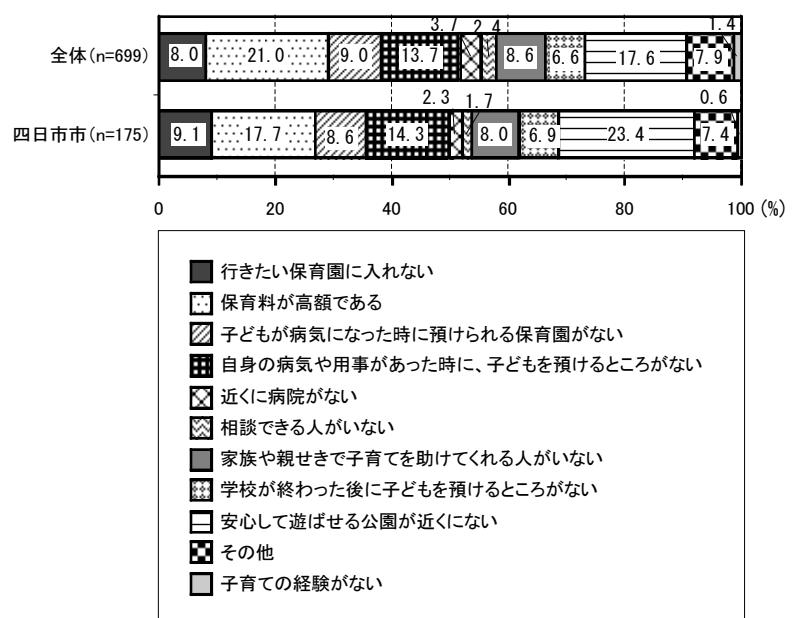


図 4-3 子どもがいる人の子育てしていく困ったこと

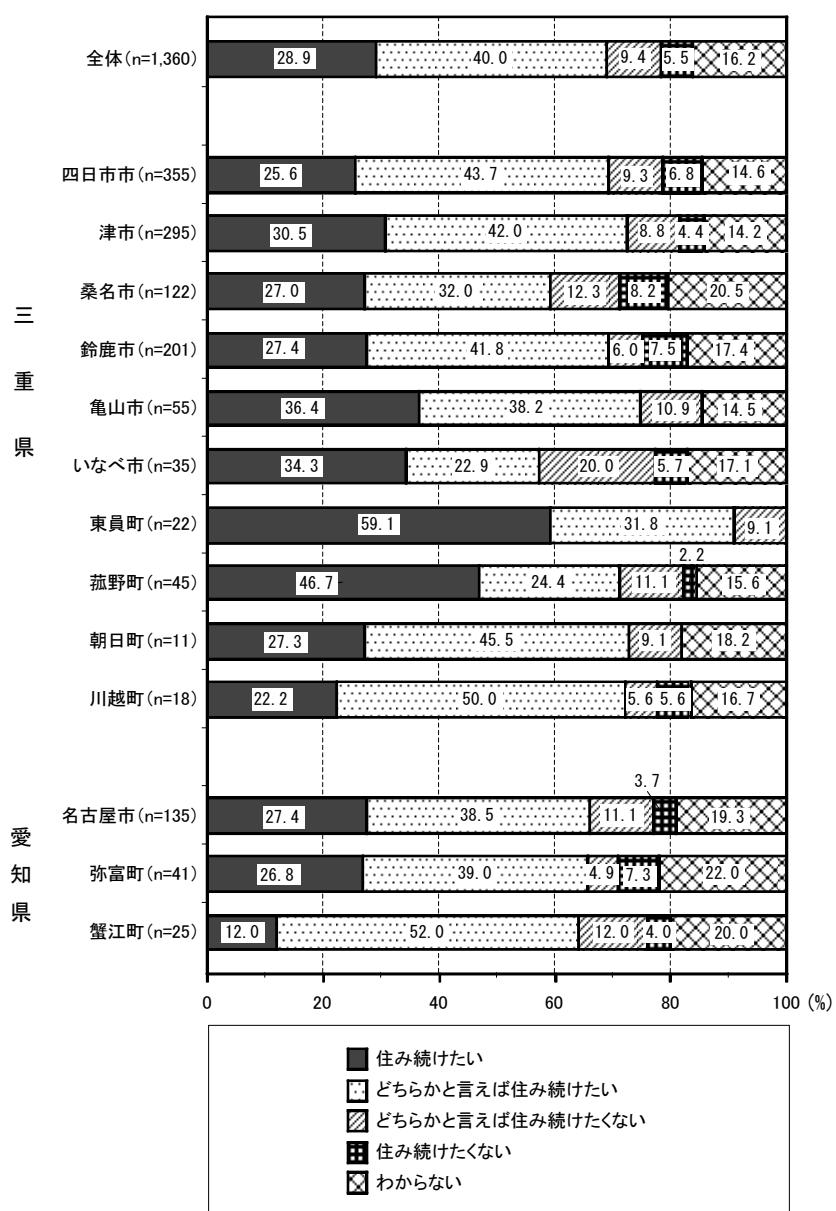


5. 今後の居住意向

(1) 現在地での今後の居住意向

- 現在地での今後の居住意向は、四日市市在住者は「住み続けたい」25.6%、「どちらかと言えば住み続けたい」43.7%と、合せて69.3%は今後も住み続ける意向を持っている。
- 他都市もほぼ同じ傾向がみられるが、東員町は今後も住み続ける意向が90.9%と高くなっている。逆に住み続ける意向の割合が低い都市は、「いなべ市」57.2%、「桑名市」59.0%となっている。

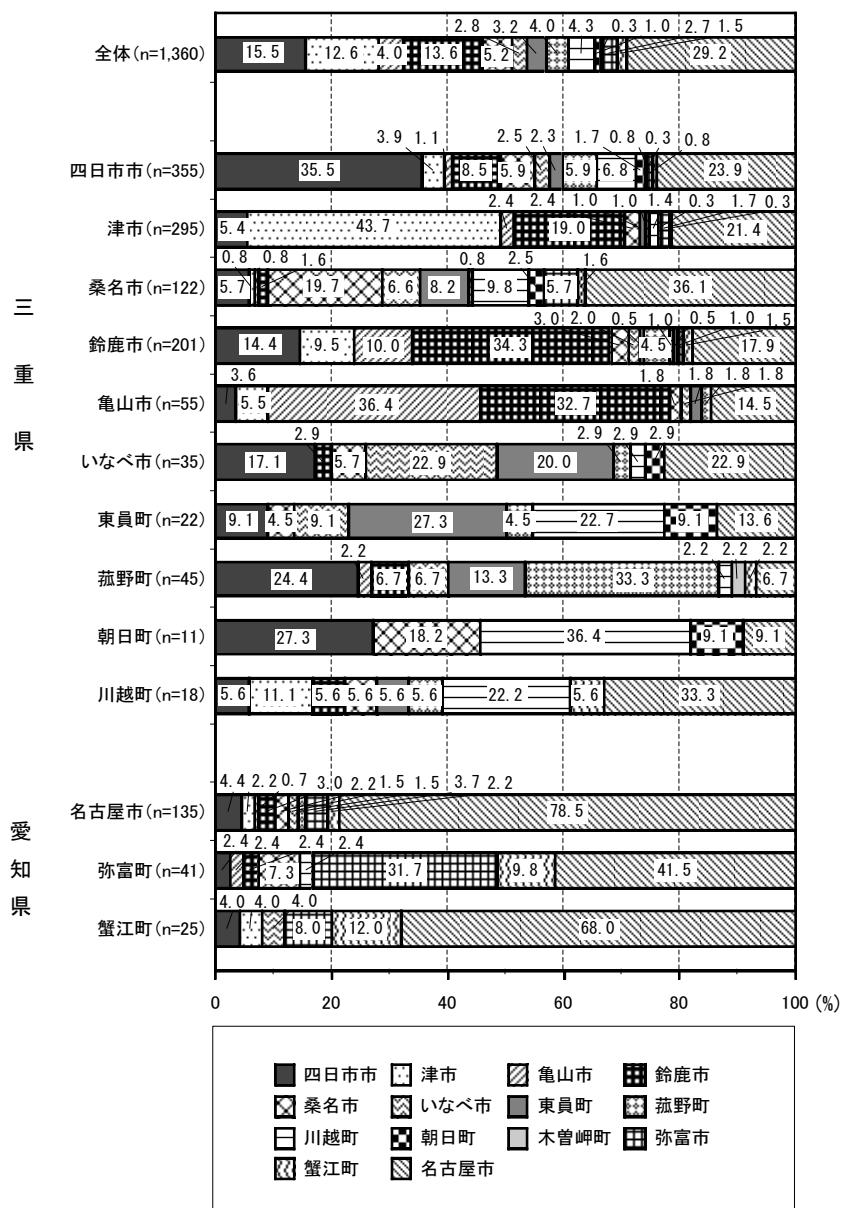
図 5-1 居住地別現在地での今後の居住意向



(2) 住んでみたい都市

- ・転居するとした場合に最も住んでみたい都市としては、四日市市在住者は「四日市市」が最も高い割合となっているが35.5%にとどまっている。四日市市以外では「名古屋市」が23.9%と高く、それ以外の都市は10%以下と回答が分かれている。

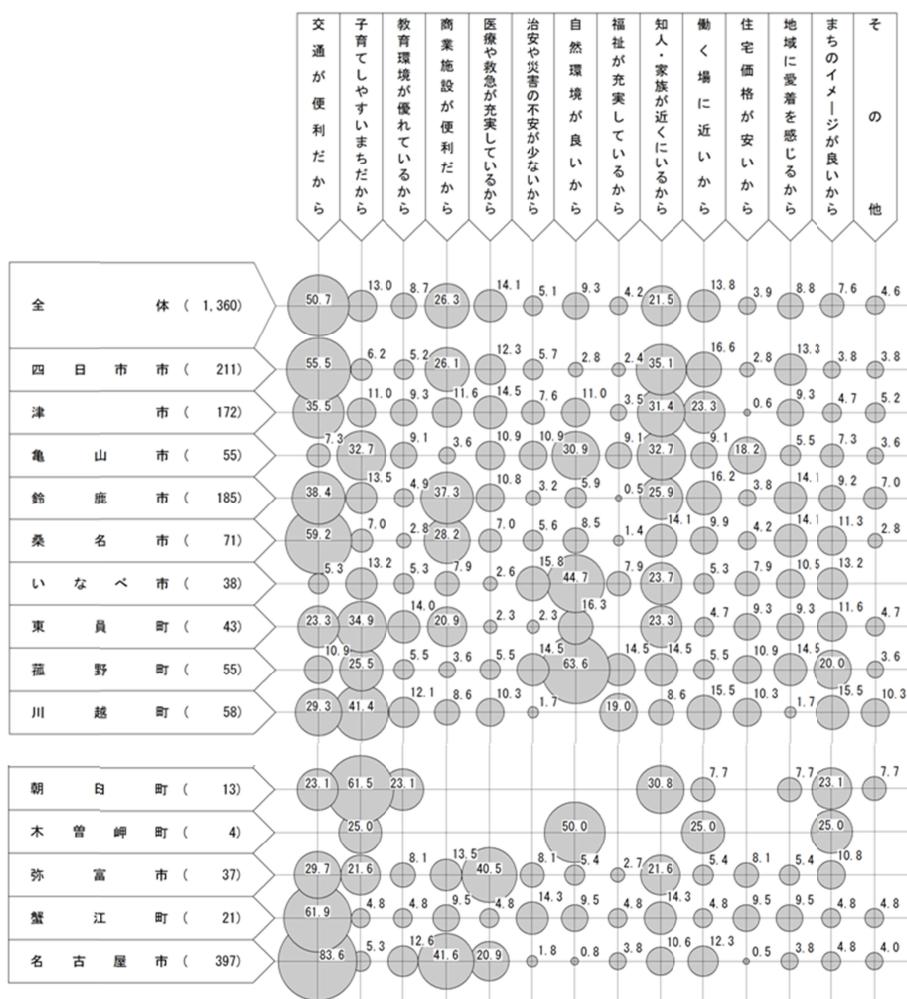
図5-2 居住地別転居する場合最も住んでみたい都市



(3) 最も住んでみたいと思う理由

- 最も住んでみたいと思うと選択した都市別に、住んでみたいと思う理由については、四日市市を選択した人は、「交通が便利だから」が 55.5% と最も割合が高く、次いで「知人・家族が近くにいるから」35.1%、「商業施設が便利だから」26.1% となっている。
- 「子育てしやすいまちだから」を選択した人の割合が高い都市は、「朝日町」61.5%、「川越町」41.4%、「東員町」34.9% となっている。

図 5-3 住んでみたい都市別住んでみたいと思う理由



6. 調査結果のまとめ

(1) 子育て・教育環境の評価

①四日市市在住者の評価

- ・四日市市在住者の四日市市の子育て・教育環境の項目別評価をみると、各項目とも「普通」の割合が高く、特に評価が高い又は低い項目はみられない。
- ・その中で、「大変充実している」と「ある程度充実している」を合わせたプラス評価の割合が比較的高い項目は、「子どもの医療体制」と「医療・保育園・幼稚園等の費用軽減補助」となっている。
- ・逆に、「あまり充実していない」と「全く充実していない」を合わせたマイナス評価の割合が比較的高い項目は「子どもの居場所」となっている。

②都市間比較

- ・子育て・教育環境の項目別評価の都市間比較では、四日市市は各項目も全体の平均に近く、特に評価が高い又は低い項目はみられない。
- ・都市間比較では、サンプル数が少ないために信頼性にかける面はあるが「弥富市」「亀山市」「菰野町」「東員町」で評価が高い項目が多くなっている。
- ・逆に「桑名市」は評価の低い項目が多くなっている。

(2) 子育てしやすい都市

①子育てしやすいまち

- ・“子育てしやすいまち”というイメージの都市について、各都市とも居住している都市を選択する割合が高くなっている、特に「川越町」「名古屋市」「東員町」でその傾向が強く、逆に「桑名市」は“子育てしやすいまち”と感じている市民の割合が低い。
- ・四日市市は、約4割が“子育てしやすいまち”と感じている。

②子育てしやすいまちの選択理由

- ・四日市市を“子育てしやすいまち”と選択した人の理由は、「保育園・幼稚園が充実している」「医療費、保育園・幼稚園等の費用等の経済的な支援が充実している」「仕事と子育てが両立しやすい（通勤が便利など）」が主な理由となっている。

③子育てしていて困ったこと

- ・同居家族に子どもがいる四日市在住者が子育てに困っていることは、「安心して遊べせる公園が近くにない」が多くなっている。

(3) 今後の居住意向

①今後の居住意向と住んでみたい都市

- ・四日市市在住者は約7割が今後も住み続ける意向を持っている。

②最も住んでみたい都市とその理由

- ・しかし、転居とした場合に最も住んでみたい都市について、四日市市在住者は四日市市の割合が最も高いものの35.5%にとどまっている。
- ・四日市市を選択した人の理由としては、「交通が便利だから」が最も多く、次いで「知人・家族が近くにいるから」となっている。

四日市市総合計画策定WEBアンケート

若者アンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

若者の生活意識、地域への愛着度、就職・定住意向を把握し、若者の定住促進策を検討する。

(2) 調査対象者

- ・d ポイントクラブ会員を対象。
- ・会員のうち、四日市在住の 20 歳から 34 歳の若者と四日市へ通勤・通学している 20 歳から 34 歳の若者

※四日市へ通勤・通学者：四日市市のログが二番目に多いユーザの内、基礎調査の四日市在住者を除外。通勤・通学者以外も対象となる場合もある。

(3) 調査実施状況

①調査期間

平成 30 年 11 月 19 日～12 月 7 日

②回収状況

対象者数：3,778

回 収 数： 341

回 収 率：9.2%

2. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年齢

- ・性別では、女性が 70.4%を占め、女性が多い。
- ・年齢では、「30～34 歳」が 53.7%と半数を占めている。

図 2-1 性別

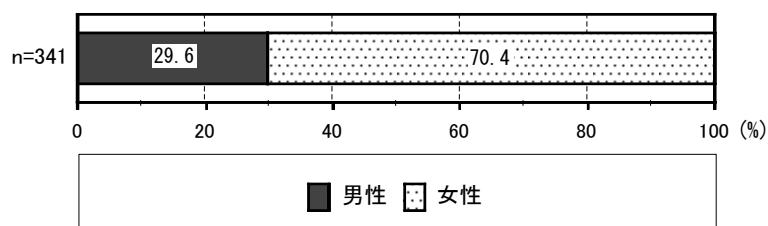
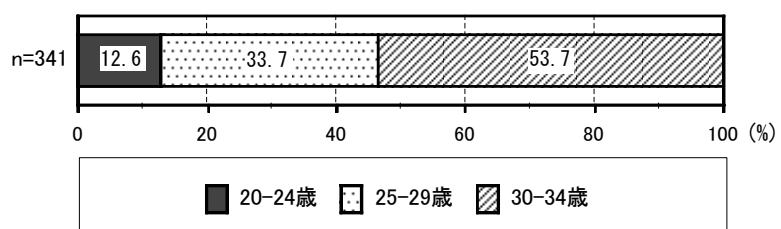


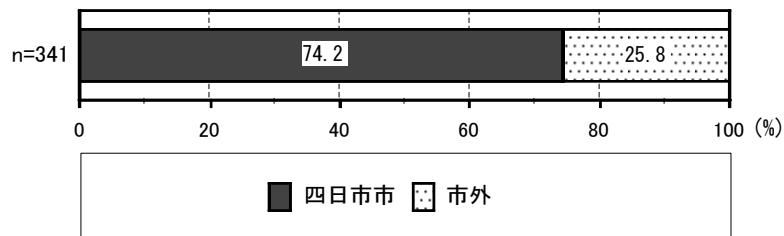
図 2-2 年齢



(2) 居住地

- 四日市市在住者が 74.2%を占めている。

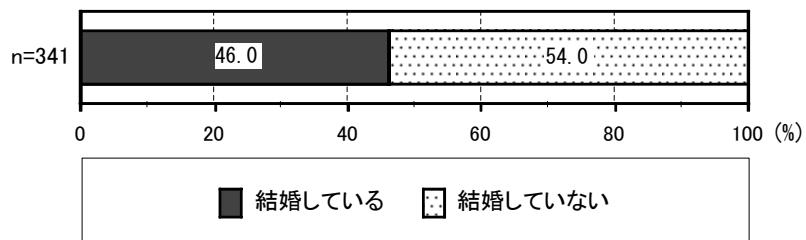
図 2-3 居住地



(3) 既婚未婚

- 結婚の有無については、「結婚している」46.0%、「結婚していない」54.0%と、「結婚していない」がやや多いものの、ほぼ同じ人数となっている。

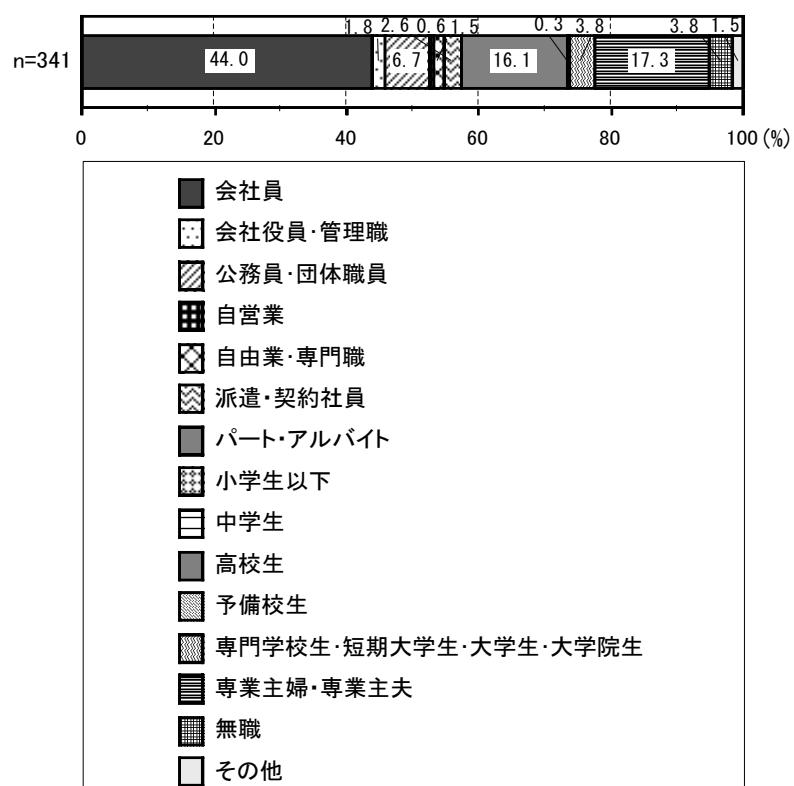
図 2-4 既婚未婚



(4) 職業

- 職業では、「会社員」が 44.0%と最も割合が高く、次いで「専業主婦・専業主夫」が 17.3%、「パート・アルバイト」16.1%、「公務員・団体職員」が 6.7%となっている。

図 2-5 職業

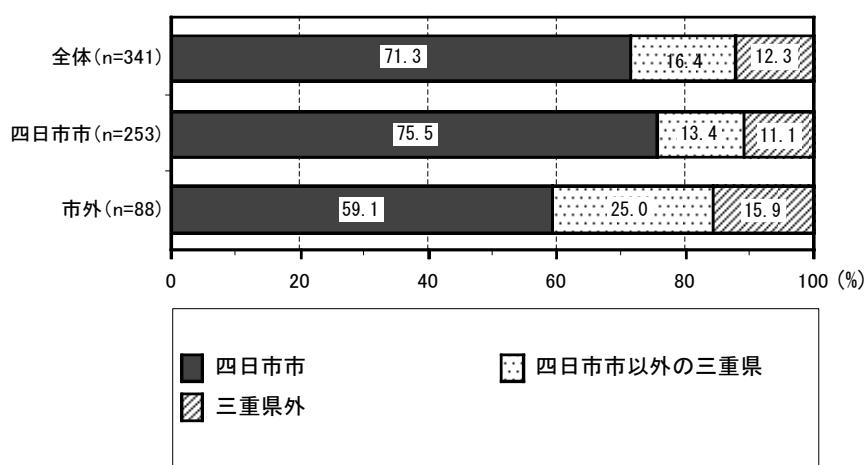


3. 就業地・就業意向

(1) 就業地（通学地）

- 市内居住者は、就業地（通学地）が「四日市市」が71.3%と7割が市内で就業・通学している。
- 市外居住者は、市内で就業・通学者は59.1%となっており、「四日市市以外の三重県」が25.0%、「県外」が15.9%含まれている。

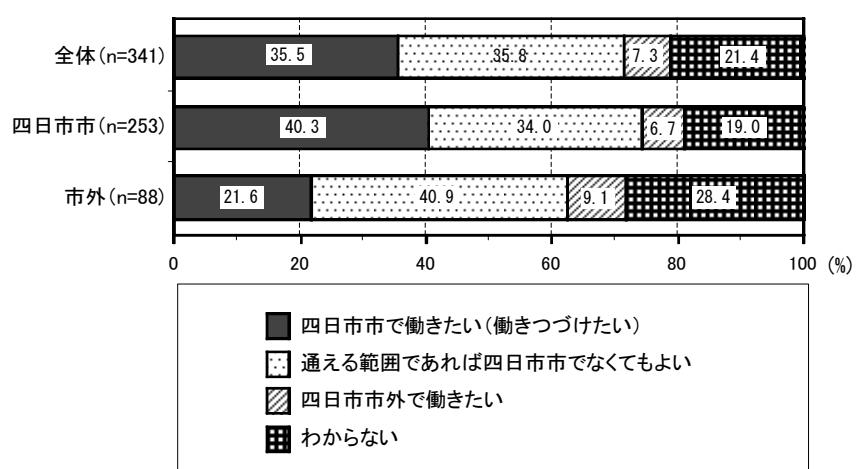
図3-1 居住地別就業地・通学地



(2) 四日市市での就業希望

- 今後四日市市での就業希望については、「四日市市で働きたい（働きつけたい）」が、四日市市在住者は40.3%、市外在住者は21.6%となっている。
- 四日市市在住者は、「通える範囲であれば四日市市ではなくてもよい」が34.0%あり、市内の就業希望者と合わせて自宅から通える範囲を希望している人は74.3%を占め、反対に「四日市市外で働きたい」は6.7%にとどまっている。

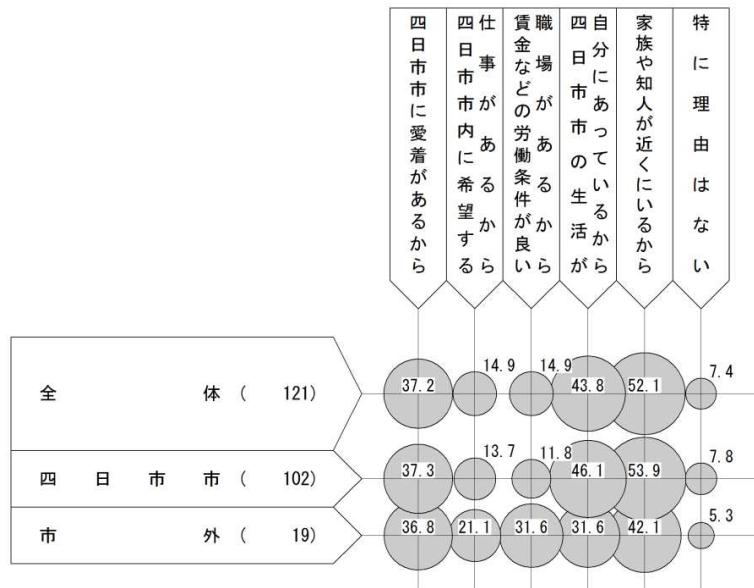
図3-2 居住地別四日市市での就業希望



(3) 四日市市で働きたい理由

- 「四日市市で働きたい（働きつづけたい）」と回答した人の四日市市で働きたい理由は、四日市市在住者は「家族や知人が近くにいるから」が 53.9%、「四日市市の生活が自分にあってるから」が 46.1%と割合が高く、仕事の内容よりも四日市市で働くことを優先に考えている。

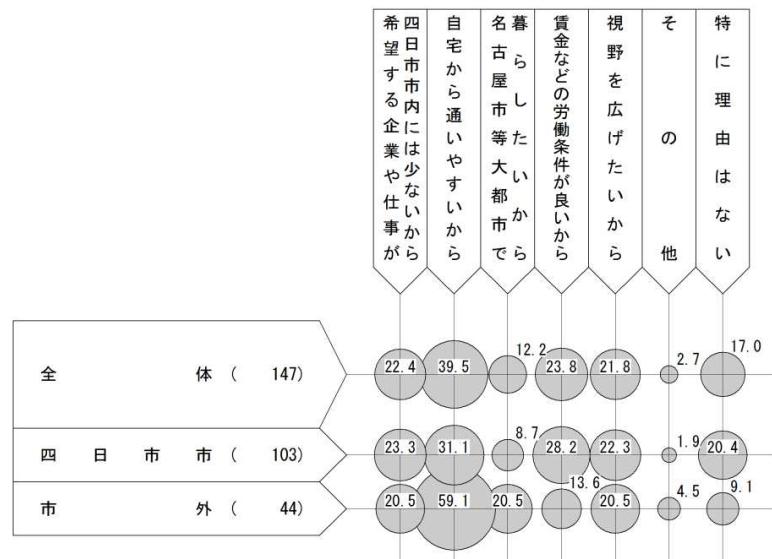
図 3-3 居住地別四日市市で働きたい理由



(4) 四日市市外で働きたい理由

- 「通える範囲であれば四日市市ではなくてもよい」「四日市市外で働きたい」と回答した人の四日市外で働きたい理由は、四日市市在住者は「自宅から通いやすいから」が 31.1%と最も高い割合となっているが、「賃金などの労働条件が良いから」28.8%、「希望する企業や仕事が四日市市内に少ないから」23.3%、「視野を広げたいから」22.3%と、同じような回答割合が多く、多様な理由があげられている。

図 3-4 居住地別四日市市外で働きたい理由

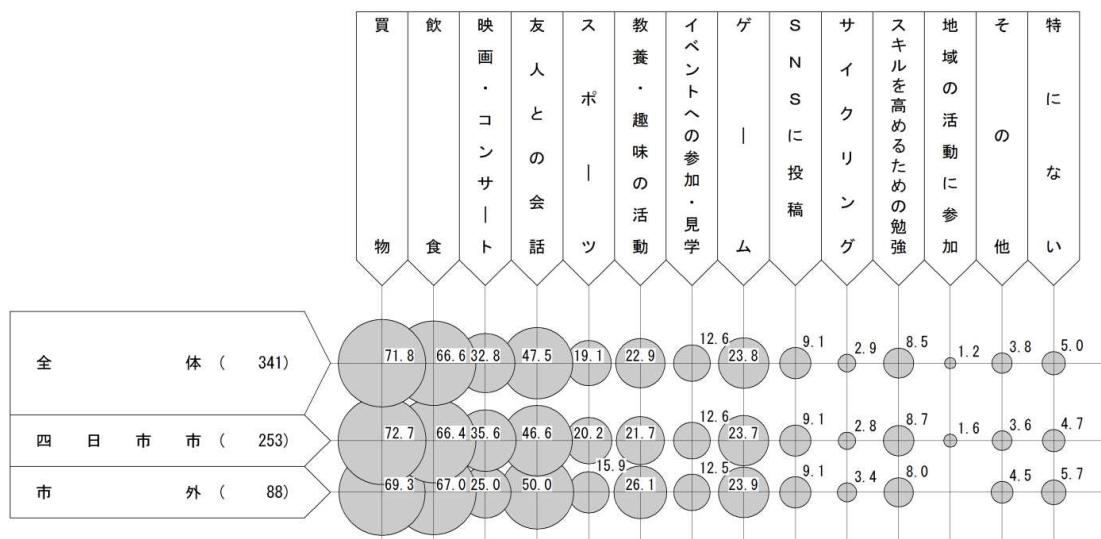


4. 生活の楽しみ・四日市に魅力

(1) 日常生活の楽しみ

- ・日常の生活の楽しみになっていること、日常の生活を楽しむためにしたいこととしては、「買物」71.8%と最も高く、次いで「飲食」66.6%、「友人と会話」47.5%、「映画・コンサート」32.8%、「ゲーム」23.8%、「教養・趣味の活動」21.7%となっている。
- ・「ゲーム」が「スポーツ」や「教養・趣味の活動」よりも若干であるが高い割合となっている。

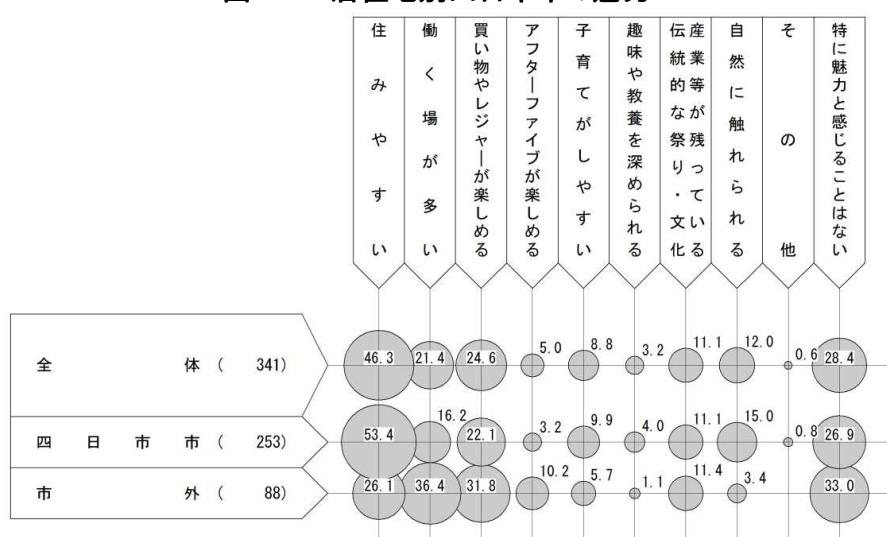
図 4-1 居住地別日常生活の楽しみ



(2) 四日市市の魅力

- ・四日市市の魅力だと思うことについて、四日市市在住者は「住みやすい」が53.4%と最も高くなっている。次の「買い物やレジャーが楽しめる」22.1%との差は大きく、住みやすさが最大の魅力と感じている。
- ・市外在住者は、「働く場が多い」が36.4%と最も割合が高く、次いで「買い物やレジャーが楽しめる」が31.8%となっており、就労の場と買物・レジャーの場が魅力と感じている。

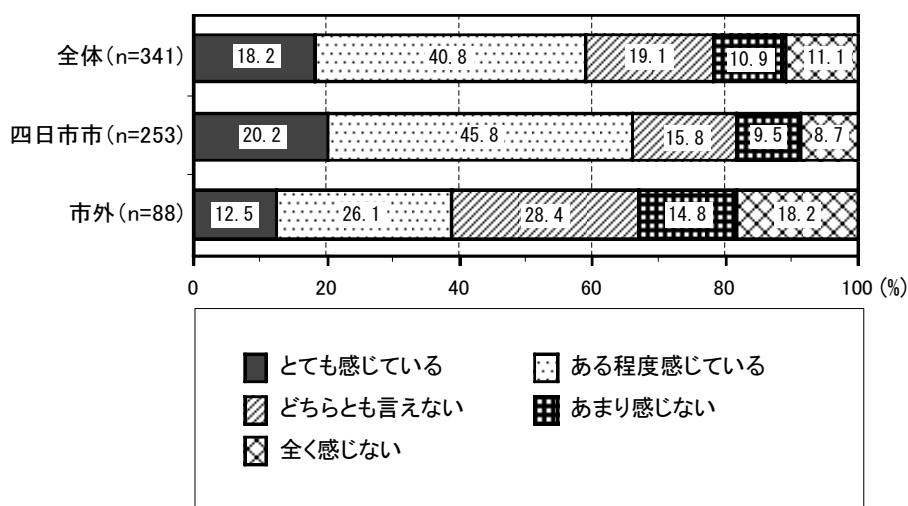
図 4-2 居住地別四日市市の魅力



(3) 四日市への愛着・親しみ

- 四日市市への愛着や親しみについては、四日市市在住者は「とても感じている」が18.2%、「ある程度感じている」が45.8%あり、合せると66%が愛着・親しみを感じている。
- 市外在住者でも、「とても感じている」と「ある程度感じている」を合わせると38.6%と約4割が愛着・親しみを感じている。一方「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせる33%あり、愛着を感じない人も少なくない。

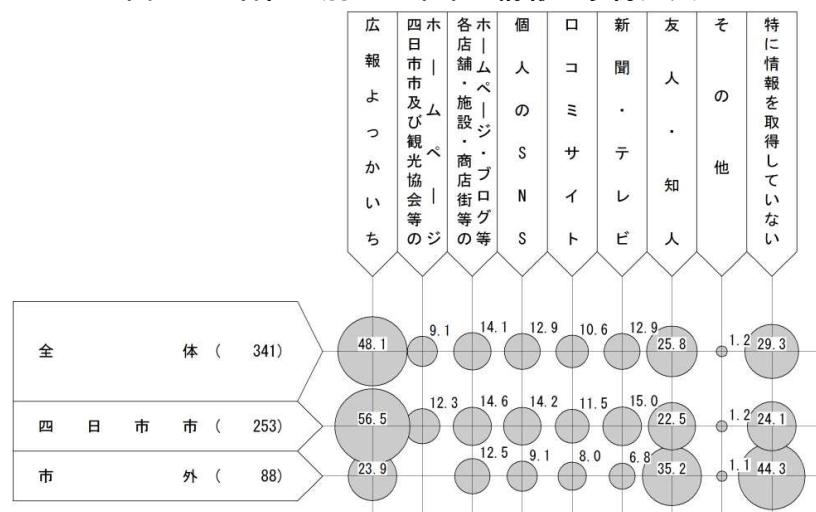
図4-3 居住地別四日市への愛着・親しみ



(4) 四日市市の情報の取得方法

- 四日市市についての情報の取得方法は、四日市市在住者は、「広報よっかいち」が56.5%と約半数の人が広報紙で情報を得ている。次いで「友人・知人」が22.5%と口コミ情報の割合も比較的高い。またそれ以外の方法も一定程度の割合があり、多様な方法で情報を取得している。
- 市外在住者は、「友人・知人」が35.2%と最も高く、口コミの比重が高くなっている。しかし、「特に情報を取得していない」が44.3%を占め、四日市市の情報を意識していない人が多い。

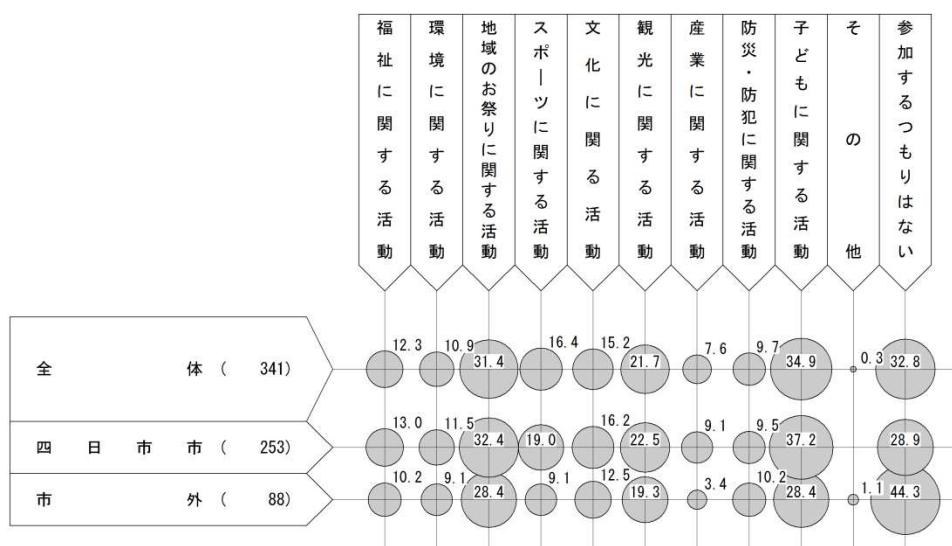
図4-4 居住地別四日市市の情報の取得方法



(5) 魅力あるまちにするための活動への参加意向

- お住まいの地域を「住みやすい魅力あるまち」にするために参加したい活動内容については、「子どもに関する活動」が34.9%と最も割合が高く、次いで「地域のお祭りに関する活動」が31.4%、「観光に関する活動」が21.7%となっている。
- 居住地別ではほぼ同じ傾向がみられるが、四日市在住者は「スポーツに関する活動」が19.0%と比較的高いのが特徴となっている。
- 「参加するつもりがない」は、四日市市外に比べて四日市在住者の割合は低い。しかし、28.9%の回答があり、参加意向の無い人も一定の割合でみられる。

図4-5 居住地別魅力あるまちにするための活動参加意向

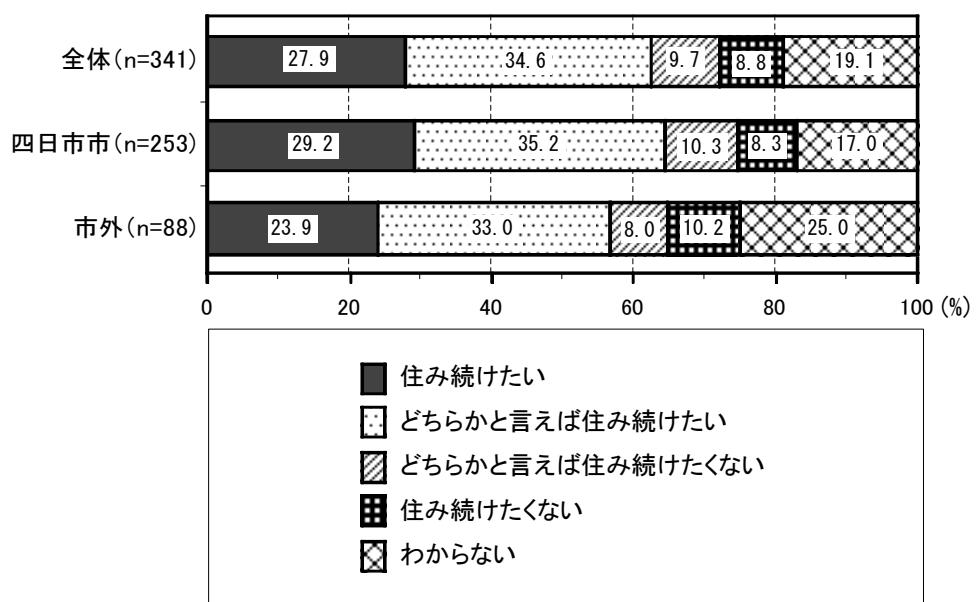


5. 今後の居住意向

(1) 現在地での今後の居住意向

- 現在地での今後の居住意向は、四日市市在住者は「住み続けたい」29.2%、「どちらかと言えば住み続けたい」35.2%と、合せて64.4%は今後も住み続ける意向を持っている。
- 逆に「どちらかと言えば住み続けたくない」と「住み続けたくない」を合わせると、18.6%が転居を希望している。

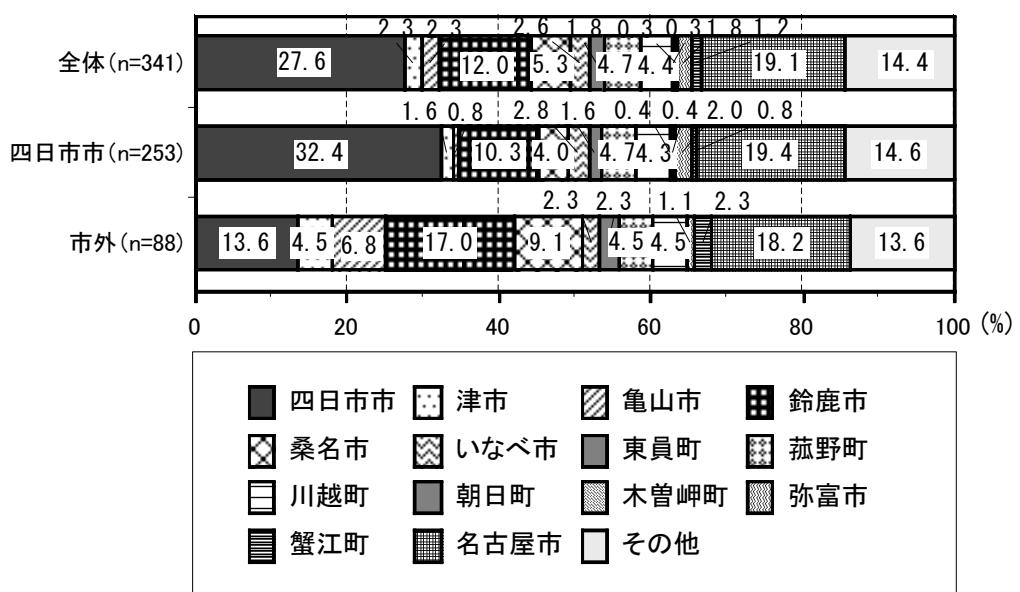
図 5-1 居住地別現在地での今後の居住意向



(2) 住んでみたい都市

- ・転居するとした場合に最も住んでみたい都市としては、四日市市在住者は「四日市市」が最も高い割合となっているが 32.4%にとどまっている。四日市市以外では「名古屋市」が 19.4%、「鈴鹿市」10.3%、「菰野町」4.7%、「川越町」4.3%、「桑名市」4.0%と、名古屋市以外は回答が分かれており、特定の都市に希望が集まっている傾向はみられない。
- ・市外在住者は、「四日市市」は 13.6%となっている。四日市市に通勤・通学しても四日市市への移住希望にはあまりつながっていない。

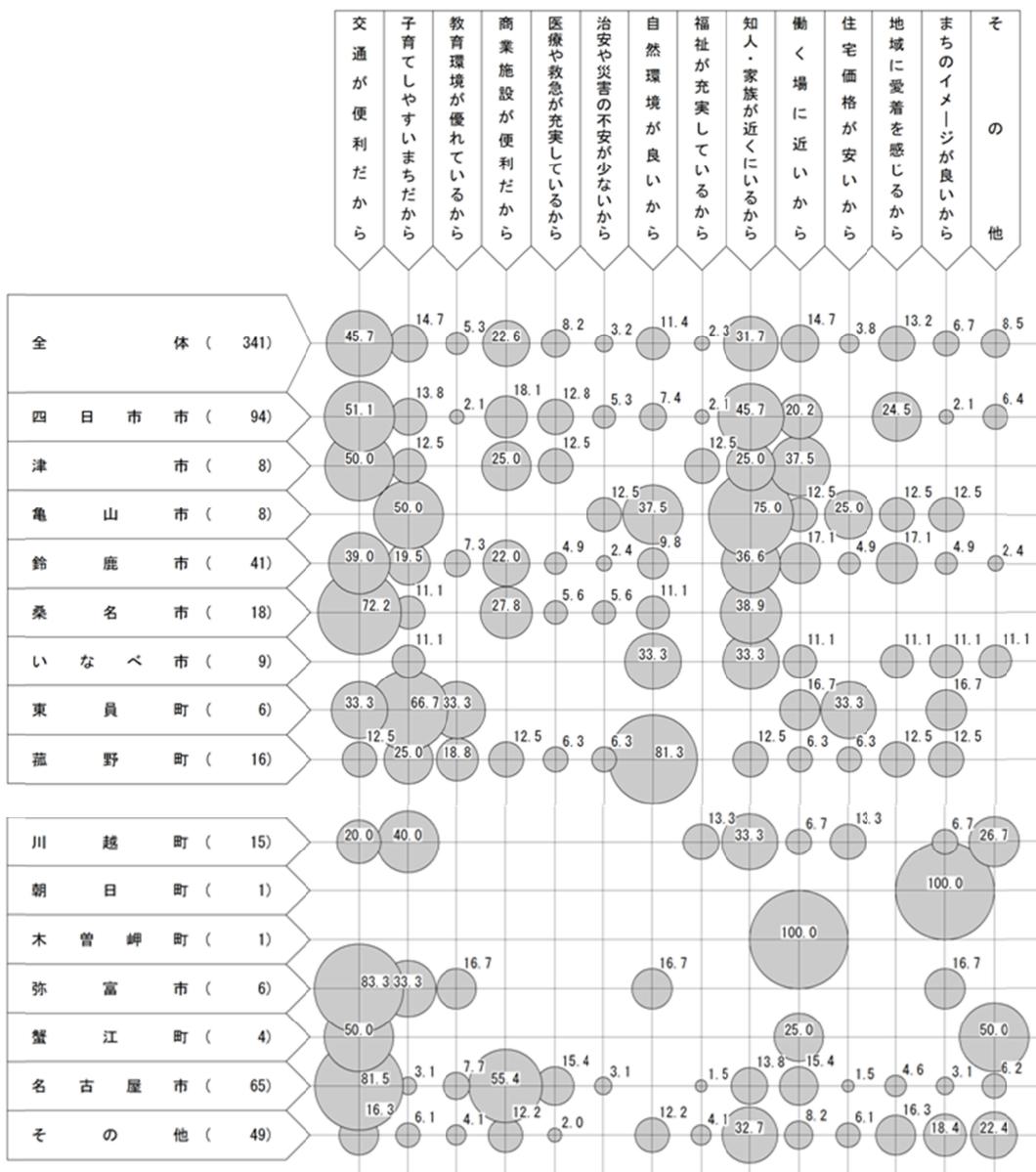
図 5-2 居住地別住んでみたい都市



(3) 最も住んでみたいと思う理由

- ・転居するとした場合に最も住んでみたいと思うと選択した都市別に住んでみたいと思う理由については、四日市市を選択した人は、「交通が便利だから」が 51.1%と最も割合が高く、次いで「知人・家族が近くにいるから」45.7%、「地域に愛着を感じるから」24.5%、「働く場が近いから」20.2%となっている。
- ・「名古屋市」を選択した人は、「交通が便利だから」が 81.5%、次いで「商業施設が便利だから」が 55.4%と高くなっている。
- ・鈴鹿市は、四日市市と同じ傾向であるが「交通が便利だから」の割合が低くなっている。
- ・菰野町は「自然環境が良いから」、川越町は「子育てがしやすいまちだから」の回答が多くなっている。

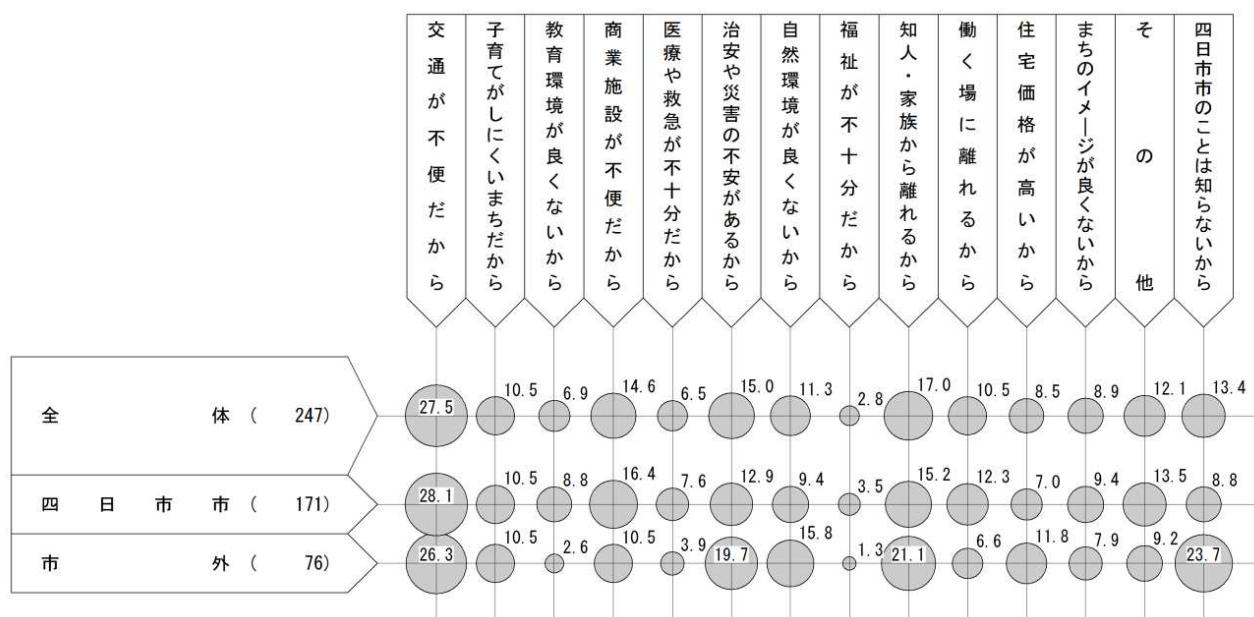
図 5-3 住んでみたい都市別住んでみたいと思う理由



(4) 四日市市を選ばなかった理由

- ・転居するとした場合に最も住んでみたい都市として四日市市を選ばなかった人の理由は、四日市市在住者は、「交通が不便だから」が 28.1%と最も高い割合になっている。それ以外は「商業施設が不便だから」16.4%、「知人・家族から離れるから」15.2%、「治安・災害の不安があるから」12.9%、「働く場に離れるから」12.3%と回答が分散しており、特定の大きな理由はみられない。
- ・市外在住者は、「交通が不便だから」26.3%、「四日市市ことは知らない」23.7%、「知人・家族から離れるから」21.1%、「治安や災害の不安があるから」19.7%となっている。

図 5-4 居住地別住んでみたい都市として四日市市を選ばなかった理由



6. まとめ

(1) 就業意向

①四日市市での就業希望

- ・四日市市在住者の四日市市での就業希望について、「四日市市で働きたい（働きつけたい）」と「通える範囲であれば四日市市ではなくてもよい」を合わせると自宅から通える範囲を希望している人は7割以上を占める。

②働きたい理由

- ・四日市市在住者の「四日市市で働きたい（働きつけたい）」理由は、「家族や知人が近くにいるから」と「四日市市の生活が自分にあってるから」の割合が高く、仕事の内容よりも四日市市で働くことを優先に考えている。
- ・四日市市外で働きたい理由は、「賃金などの労働条件が良いから」「希望する企業や仕事が四日市市内に少ないから」「視野を広げたいから」に回答が分かれ、多様な理由があげられている。

(2) 生活の楽しみ・四日市市の魅力

①生活の楽しみと四日市市の魅力

- ・日常の生活を楽しむためにしたいことは、「買物」「飲食」「友人との会話」「映画・コンサート」などが多くなっている。
- ・四日市市の魅力については、四日市市在住者は「住みやすい」が最も多く、次いで「買い物やレジャーが楽しめる」、市外在住者は「働く場が多い」が最も多く、次いで「買い物やレジャーが楽しめる」となっている。

②四日市市への愛着・親しみ

- ・四日市市への愛着や親しみについては、四日市市在住者は6割以上、市外在住者は約4割が愛着・親しみを感じている。
- ・「住みやすい魅力あるまち」にするために参加したい活動内容については、「子どもに関する活動」「地域のお祭りに関する活動」「観光に関する活動」の回答が多くなっている。四日市在住者は「スポーツに関する活動」も比較的多い。

(3) 今後の居住意向

①今後の居住意向

- ・四日市市在住者の6割以上が今後も住み続ける意向を持っている。
- ・転居するとした場合に最も住んでみたい都市としては、四日市市在住者は「四日市市」が最も高い割合となっているが32.4%にとどまっている。

②住んでみたい理由

- ・最も住んでみたい都市として四日市市を選択した理由は、「交通が便利だから」「知人・家族が近くにいるから」「地域に愛着を感じるから」などが多くなっている。
- ・四日市市を選択しなかった理由は、「交通が不便」が最も多くなっている。

四日市市総合計画策定WEBアンケート 通勤通学者アンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

四日市市の状況を日常的に実感している市外の方の四日市市に対する評価を把握し、四日市市の課題と魅力を多角的に分析する。

(2) 調査対象者

- ・d ポイントクラブ会員を対象に以下の手順で対象者を抽出
 - ステップ1：直近3か月間の1時間毎の滞在ログを調査
 - ステップ2：四日市市のログが最も多いユーザを除外（四日市市の居住者）
 - ステップ3：四日市市のログが二番目に多いユーザの内、四日市在住者を除外

(3) 調査実施状況

①調査期間

平成30年11月19日～12月7日

②回収状況

対象者数：3,217

回収数：449

回収率：14.1%

2. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年齢

- ・性別では、男性が67.3%を占め、男性が多い。
- ・年齢では、「40歳代」が34.3%、「50歳代」が30.5%、「30歳代」が19.6%となっている。

図2-1 性別

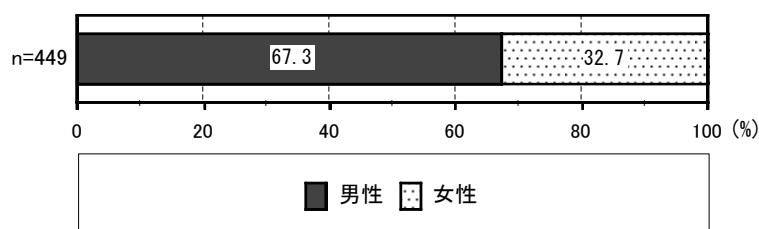
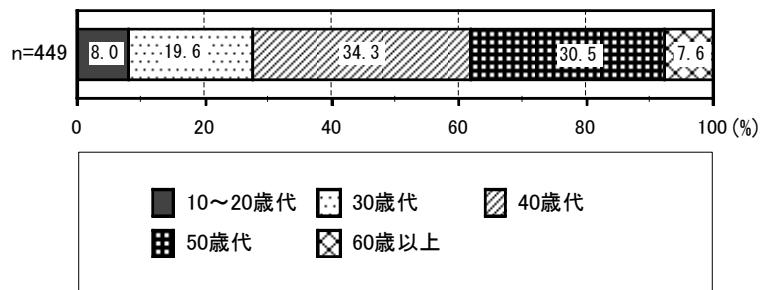


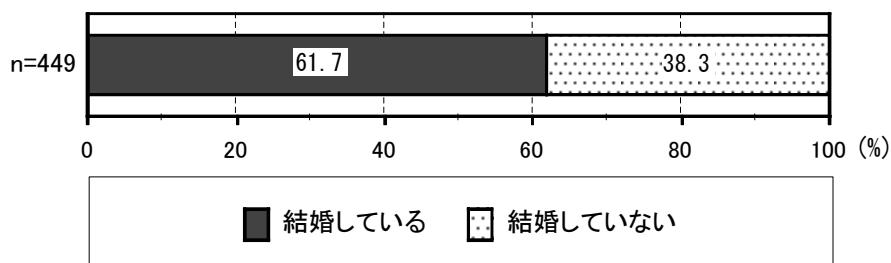
図2-2 年齢構成



(2) 既婚・未婚

- ・結婚の有無については「結婚している」が 61.7%あり、未婚よりも既婚の人が多くなっている。

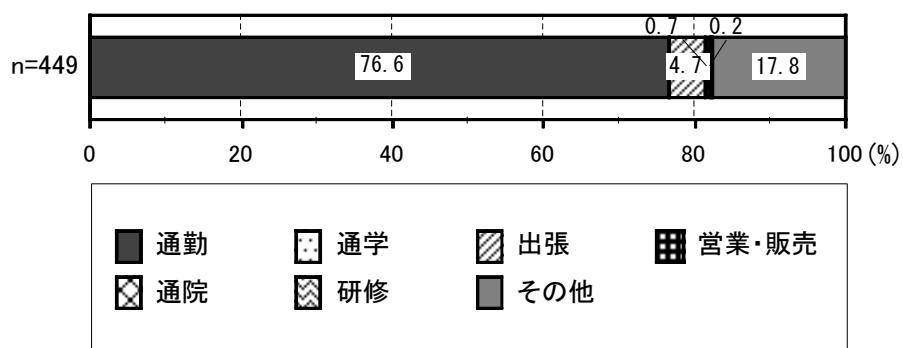
図 2-3 既婚・未婚



(3) 四日市市への来訪目的

- ・四日市市への来訪目的は、「通勤」が 76.6%と「出張」が 4.7%と、通勤か業務目的で来訪する人が 8 割以上を占める。

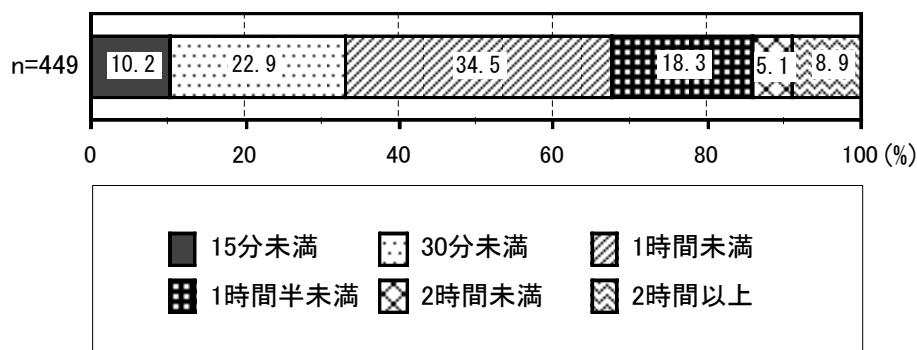
図 2-4 四日市市への来訪目的



(4) 四日市市までかかる時間

- ・四日市市への来訪する際にかかる時間は、「1時間未満」が 34.5%と最も割合が高く、「15分未満」と「30分未満」を合わせ 30 分未満が 33.1%、「1時間未満」を加えた 1 時間未満が 67.6%となっている。

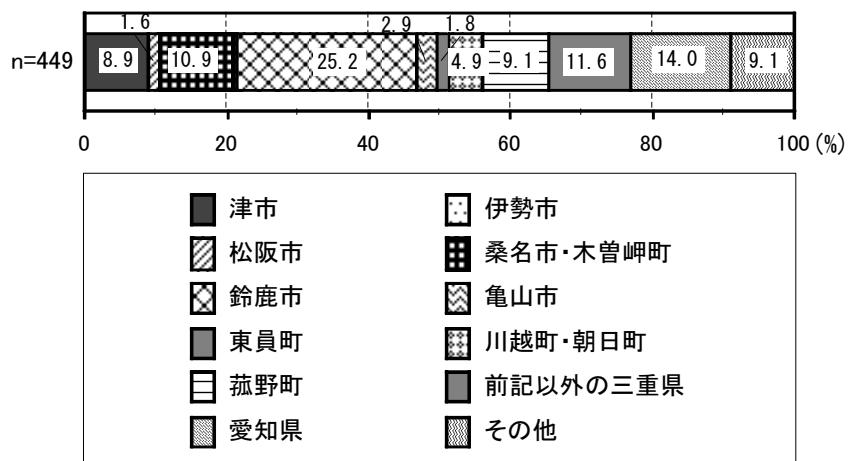
図 2-5 四日市市までかかる時間



(5) 居住地

- 居住地については、「鈴鹿市」が25.2%と最も割合が高くなっている。それ以外では「桑名市・木曽岬町」10.9%、「菰野町」9.1%と回答が分散しており、多くの市町から通勤している。

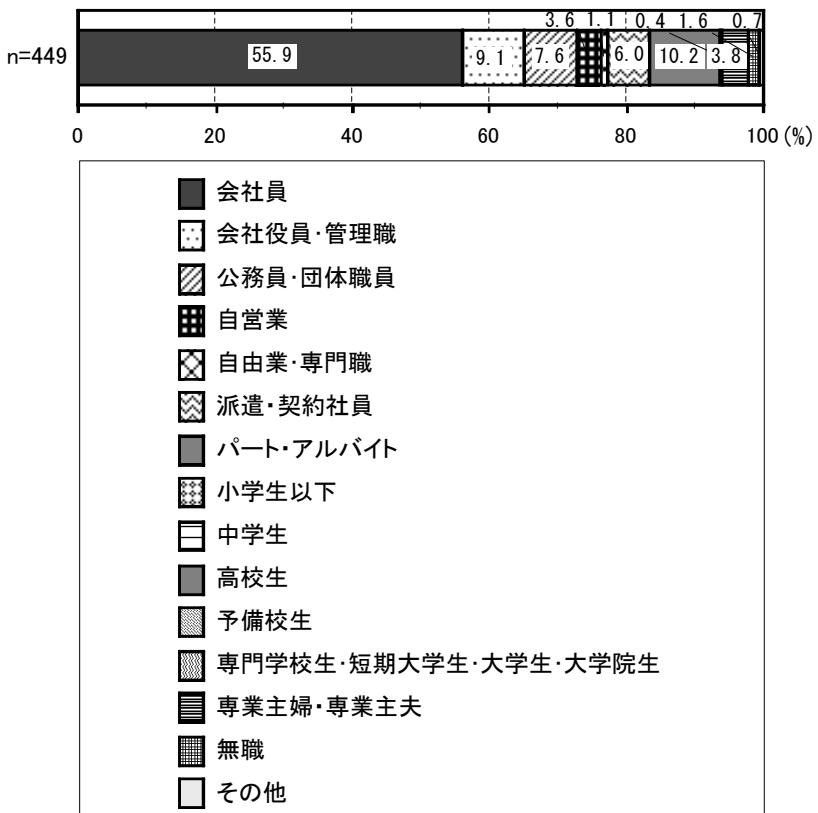
図 2-6 居住地



(6) 職業

- 通勤・業務目的の来訪者が大半を占めることから、職業も「会社員」55.9%、「会社役員・管理職」9.1%、「公務員・団体職員」7.6%、「派遣・契約社員」6.0%、「パート・アルバイト」10.2%と勤務者が9割近くを占めている。

図 2-7 職業

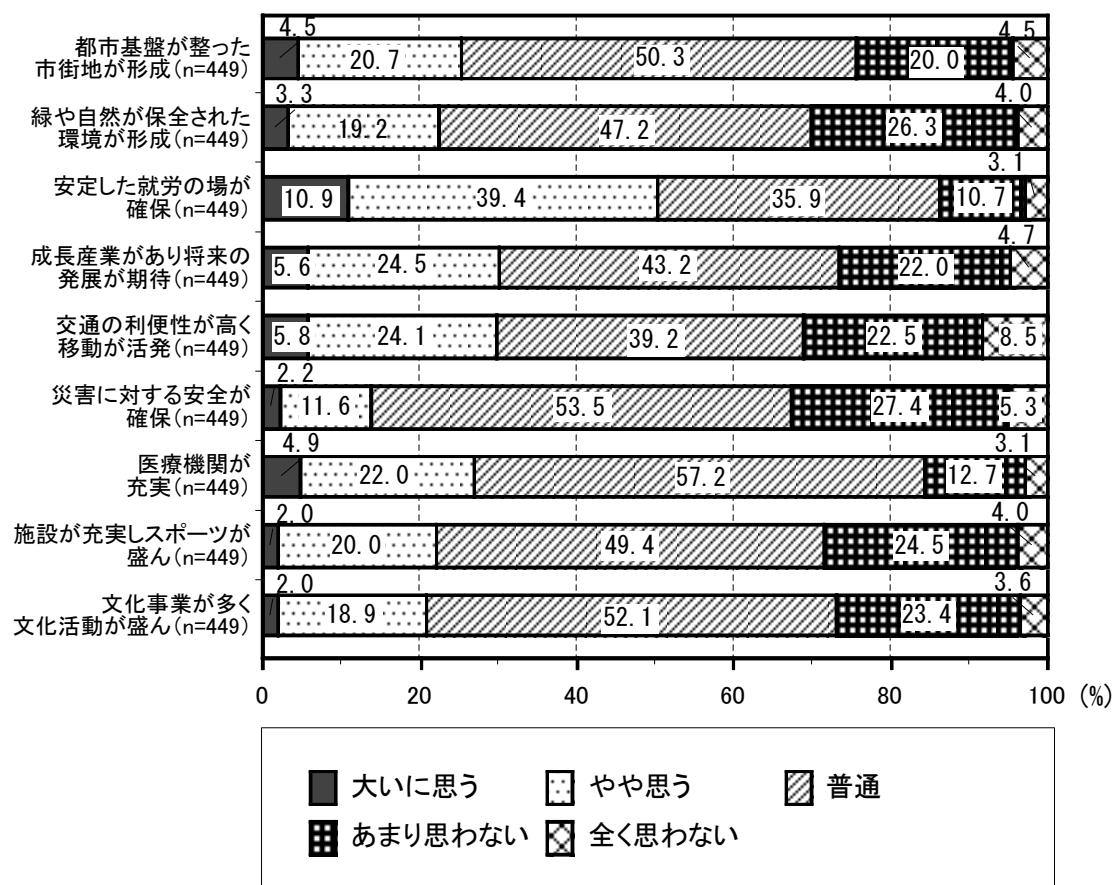


3. 四日市市の評価

(1) 四日市市に対する評価

- 四日市市の評価として「大いに思う」と「やや思う」を合わせた肯定的な評価の割合をみると「安定して就労の場が確保（多様な産業があり安定した就労の場が確保されている）」が50.3%と最も高くなっている。
- 次いで「成長産業があり将来の発展が期待（成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる）」が30.1%、「交通の利便性が高く移動が活発（鉄道やバスなど公共交通の利便性が高く、人とモノの移動が活発である）」が29.9%と肯定的な回答割合が比較的高くなっているが、「あまり思わない」「全く思わない」という否定的な回答割合も同じ程度みられる。
- 「災害に対する安全が確保（防災対策が進み、災害に対する安全が確保されている）」は肯定的な回答割合が13.8%にとどまり、最も低くなっている。逆に否定的な回答割合は32.7%となっている。

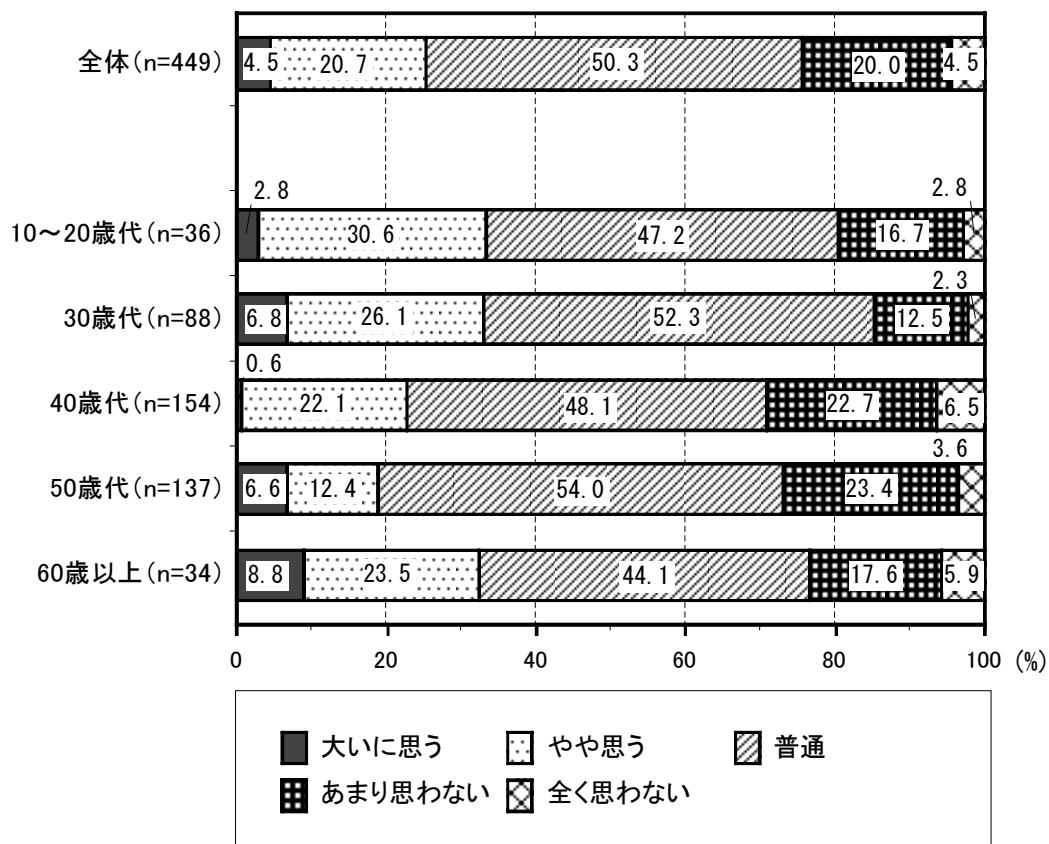
図3-1 項目別四日市市の評価



(2)「道路や公園などの都市基盤が整い快適に暮らせる市街地が形成されている」の評価

- 「道路や公園などの都市基盤が整い快適に暮らせる市街地が形成されている」については、「普通」が50.3%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答はほぼ同じ割合となっている。
- 「10~20歳代」と「30歳代」と「60歳以上」で、「大いに思う」と「やや思う」の肯定的な回答割合が33%程度あり、若い層と高齢の層で肯定的な割合が高くなっている。

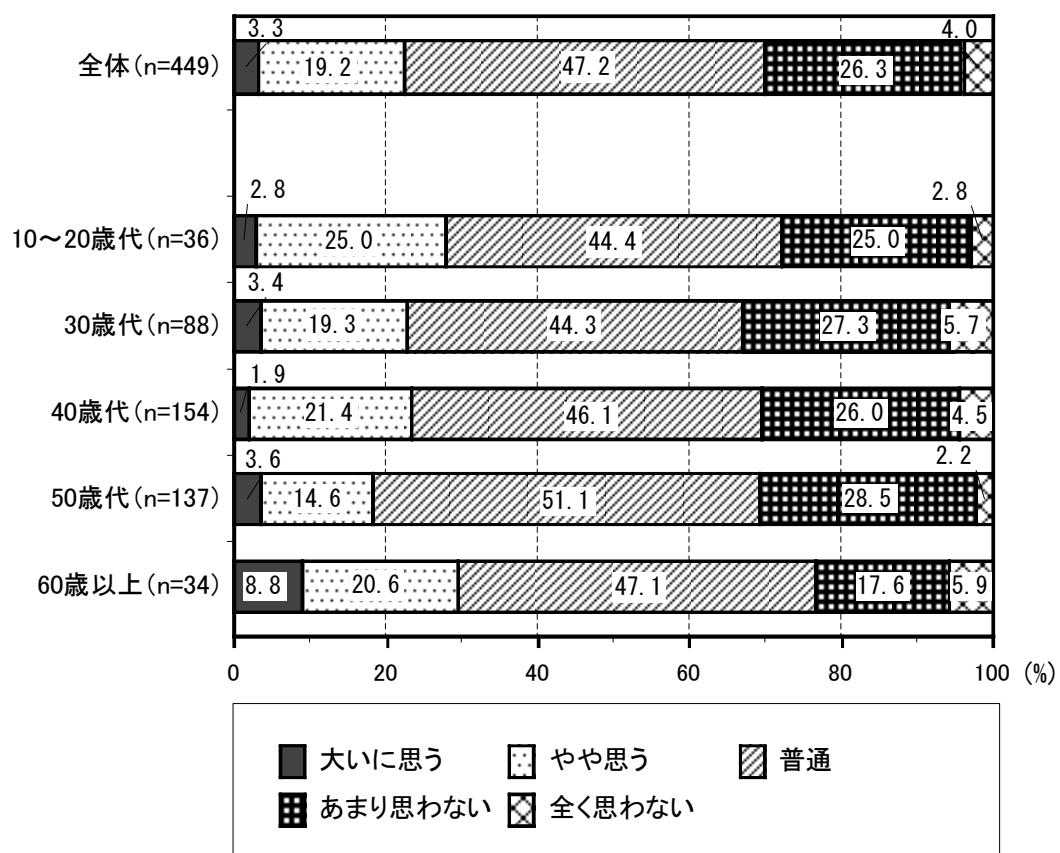
図3-2 年齢別「道路や公園などの都市基盤が整い快適に暮らせる市街地が形成されている」の評価



(3) 「緑や自然が保全され潤いを感じる環境が形成されている」の評価

- 「緑や自然が保全され潤いを感じる環境が形成されている」については、「普通」が47.2%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると否定的な回答割合がやや高くなっている。
- 年齢別では、「30歳代」で否定的な回答割合が33.0%と高くなっている。

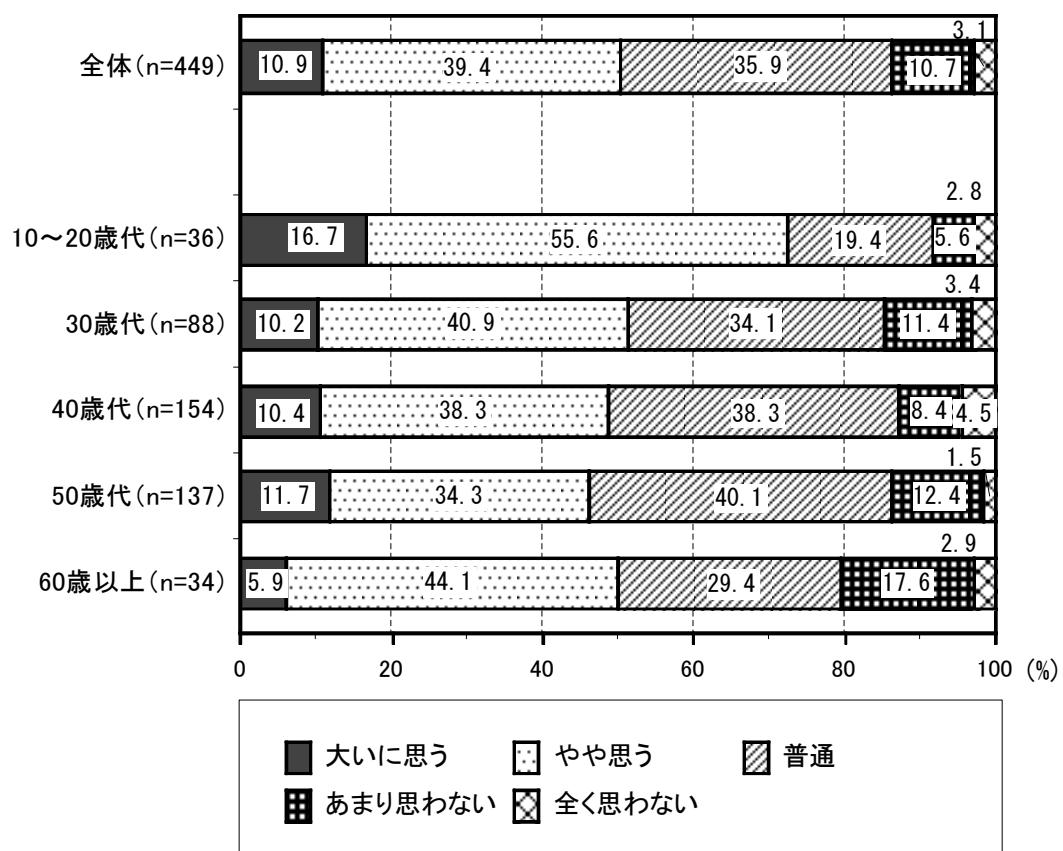
図3-3 年齢別「緑や自然が保全され潤いを感じる環境が形成されている」の評価



(4) 「多様な産業があり安定した就労の場が確保されている」の評価

- 「多様な産業があり安定した就労の場が確保されている」については、「10~20 歳代」で肯定的な回答割合が 72.3% と高い割合となっている他、各年齢層とも約 5 割が肯定的な回答となっている。

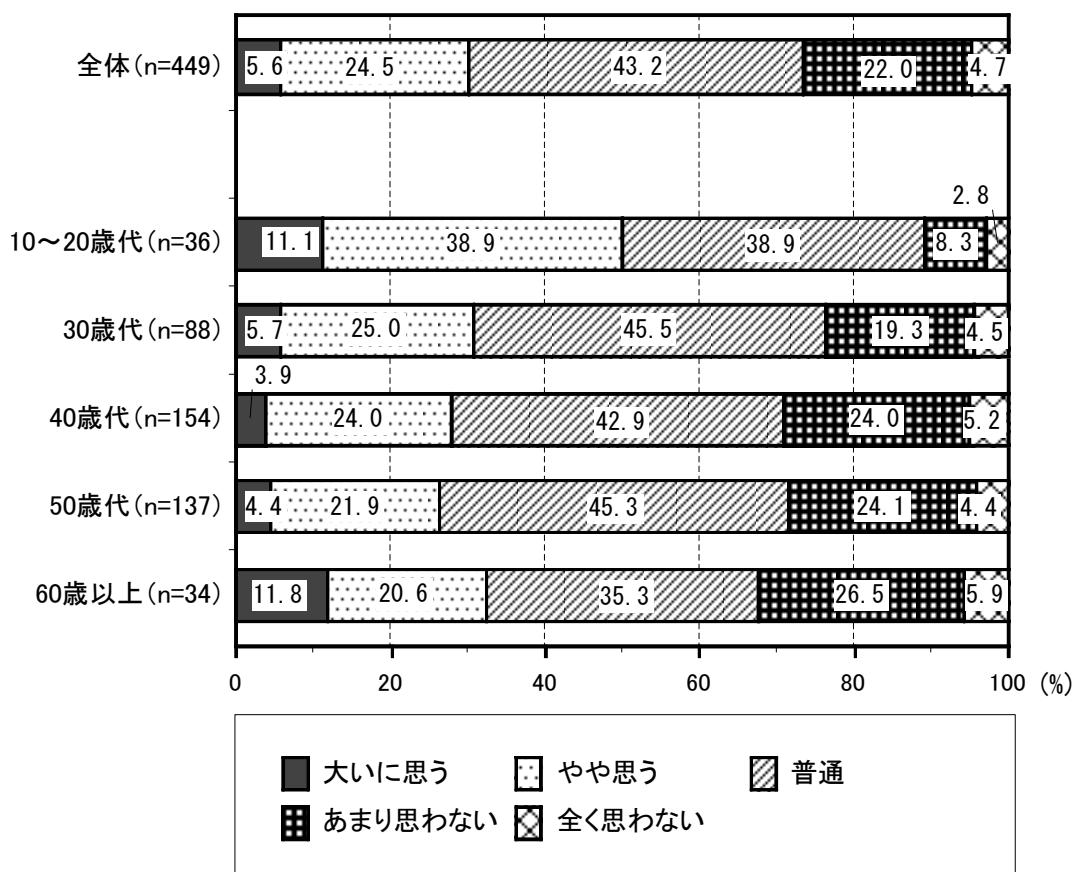
図 3-3 年齢別「多様な産業があり安定した就労の場が確保されている」の評価



(5) 「成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる」の評価

- 「成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる」については、「普通」が43.2%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると肯定的な回答割合がやや高くなっている。
- 年齢別では、「10~20歳代」で肯定的な回答割合が50%と高くなっている。
- 「40歳代」、「50歳代」、「60歳以上」では、否定的な回答割合が約3割と比較的高くなっている。

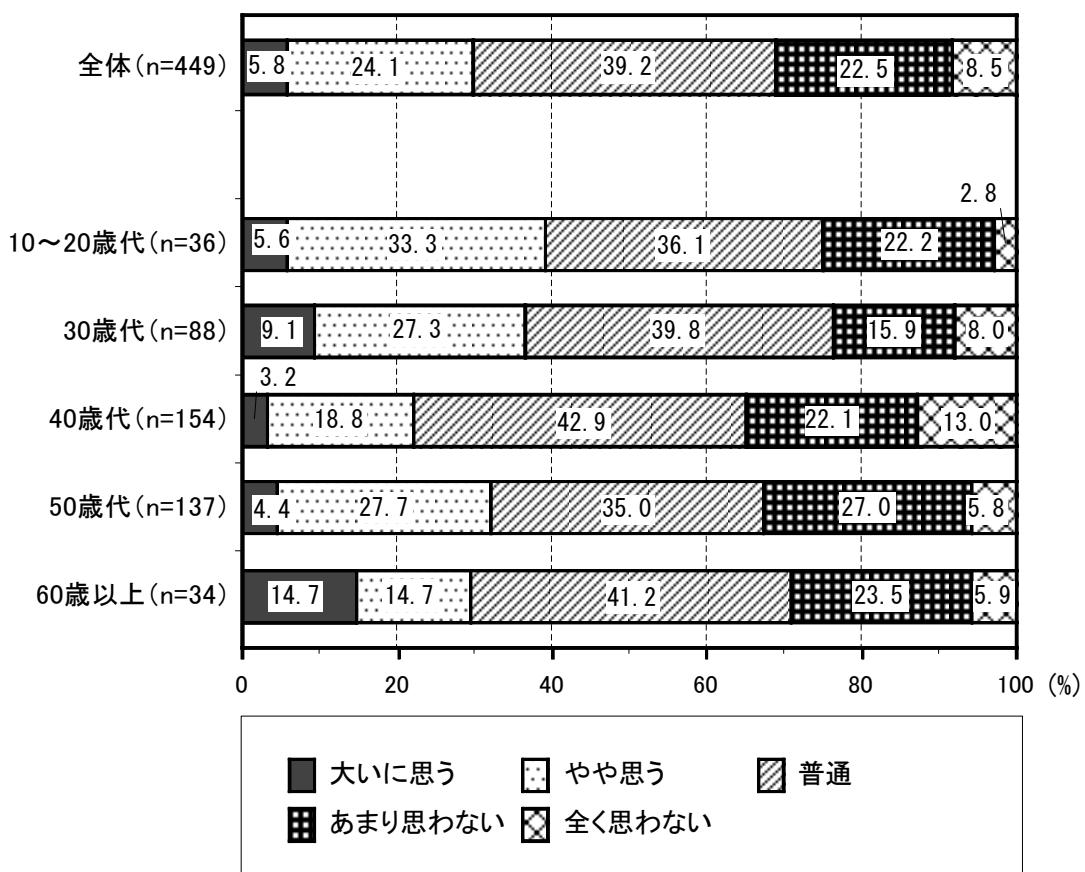
図3-5 年齢別「成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる」の評価



(6) 「鉄道やバスなど公共交通の利便性が高く、人とモノの移動が活発である」の評価

- ・「鉄道やバスなど公共交通の利便性が高く、人とモノの移動が活発である」については、「普通」が39.2%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答はほぼ同じ割合となっている。
- ・「10~20歳代」と「30歳代」は、肯定的な回答割合が約4割と高くなっている。しかし、「40歳代」は肯定的な回答割合22%に対して、否定的な回答割合は35.1%と否定的な回答割合が高くなっている。

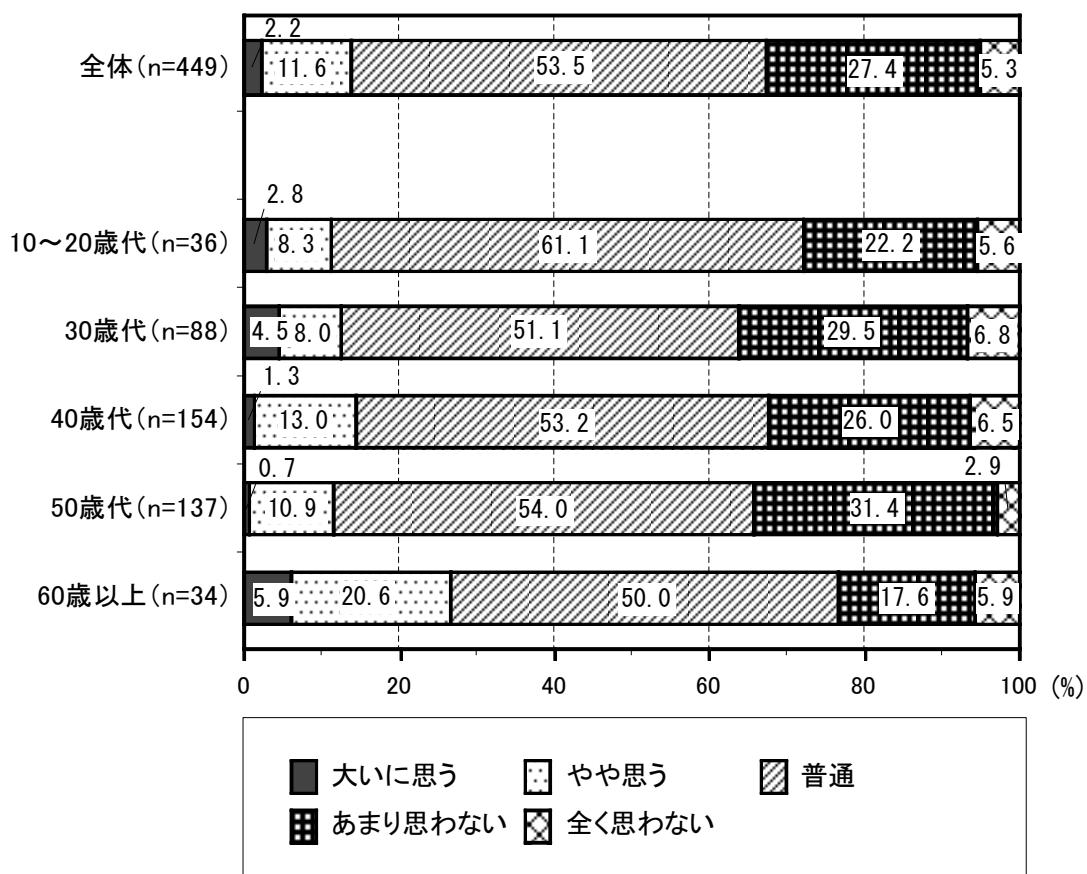
図3-6 年齢別「鉄道やバスなど公共交通の利便性が高く、人とモノの移動が活発である」の評価



(7) 「防災対策が進み、災害に対する安全が確保されている」の評価

- 「防災対策が進み、災害に対する安全が確保されている」については、「普通」が 53.5% と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると否定的な回答割合が高くなっている。
- 年齢別では「60 歳以上」で肯定的な回答割合が 26.5% とやや高くなっている。他の年齢層では、全体と同様には「普通」が最も高い割合となっているものの、肯定的な回答割合に比べて否定的な回答割合が高くなっている。

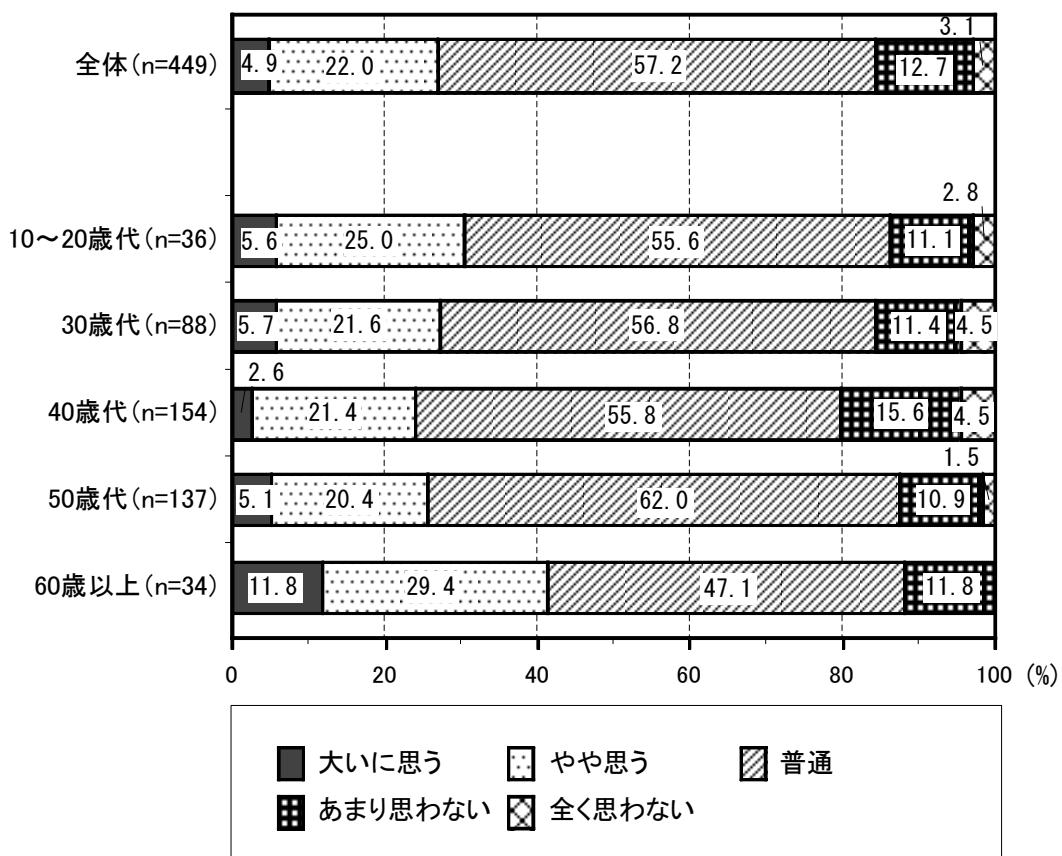
図 3-7 年齢別「防災対策が進み、災害に対する安全が確保されている」の評価



(8) 「医療機関が充実し適切な医療が受けられる」の評価

- 「医療機関が充実し適切な医療が受けられる」については、「普通」が 57.2% と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると肯定的な回答割合が高くなっている。
- 年齢別では、「60 歳以上」の年齢の高い層で、肯定的な回答割合が 41.2% と高くなっている。

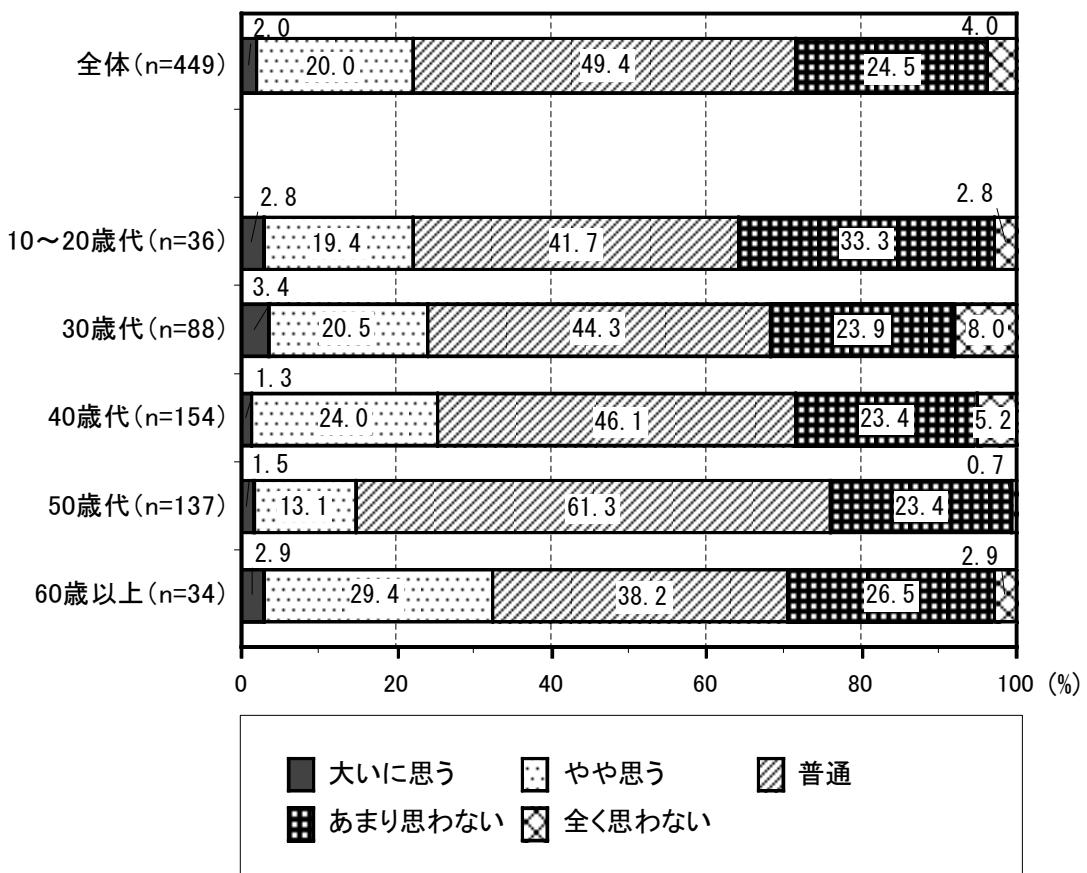
図 3-8 年齢別「医療機関が充実し適切な医療が受けられる」の評価



(9) 「スポーツ施設が充実しスポーツが盛んである」の評価

- 「スポーツ施設が充実しスポーツが盛んである」については、「普通」が49.4%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると否定的な回答割合がやや高くなっている。
- 年齢別では、「10~20歳代」で否定的な回答割合が36.1%と高くなっている。また「30歳代」も否定的な回答割合が31.9%と、若い層で否定的な割合が高くなっている。
- 「60歳以上」は肯定的な回答割合も32.3%あり、評価が分かれている。

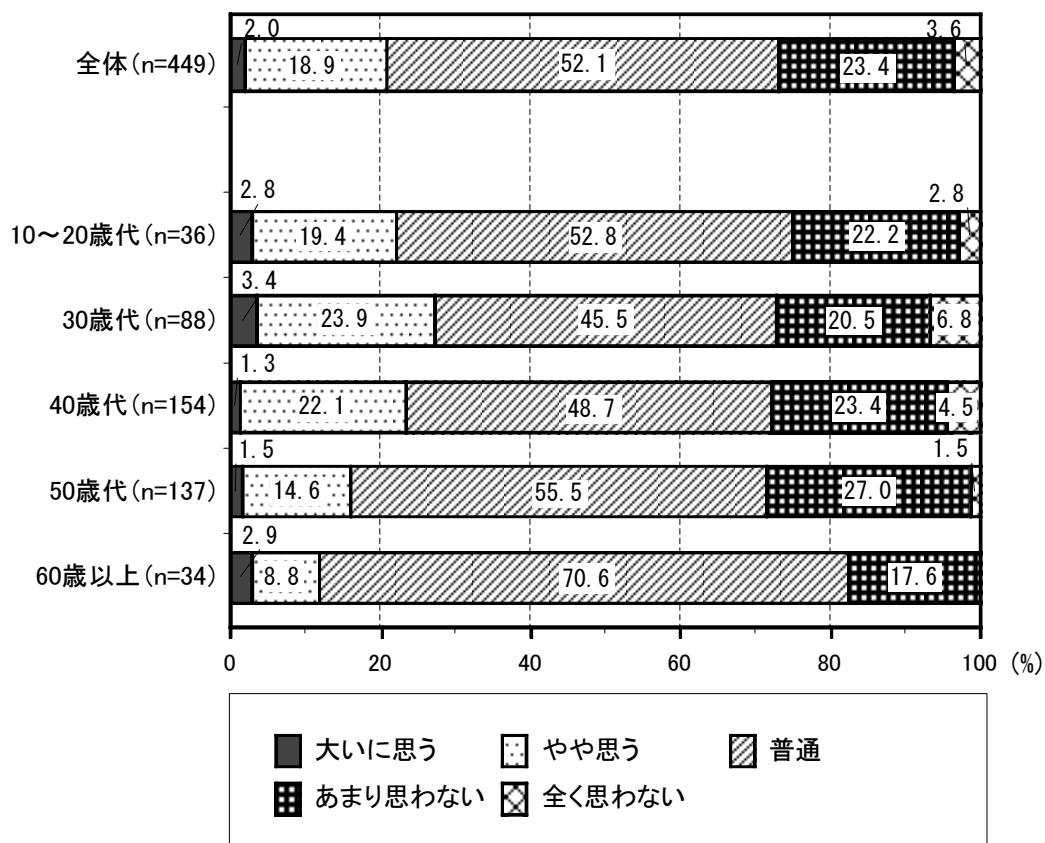
図3-9 年齢別「スポーツ施設が充実しスポーツが盛んである」の評価



(10) 「文化施設や文化的な催事が多く、文化活動が盛んである」の評価

- 「文化施設や文化的な催事が多く、文化活動が盛んである」については、「普通」が52.1%と最も高い割合となっている。また、肯定的な回答と否定的な回答を比較すると否定的な回答割合がやや高くなっている。
- 年齢別では、「30歳代」で肯定的な回答割合が27.3%と否定的な回答割合と同じとなっているが、それ以外に年齢層では否定的な回答割合が高くなっている。

図3-10 年齢別「文化施設や文化的な催事が多く、文化活動が盛んである」の評価

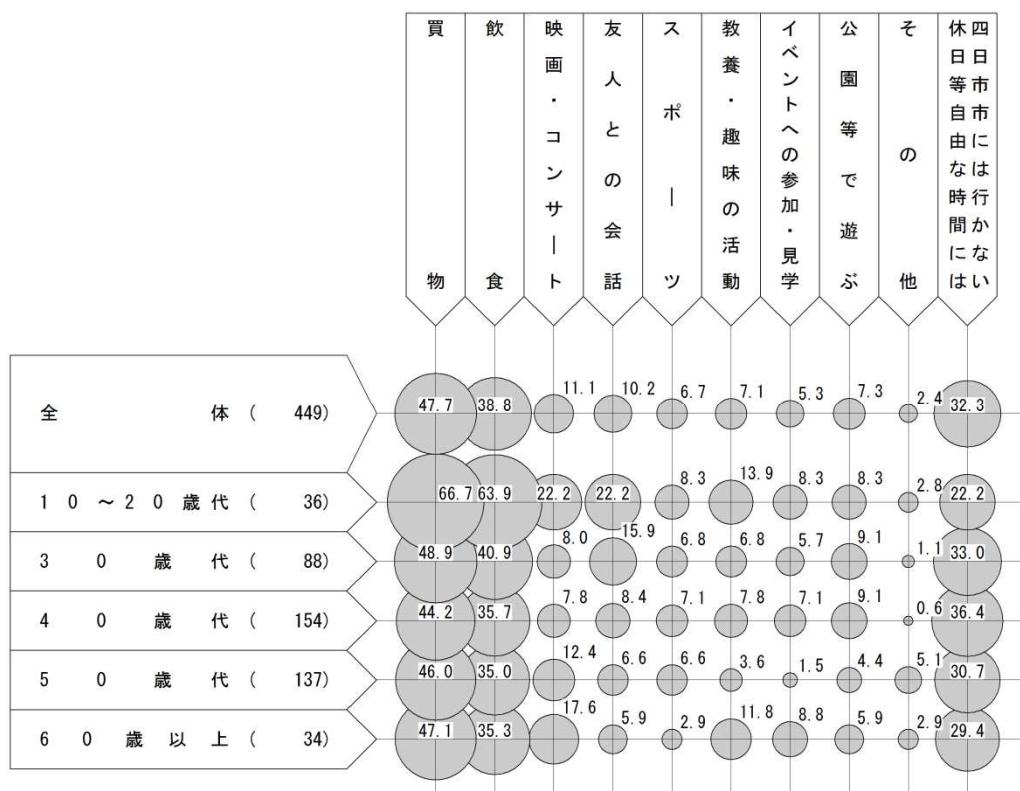


4. 四日市市の魅力

(1) 四日市市での楽しみ方

- 四日市市での楽しみ方については、「買物」が47.7%と最も高く、次いで「飲食」が38.8%と買物・飲食で楽しんでいる割合が高い。しかし、「休日等自由な時間には四日市市には行かない」が32.3%あり、四日市市内では仕事以外の楽しむ時間を持たない人が3割以上みられる。
- 年齢別では、「10~20歳代」は「映画・コンサート」と「友人との会話」の割合も高く、多様な楽しみ方をしている。

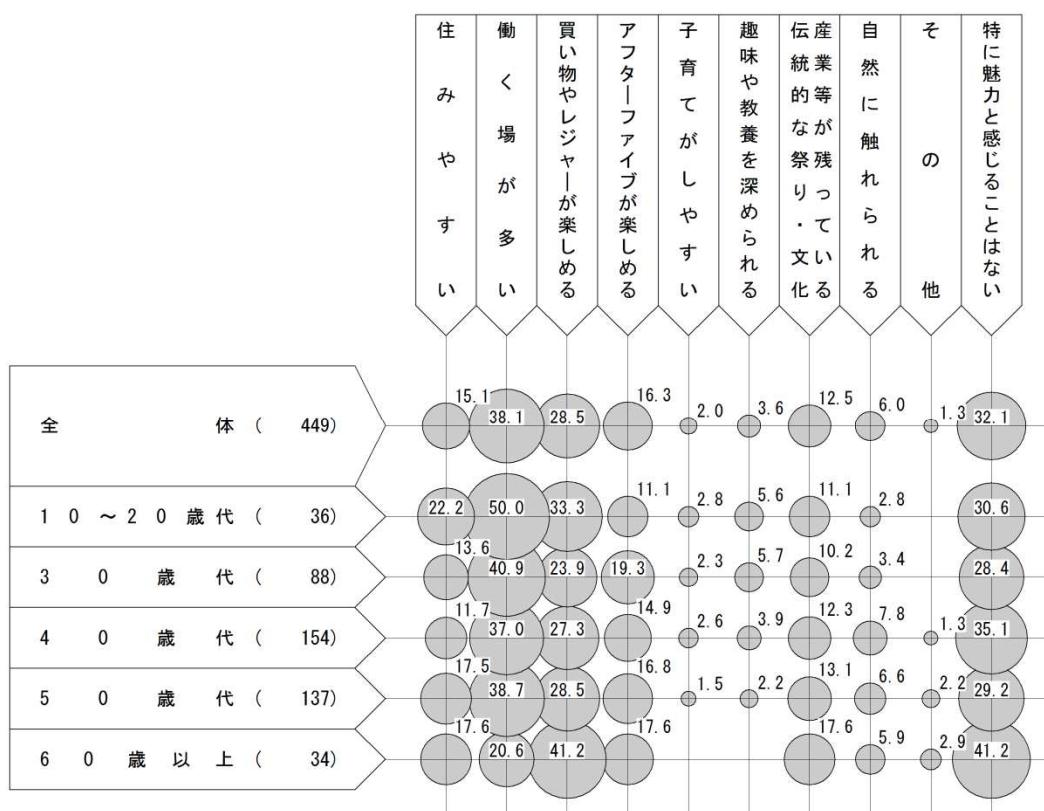
図4-1 年齢別休日等の四日市市での楽しみ方



(2) 四日市市の魅力

- 四日市市の魅力と思う点については、「働く場が多い」が38.1%と最も割合が高く、次いで「買い物やレジャーが楽しめる」が28.5%、「アフターファイブが楽しめる」が16.3%、「住みやすい」が15.1%となっている。しかし、「特に魅力と感じることはない」が32.1%とあり、魅力を感じない人の割合も高くなっている。
- 年齢別では、「10~20歳代」では「働く場が多い」が50.0%と高くなっているなど、年齢が若い層ほど割合が高くなっている。若い人にとっては働く場が多いことが最大の魅力となっている。
- 「60歳以上」の高齢者は買い物やレジャーが楽しめる」が41.2%と最も高くなっているが、「特に魅力と感じることはない」も同じ割合となっており、魅力が無いと否定的な人も多い。

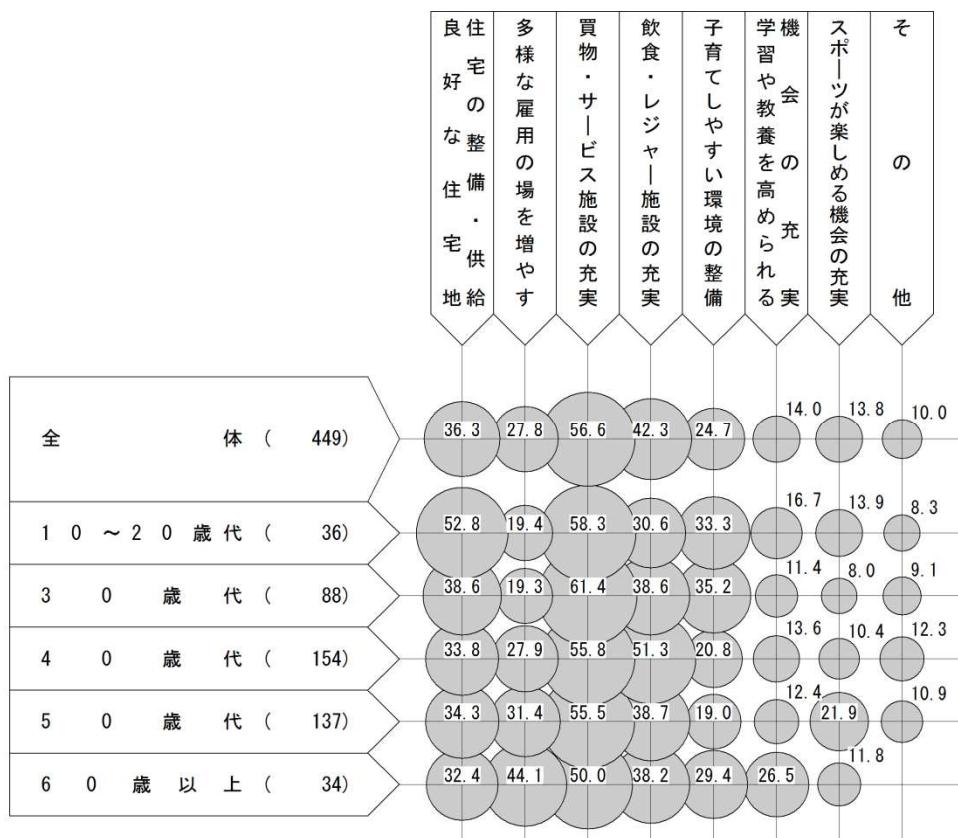
図4-2 年齢別四日市市の魅力



(3) 四日市市の魅力を高める方策

- ・四日市市の魅力を高めるために必要なこととしては、「買物・サービス施設の充実」が 56.6%と最も割合が高く、次いで「飲食・レジャー施設の充実」が 42.3%となっており、買物・飲食施設の充実を求める割合が高くなっている。
- ・年齢別では、「10 から 20 歳代」で「良好な住宅地・住宅の整備・供給」が 52.8%と非常に高い割合となっている他、「子育てしやすい環境の整備」も 33.3%あり、定住環境の整備を求める割合が高くなっている。
- ・「子育てしやすい環境の整備」は「30 歳代」でも 35.2%と高い割合となっている。
- ・「多様な雇用の場を増やす」は、年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

図 4-3 年齢別四日市市の魅力を高める方策

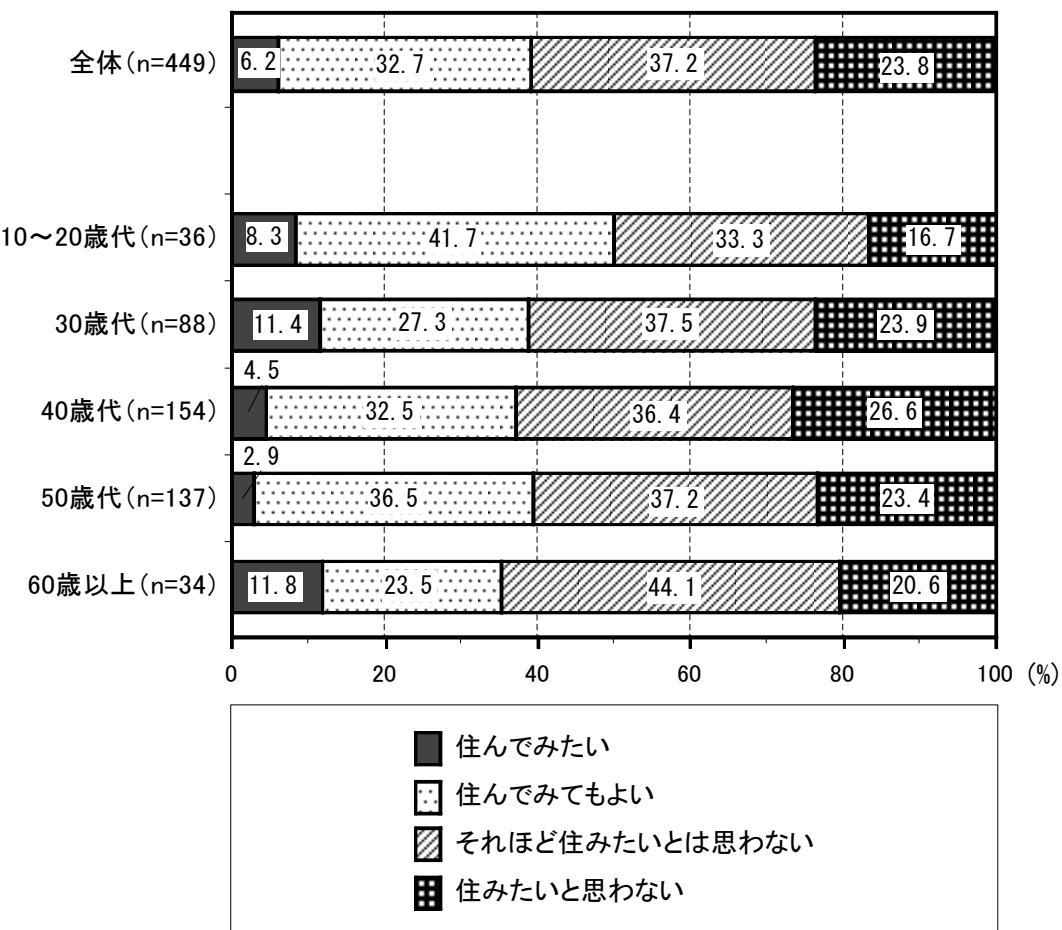


5. 四日市市への居住意向

(1) 四日市市への居住意向

- 将来転居を考える場合、四日市市に住んでみたいと思うかについては、「住んでみたい」と「住んでもよい」を合わせた四日市市への居住意向のある割合は38.9%となっている。
- 年齢別では、「10~20歳代」で居住意向のある割合が50.0%と最も高くなっている。30歳代以上の層は、居住意向のある割合は40%弱となっている。

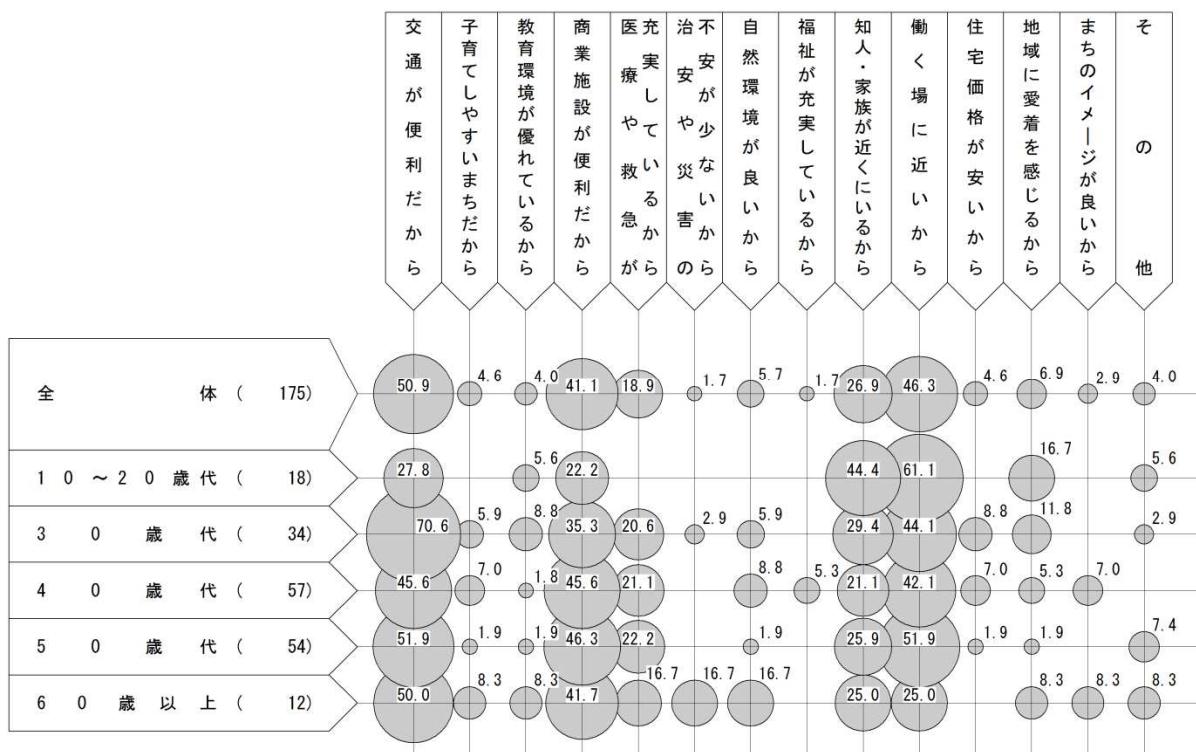
図 5-1 年齢別四日市市への居住意向



(2) 四日市市に住みたい理由

- 四日市市に「住んでみたい」と「住んでみてもよい」と回答した人の「四日市市に住んでみたいと思う理由は、「交通が便利だから」が 50.9%と最も割合が高く、次いで「働く場に近いから」が 46.3%、「商業施設が便利だから」が 41.1%となっている。
- 「30 歳代」は、「交通が便利だから」が 70.6%と割合が際立って高くなっている。

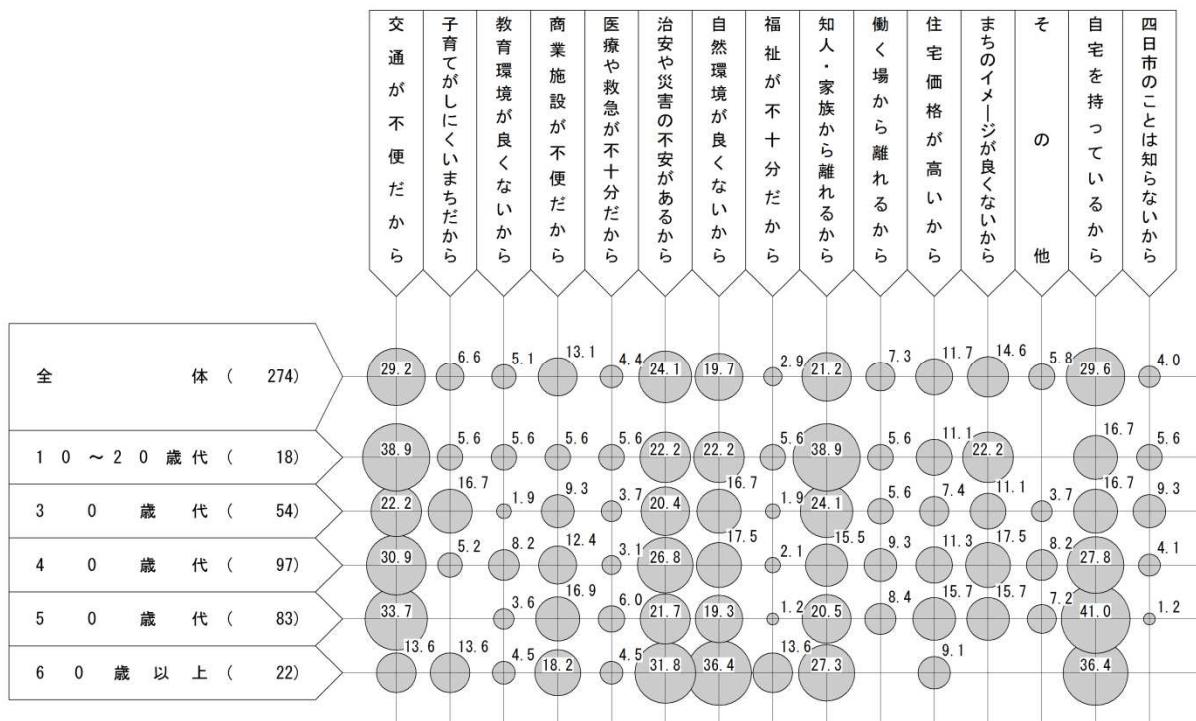
図 5-2 年齢別四日市市に住みたい理由



(3) 四日市市に住みたくない理由

- 四日市市に「それほど住みたいとは思わない」と「住みたいと思わない」と回答した人の四日市市に住みたくない理由は、「自宅を持っているから」が 29.6%と最も高くなっているが、それ以外では「交通が不便だから」が 29.2%、「治安や災害に不安があるから」が 24.1%、「知人・家族から離れるから」が 21.2%となっている。

図 5-3 年齢別四日市市に住みたくない理由

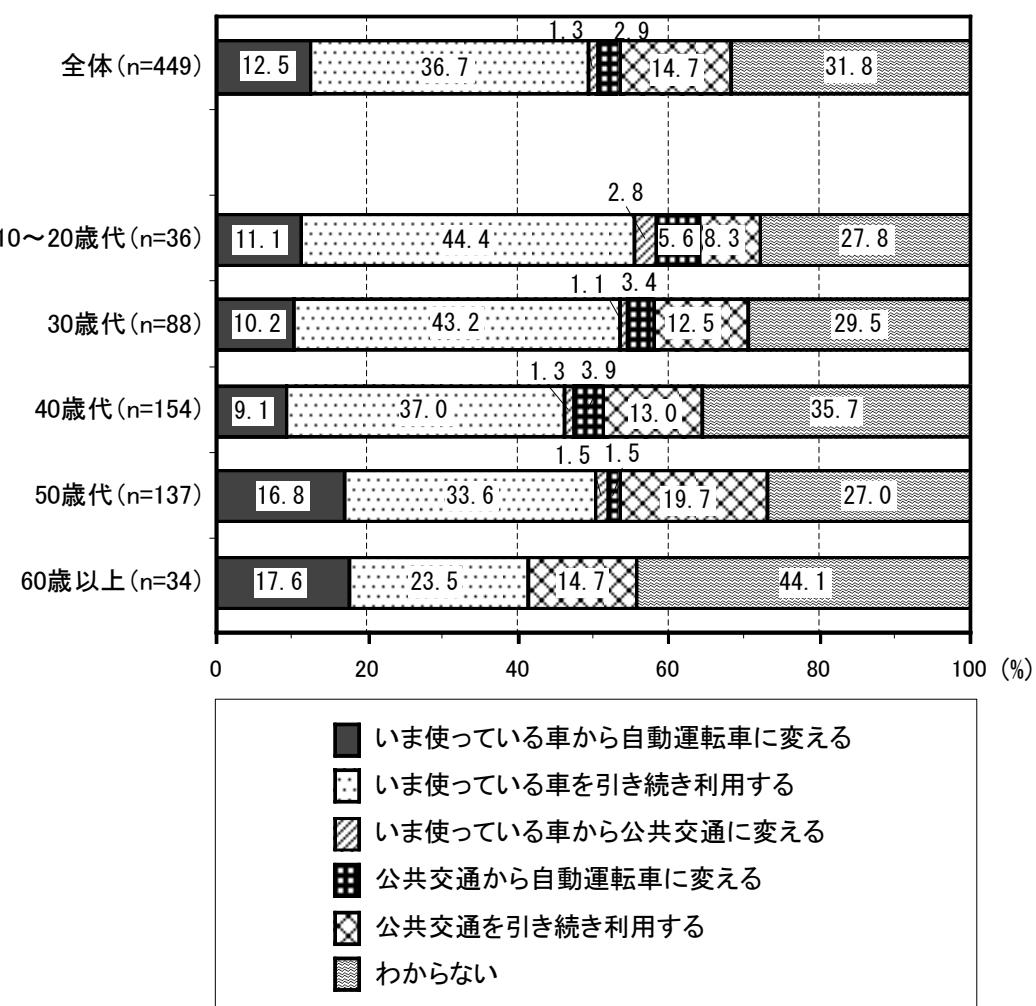


6. 車の自動運転について

(1) 自動運転実用化による通勤手段の変更意向

- ・近い将来、車の自動運転が実用化された場合、四日市市への通勤等の移動手段の変更意向については、「いま使っている車を引き続き利用する」が36.7%と最も高く、「公共交通を引き続き利用する」14.7%と合わせると、現状の移動手段を引き続き利用する割合が51.4%となっている。
- ・「わからない」が31.8%あり、現段階では判断できないという人も多い。
- ・年齢別では、「50歳代」と「60歳以上」で「いま使っている車から自動運転車に変える」割合が、他の年齢層よりも高くなっている、年齢が高い層ほど自動運転車への期待が大きいことがうかがえる。

図6-1 年齢別自動運転実用化による通勤手段の変更意向



7. まとめ

(1) 四日市市の評価

- ・四日市市に対する肯定的な評価の割合は、「安定して就労の場が確保（多様な産業があり安定した就労の場が確保されている）」が最も高く、次いで「成長産業があり将来の発展が期待（成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる）」「交通の利便性が高く移動が活発（鉄道やバスなど公共交通の利便性が高く、人とモノの移動が活発である）」が高くなっている。
- ・若い年齢層ほど肯定的に評価しており、「道路や公園などの都市基盤が整い快適に暮らせる市街地が形成されている」「成長が期待される産業があり将来の発展性が感じられる」「文化施設や文化的な催事が多く、文化活動が盛んである」は、年齢が若い層ほど肯定的な評価の割合が高くなっている。

(2) 四日市市の魅力

①四日市市の楽しみ方

- ・四日市市での楽しみ方については、買物・飲食で楽しんでいる割合が高い。一方、「休日等自由な時間には四日市市には行かない」という仕事以外の四日市市内で楽しむ時間を持たない人が3割以上みられる。

②四日市市の魅力

- ・四日市市の魅力と思う点については、「働く場が多い」が38.1%と最も割合が高く、次いで「買い物やレジャーが楽しめる」が高くなっている。
- ・四日市市の魅力を高めるために必要なこととしては、買物・飲食施設の充実を求める割合が高くなっている。
- ・「10から20歳代」の若い層は、「良好な住宅地・住宅の整備・供給」の割合が非常に高いうえに、「子育てしやすい環境の整備」も高く、定住環境の整備を求める割合が高くなっている。

(3) 四日市市の居住意向

①四日市市の居住意向

- ・将来転居を考える場合四日市市への居住意向のある割合は約4割みられる。
- ・「10～20歳代」では、四日市市への居住意向のある割合が50.0%と高くなっている。

②四日市市に住みたい理由

- ・「四日市市に住んでみたいと思う理由は、「交通が便利だから」が最も割合が高く、次いで「働く場に近いから」「商業施設が便利だから」が高くなっている。

③四日市市に住みたくない理由

- ・四日市市に住みたくない理由は、「自宅を持っているから」を除くと、「交通が不便だから」「治安や災害に不安があるから」「知人・家族から離れるから」が主な理由となっている。

四日市総合計画策定
まちづくり高校生アンケート 調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

次期総合計画の策定に向け、将来の四日市市を担うことが期待される高校生を対象に、本市のまちづくりに対する評価や愛着・誇りなどをたずねる。

(2) 調査対象者

- ・北勢地区の高校及び特別支援学校高等部の生徒の2年生

(3) 調査実施状況

①調査期間

平成30年12月～平成31年1月

②回収状況

回収数：4,665

図表1-1 通学する高等学校

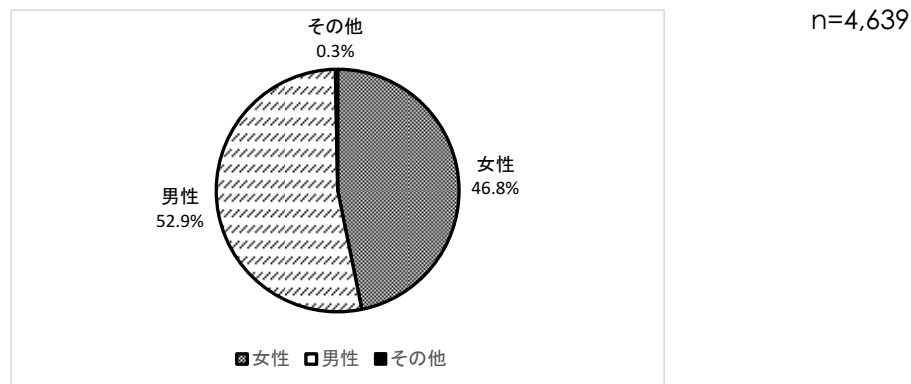
学校	四日市市在住	四日市市外在住	回答なし	合計
暁高校（3年制）	156	159	1	316
暁中学・高等学校（6年制）	72	63	-	135
朝明高校	105	99	1	205
大橋学園高校	40	77	1	118
海星高校	100	102	1	203
特別支援学校聖母の家学園	5	3	-	8
特別支援学校西日野にじ学園	11	2	-	13
特別支援学校北勢きらら学園	3	-	-	3
北星高校	23	26	-	49
四日市高校	169	181	1	351
四日市工業高校	126	182	1	309
四日市商業高校	185	84	-	269
四日市中央工業高校	155	76	-	231
四日市西高校	180	76	-	256
四日市南高校	216	83	-	299
四日市メリノール学院高校	57	29	-	86
四日市四郷高校	159	53	-	212
いなべ総合学園	32	277	-	309
川越高校	148	156	1	305
桑名高校	66	286	-	352
桑名工業高校	22	133	1	156
くわな特別支援学校	1	19	-	20
桑名西高校	56	254	-	310
菰野高校	76	73	1	150
合計	2,163	2,493	9	4,665

2. 回答者の属性

設問1 あなたの性別は？

- 性別では、女性が 46.8%、男性が 52.9% となっている。

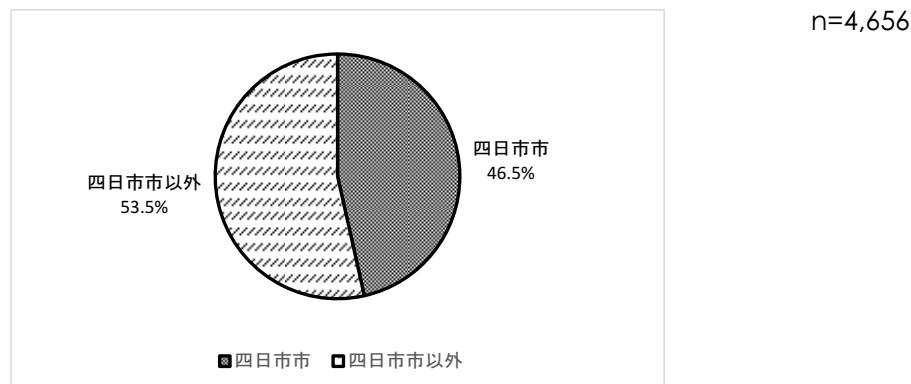
図表 2-1 性別



設問2 あなたのお住まいの地域はどこですか？

- お住まいの地域は、四日市市が 46.5%、四日市市外が 53.5% となっている。

図表 2-2 お住まいの地域

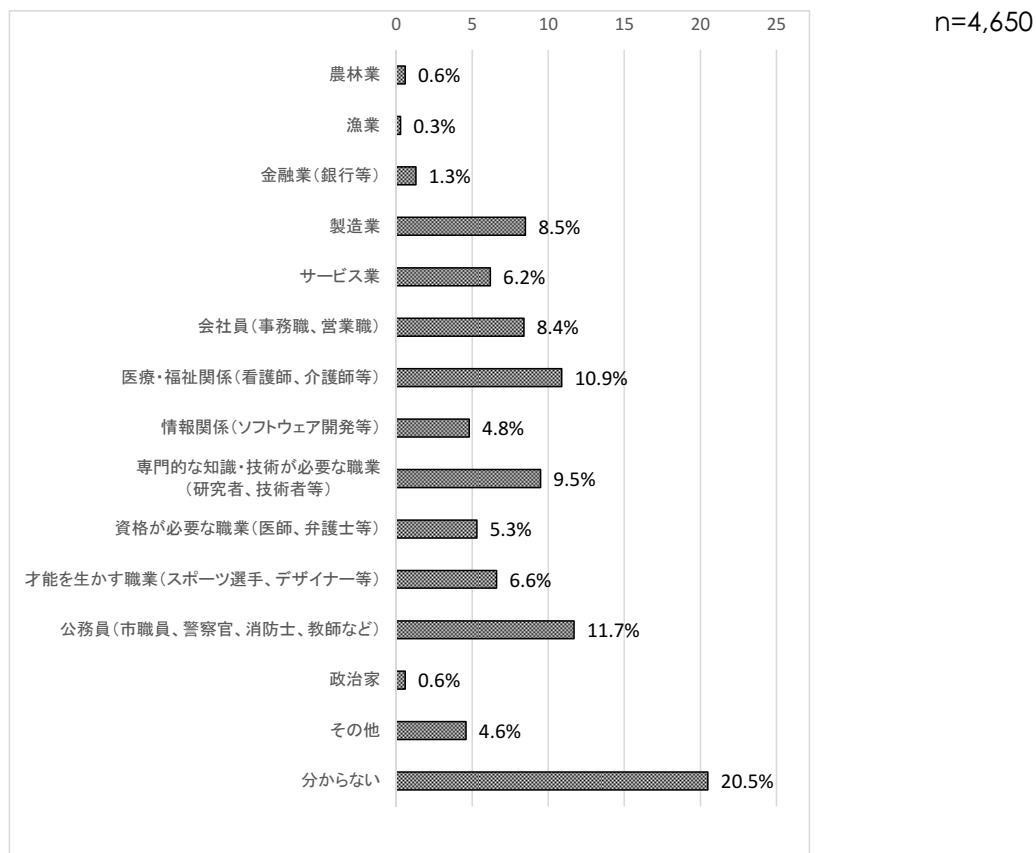


3. 将来したい仕事と就業場所

設問3 将来、どんな仕事をしたいですか

- 将来就きたい仕事については、分からぬという回答が 20.5% で最も多く、次いで公務員 (11.7%) 、医療・福祉関係 (10.9%) などが続いている。

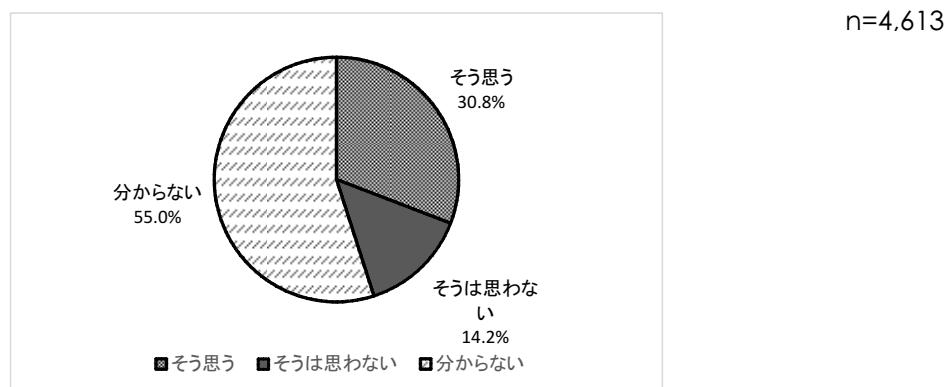
図表 3-1 将来したい仕事



設問4 問3で回答した仕事には、今住んでいる地域で就くことができそうですか

- そのうえで、今住んでいる地域で希望する仕事に就くことができそうかという問い合わせに対して、分からぬが 55.0% と半数以上を占め、そう思うは 30.8% にとどまっている。

図表 3-2 仕事に就く場所

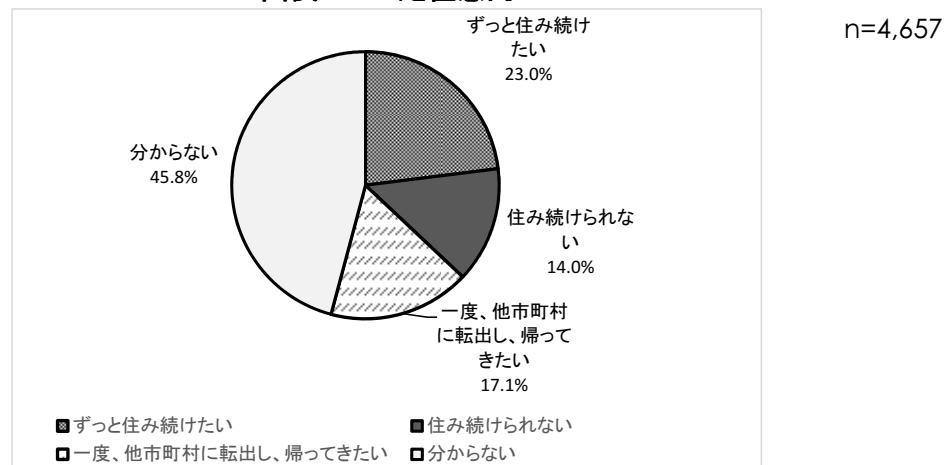


4. 定住意向

設問5 現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか？

- 今後の定住意向について、分からぬが 45.8%で半数近くを占めているが、ずっと住み続けたい（23.0%）や一度、他市町村に転出し、帰ってきたい（17.1%）で合わせて4割が住む意向を示している。

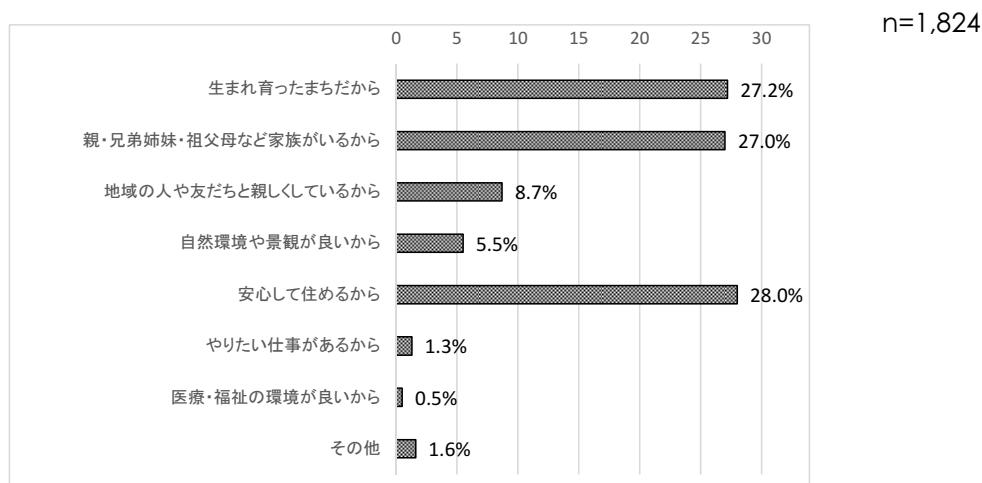
図表 4-1 定住意向



設問6-1 住み続けたい、帰ってきたい理由は何ですか。

- ずっと住み続けたいや一度、他市町村に転出し、帰ってきたいと回答した理由をたずねたところ、安心して住めるからが 28.0%で最も多く、生まれ育ったまちだから（27.2%）、親・兄弟姉妹・祖父母など家族がいるから（27.0%）が続いている。

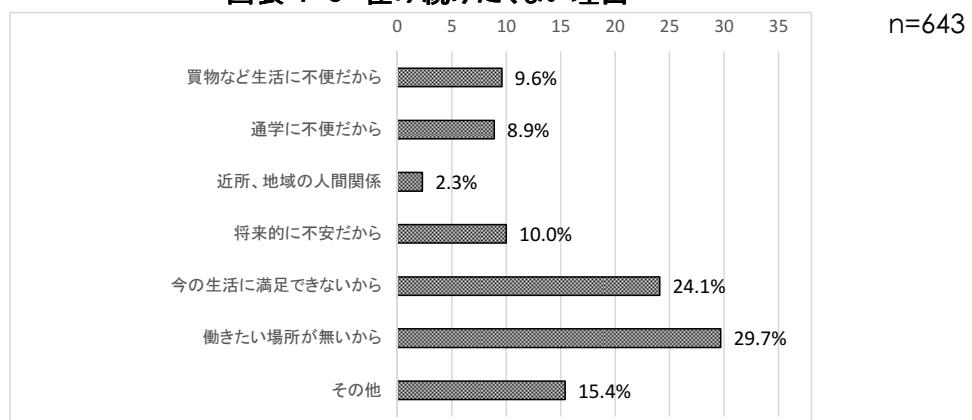
図表 4-2 住み続けたい・帰ってきたい理由



設問 6-2 住み続けられない理由は何ですか。

- ・住み続けられないと回答した理由をたずねたところ、働きたい場所が無いからという理由が 29.7% で最も多く、次いで今の生活に満足できないからが 24.1% となっている。

図表 4-3 住み続けたくない理由



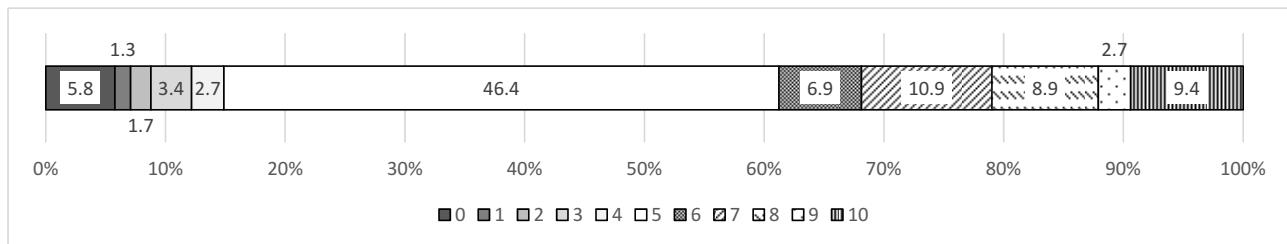
5. 愛着や誇りなど

設問7 四日市市に愛着や誇りを感じますか。また、友人・知人にお勧めできますか？

- 回答者にとって、四日市市に対する愛着、誇り、友人・知人でのお勧め度合について、0点から10点までの点数をつける間を設けた。
- 愛着については、約2割が8点以上の点数をつけ、6点以上では4割近くが好意的な点数を回答している。

図表5-1 愛着

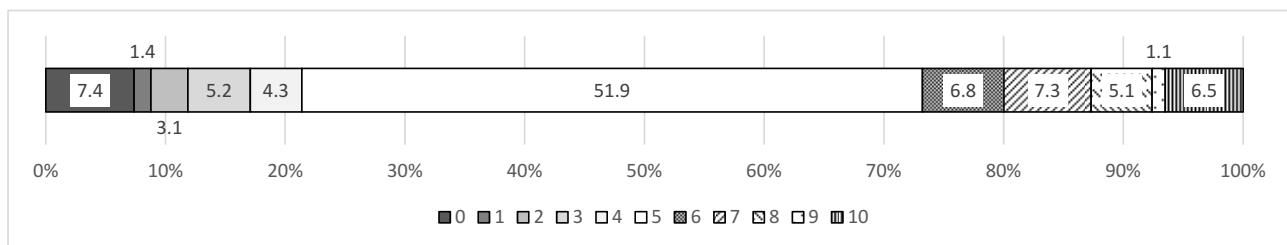
n=3,496



- 誇りについては、好意的な点数である6点以上をつけてているのは4分の1強にとどまっており、4点以下の回答割合とほぼ同じとなっている。

図表5-2 誇り

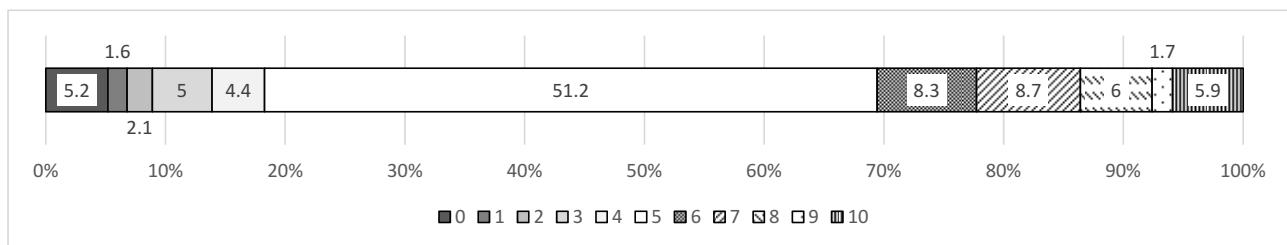
n=3,494



- お勧め度合については、好意的な点数である6点以上が3割強となっている。

図表5-3 お勧め度合

n=3,492



四日市市 次期総合計画策定にかかる
高校生と市長との懇談会 開催結果

1. 開催概要

(1) 開催目的

次期総合計画の策定に向け、将来の四日市市を担うことが期待される高校生を対象に、10年後の四日市市が、どのような「まち」だったら住みたいもしくは働きたいと思えるか等について、市長との懇談会形式で意見をうかがった。

(2) 開催日時・出席者

北勢地区の高校及び特別支援学校高等部の生徒 (計16校／52名)

(1) 平成31年2月16日 (土) 15:00～16:30

海星高校、桑名高校、北星高校、四日市高校、四日市商業高校、四日市南高校

(2) 平成31年2月20日 (水) 17:00～18:30

暁高校3年制・6年制、川越高校、桑名北高校、四日市工業高校、四日市西高校

(3) 平成31年2月21日 (木) 17:00～18:30

朝明高校、西日野にじ学園高等部、四日市中央工業高校、四日市メリノール学院高校、四日市四郷高校

2. 出された意見の概要

(1) 「10年後の四日市が、どのような「まち」だったら住みたい or 働きたい？」

① 都市・環境 【12件】

土地利用・拠点施設【4件】	
娯楽が充実しているまちがいい。部活が休みの日など四日市には行く場所がない。名古屋の店、長島のアウトレット、川越町のラウンドワンに行ってしまう。映画も東員町に観に行く。地元でリフレッシュできるような娯楽があるまちになると人も増えると思う。またその場所への移動のしやすさも必要だと思う。	四日市中央工業高校/2年
将来、家族ができたときのことを考えると、年代を問わず、子どもと一緒に楽しめるショッピングモールやテーマパークが中心部にあることは重要である。	四日市工業高校/2年
ディズニーランドやU.S.J.のような遊び場所がある、若者にとって魅力あるまちだったら、10年後も住みたいと思う。	四日市商業高校/2年
象徴的な建物があり、昔からの情緒あふれるまちだと10年後に住みたいと思う。子どもから高齢者まで住みやすいこと、流行を取り入れたお店があることなども住む場所を決める時の判断材料になる。	暁高校(6年制)/2年

公園の整備【3件】	
休日に年の離れた弟を公園に連れていくことがあるが、昔と比べて遊具が減り鉄棒などありきたりのものしかなく、子ども達が長時間楽しめるようになっていない。仕方なく家に居ることになるため、運動の習慣づけにもつながるよう遊具を充実させてほしい。	四日市西高校 / 2年
将来、自分に子供ができた時、子どもと一緒に外遊びができる広場が近くにあると良いと感じている。高齢者とふれあったりゲームばかりにならずに楽しい暮らしができると思う。	四日市高校 / 2年
年の離れた弟と妹がいるが、家族みんなで気軽に楽しめる公園があると良い。	北星高校 / 2年 /
自然環境【2件】	
自然が豊かで水もおいしい。萬古焼など伝統産業を大切にしている良いまちだと思う。	四日市高校 / 2年
桑名と比べると四日市市は緑が少ない印象がある。気軽に自然に触れ合えるような機会がもっと増えるといい。例えば、地域のボランティアが参加者と一緒に森をハイキングをすることなども考えられる。	桑名北高校 / 1年
環境に係る都市イメージ【2件】	
いろんなまちを転々してきたが、行く先々で空気のことを心配される。都市イメージとして四日市公害の記憶が残っている気がする。	四日市西高校 / 2年
市外や県外の人に市のこと説明するとき、四日市ぜんそくがあつたまちと紹介すると簡単に伝わるが、心苦しさを感じる。何かひとつでも全国区の知名度があるものが欲しい。 県外の人に誇れるものがあると、10年後も住みたいと思う。	四日市西高校 / 2年
ごみの処理・リサイクル【1件】	
プラスチックごみのリサイクルが完璧にできていると住みやすい。海外ではプラスチック製品を持ってくるとバスに無料で乗れる制度があるので、先進的な取組ができるとよい。	川越高校 / 2年 /

② 産業・中心市街地・シティプロモーション【13件】

働く場【2件】	
働くうえでストレスがないまちに住みたいと思う。例えば、労働時間が短いこと、子どもを企業内の託児所に預けることができて子どもが産まれても働きやすいことなど、子どもを産み・育てるうえで悩みが無くなるように手助けになるようなことを行政が取り組むべきである。この分野の一番を四日市が実現できるとまちの強みになる。	四日市南高校 / 2年
将来就職する時は、残業の無い会社で働きたい。8時間労働とされながらも、現実に学校の先生の働いている姿を見ていると、働く時間が長く、大変だと感じている。大変と思うような働き方だと、若い人の仕事に対するイメージが悪くなり、四日市市で働くことに魅力が感じられなくなる。	四日市高校 / 2年

中心市街地の活性化【8件】	
四日市駅は近鉄とＪＲの駅が離れているので、近鉄周辺は栄えているのに、ＪＲ周辺はさびれている。他市は駅が中心となって両方が栄えている。	四日市四郷高校 / 2年
商店街のシャッター化が目立っている。昼間の賑わいが不十分なため、子育て家庭向けのセールやイベントを開催し、子どもが大人と触れ合える機会を提供してはどうか。	暁高校（3年制） / 1年
昔から商店街は近寄りがたい空氣がある。商店街の活性化のためには、親子で楽しむことができるよう、小さい子ども向けのスタンプラリーを行つたらどうか。また、スタンプを置く場所に歴史を伝える仕掛けがあるといいと思う。	西日野にじ学園高等部 / 2年
商店街の活性化とイメージアップが課題である。昼間はアピタに人が流れおり、商店街はシャッターが閉まつていて人通りが少ない。商店街の活性化には店を知つてもらうことが必要であるが、そのためにイオンの電子マップを参考にして、商店街のマップをつくってはどうか。	四日市中央工業高校 / 2年
食べることが嫌いな人はいないし、生きていくうえでの楽しみとして、飲食を楽しめるまちになれば良いと思う。飲食店が増えて、友達や家族で食事が楽しめる場所が多くなれば楽しくなる。人が集まれば、店をやりたい人も増えて、食事を楽しめる場が増える。そうなれば、人も集まり、店が増えてまちの魅力がさらに高まると思う。	四日市高校 / 2年
商店街に朝に立ち寄れるカフェやパン屋があるといいと思う。朝の商店街のにぎわいにもつながると思う。	四日市中央工業高校 / 2年
商店街は居酒屋など大人向けの飲食店が多い。子連れや未成年でも入りやすい飲食店を誘致したり、商店街のイベントなどでも若者向けのものを企画したりしてはどうか。また、イベントは多いが知られていないと感じるため、ＳＮＳを活用して若者に向けた情報発信を行つてはどうか。	暁高校（6年制） / 2年
全体が明るく、活性化しているまちになれば住みたいと思う。夜もいい意味で活性化するとよいと思う。四日市市はいなべ市よりも都会だと思う。	四日市メリノール学院高校 / 2年
シティプロモーション【3件】	
まちの誇りについては非常に大事だと思う。まちに誇りを持っていれば、市外に転出することも少ないだろうし、市外からの転入も増えるのではないか。自分が住んでいる菰野町には、アクアイグニス・ロープウェイ・けいりんの浅井選手など誇りに思うものがある。	暁高校（3年制） / 2年
クルーズ船が夜に来てくれれば工場夜景も見てもらえると思うので、有効活用すべきだと思う。	四日市メリノール学院高校 / 2年
現状のままでは時代遅れになる心配がある。今後の四日市は、市民に向けた施策を重視するのか、市外に向けた対外的な施策を重視するのか、どちらを重視する考えか。	北星高校 / 3年

③ 交通・防災・防犯 【26件】

公共交通の充実【11件】	
近鉄・JRで通学しているが、7:00台には電車が満員になるので1本でもいいから増便してほしい。10年後もこのままだときつい。	四日市工業高校/2年
交通の便がいいまちだと10年後も住みたいと思う。湯の山線は特に昼間の電車本数が1時間に1本くらいで少なく、不便に思う。	川越高校/2年
交通の便が良く、移動しやすいまちにしてほしい。家の近くにあるバス停は1時間に1本、自転車で阿倉川駅まで15分かかる。	川越高校/2年
四郷高校周辺はバスが少なく、一度四日市駅に行かないと次の場所に行くことができない。南北方向に行くバスがなく、川島方面に行きたくても行くことができない。	四日市四郷高校/2年
10年後は、もっと交通が便利になったら良いと思う。家の近くにバス停があるが、運賃は高く、本数も少なく使いにくいため、自転車で通学している。バスの本数と料金を安くすればバスの利用者も増えるのではないか。利用者が増えれば、公共交通を充実させてさらに便利にすることができる。	四日市商業高校/2年
10年後も四日市に住みたいと思っている。その頃は働いていると思うが、交通の便が悪いと引っ越ししたくなってしまう。これから、公共交通機関を利用する機会が増えると思うので、もっと公共交通を充実してもらいたい。	海星高校/2年
南北の交通網が良くない。どこに住んでいても不便のないよう交通の便をよくしてほしい。	暁高校(6年制)/2年
交通の便がいいまちになってほしい。子どもや高齢者のためにも、バスや電車は充実させてほしい。中心部は充実しているが、郊外では高校に行くのも車か自転車が必要である。	朝明高校/2年
年をとると車に乗れなくなるので、10年後に公共交通が充実しているなら、四日市に住みたいと思う。年をとると車を運転できなくなるので、公共交通が必要となる。公共交通があれば、高齢者も家に引きこもることなく外出するようになるので、元気な高齢者が増えるのではないか。	桑名高校/1年
四日市に出る時には駅まで自転車で行って電車に乗るが、街灯が少ないため、夜遅い時間は自転車で行くなと親に言われ、外出しづらい。バスの運賃も高くて乗りにくいため、大人になったら車がなければ生活できないと思う。移動手段を増やしてほしい。	四日市メリノール学院高校/2年
四日市ドームへのアクセス手段を増やしてほしい。最寄りの駅からは距離がある。	四日市メリノール学院高校/2年
道路の渋滞対策【2件】	
国道1号や23号、塩浜街道などの慢性的な渋滞はひどい。将来、車に乗ることを考えると、通勤しやすい環境を整えることが重要である。	四日市工業高校/2年
市街地の通勤渋滞が無くなるとよい。通勤時間をずらしてもらうなどして、元気に仕事をしてもらえるようにしてほしい。	四日市中央工業高校/2年

道路の維持管理【2件】	
自転車で通学しており、四日市のまちなかへ来ることもあるが、郊外へ行くほど、道路のひび割れや穴が多く見受けられる。10年後は道路整備が完備していると住みやすいまちになると思う。	暁高校（3年制）/2年
道路が整ったまちに住みたいと思う。中心部はいいが、郊外部は歩道が整備されていない。自転車通学をしているが、道路がボコボコで危ない。道路は東員町より悪いと思う。	朝明高校/2年
防災対策【2件】	
災害のことを知らない市民が多いのではないか。沿岸部に祖父が住んでいますが、万一の際、きちんと逃げられるか心配である。もっと防災についての情報を市民に知らせる必要がある。	四日市高校/2年
巨大地震の発生が予想されているが、学校に居るときに緊急地震速報が鳴ったが、机の下に隠れるなどの備えを全くせずに平気な顔をしている人が男子に多く、防災意識が非常に低いと感じた。	四日市高校/2年
防犯対策【9件】	
事件や事故のない安全に過ごせるまちに住みたい。そのためには他の地域とのコミュニケーションを深めること、防犯対策として路地裏に街灯を付けること、自動車や自転車から死角になる場所をなくすことが必要だと思う。自転車通学をしているが、坂道に街灯が少ないと思う。	四日市四郷高校/2年
大人向けのお店の客引きが多く、高校生でも声をかけられてしまう。安心して暮らせるまちとは言えず、イメージが悪い。	四日市西高校/2年
20年前に比べると、夜に喧嘩している人を見かけなくなってしまっており、治安が良くなつたというイメージがある。	北星高校/3年
治安が良く明るいまちなら住みたいと思う。四日市は治安が悪いという訳ではないが、保々のあたりは街灯が少なくて暗いので、中心市街地なみに明るいと住みやすくなる。	朝明高校/2年
住民同士の交流がある地域は、犯罪が少なくなり、犯罪が少なくなれば、子ども安心して遊ぶことができるなど、安心して子育てできるまちになると思う。	四日市商業高校/2年
高校生の自分から見ると、四日市のまちは、昼はシャッター街となっていて、女性にとっては少し怖い感じがして歩きにくい。昼はまだ良いが、最近は夜になると、高校生なのに居酒屋の客引きに声をかけられることがあり、行きづらいまちになっている。	四日市商業高校/2年
10年後に働いたり、子どもを育てたりすることを考えると、安全・安心に暮らせるかどうかは住まいを選ぶポイントになる。駅がきれいだと嬉しい。四日市市は夜の治安が悪いイメージがあるので街灯を増やしてほしい。	川越高校/2年
夜道を明るくしてほしい。さらに、バリアフリー化を進めて子どもや高齢者に優しいまちであれば、自分も住みたいと思う。	桑名北高校/2年

交通が安全なまちがいい。通学路に街灯が少なく、灯りは自転車のライトだけである。不審者情報もあり、小さい子供や女性がよく使う道には、安全のためにも街灯は必要だと思う。また、トラックが狭い道を抜け道として利用していてぶつかりそうになる。	四日市中央工業高校/2年
--	--------------

④ 子育て・福祉・健康・地域コミュニティ 【15件】

子育て環境の充実【3件】	
幼稚園や保育園の数を増やし、待機児童を減らしてほしい。 保育園に入れない子が全員入れるようになると、若い人も安心できる。	四日市商業高校/2年
働きながら子育てする人も多いことから、企業の中の託児所を増やして、子連れ出勤がしやすいようにするといいのではないか。	桑名高校/1年
保育士の待遇改善を行ってほしい。資格を持っていても働いていない人や、退職した方の働く場所として企業内託児所を活用するのもよいと思う。	桑名高校/1年
福祉・地域での支え合い【6件】	
一宮市には「たんぽぽ温泉」というデイサービス施設があり、リハビリやお手伝いするとポイントが貯まり、楽しみながら元気になれる仕組みで効果を上げている。そのアイデアを利用して、健康に良いことをしてポイントを貯め、商店街で買い物できるようにすれば、高齢者も元気になるのではないか。	桑名高校/1年
小さい頃はご近所同士でご飯をおすそ分けする地域社会であったが、最近は田んぼに家がどんどん建ち、近くに誰が住んでいるかも分からず。お互いを知ることが助け合いや活気づくりにつながるため、地域交流が進むようイベントを行ったり、場所を確保できるよう協力してはどうか。小さい子供を持つ母親の助けにもなる。	四日市南高校/2年
子どもからお年寄りまでが住みやすい環境を整えてほしい。具体的には、高齢者向けの施設や介護サービスの充実、介護と仕事を両立できる環境づくり、子育てのための休日保育サービスや地域での見守りの充実などが望まれる。	暁高校(6年制)/2年
現在、福祉を勉強しているが、福祉を通して住んでいる人が幸せになるといい。どんな人も安心して住めるまち、笑顔があふれるまちになってほしい。	朝明高校/2年 桑名市
シェアハウスのような人と人とがつながれる場所が欲しい。近所の人同士が気軽に話ができるまちになれば、一人暮らしの高齢者や独身者でも暮らしやすく孤独死もなくなるし、自分も住みたいと思う。	桑名北高校/2年
市民の4人に一人が65歳以上の高齢者だが、10年後はさらに増える。家の近所もみんな高齢者ばかりなので、世代を超えて、お互いに励ましあい、助け合うことができるような世代間のつながりのあるまちになってほしい。	海星高校/2年
健康づくり【3件】	
中心市街地での歩きたばこが多い。副流煙の問題もあるし、未成年は嫌な思いをするので禁止を強化してほしい。	四日市工業高校/2年

みんなが 10 年後も健康でありつづけるためには、運動することが大切だと思う。高齢になるほど運動をしなくなるので、いかに運動するかが重要になる。ラジオ体操ならば高齢者も気楽にできるので、みんなで集まってラジオ体操を行うなど、高齢者も集まって運動できる場を増やす必要がある。	海星高校/ 2年
インフルエンザの時期は、病院の待ち時間が長くなってしまう。患者が多くなる時は、土日に診療している診療所を増やしてもらいたい。	四日市商業高校/ 2年
まちのバリアフリー化【2件】	
高齢になっても住み続けられるようになるために、バリアフリーのまちづくりを充実してほしい。	海星高校/ 2年
バリアフリーのまちについて、私自身コルセットをつけており、トイレに行く時にコルセットを置くところが無くて困っている。トイレにコルセットを置けるような台を設置してほしい。	桑名高校/ 1年
ひとり親世帯の支援【1件】	
自分の家は母子家庭だが、おじの一軒家に住んでいるので、母子家庭の手当がもらえない。手当をもらうためにアパートに引っ越すという話も出ている。もう少し柔軟に対応してもらえると救われると母も言っている。	四日市四郷高校/ 2年

⑤ 文化・スポーツ・多文化共生 【6件】

文化の振興【2件】	
文化度、清潔さ、交通のよきが大事だと思う。喫茶店に行くと、よく高齢者が四日市は文化度が低いと話をしている。博物館も当初は国宝を呼んでいたが、今は萬古焼や昭和の暮らしといった内容ばかりなので、もっとイベントに力を入れるべき。東京では、ヨガ、ビアガーデン、映画とコラボした面白いイベントを行っている。コンサートや落語会などの文化イベントとまちとのコラボもすればイベントのPRにもつながる。四日市にも寺社などの良い資源があるのであってほしい。	四日市メリノール学院高校/ 2年
プラネタリウムもギネスに登録されているわりには、いつも人がいない。楽しい解説にしたり、博物館などとのコラボしたり等もっと人目を引くよう工夫すべきだと思う。	四日市メリノール学院高校/ 2年
スポーツの振興【3件】	
スポーツが大好きだが、できる場所が少ないので、スポーツ施設を整備してほしい。そうすることで、スポーツ人口が増え、市民の健康づくりにもつながる。	四日市西高校/ 2年
スポーツのプロチームをつくり、地域の活性化や市のPRなどに活用してはどうか。県内外からファンが来てくれるし、子ども達が選手になることを夢見てスポーツに取り組むことが考えられる。	四日市工業高校/ 2年
自然やスポーツも大切だと思う。みんなが参加できるスポーツイベントがあるといい。	朝明高校/ 2年

多文化共生【1件】

高校生になって戻るまで4年ほど四日市を離れていたが、外国人が増えたと感じる。近鉄四日市駅周辺で外国人の居住者から声をかけられることがある。多くの場合は道案内なので、多言語の標識などを設置してはどうか。

四日市西高校/
2年

(2) 学校別選択テーマ

①皆さん、「今」身近な暮らしの中で困っていることは何ですか。その課題について、自分たちならこんなことができる！という提案はありますか。

高校名	提案の概要
海星高校	<ul style="list-style-type: none"> 通学で通る堤防道路には街灯が無く、いつ事故が起きてもしかたがない状況にある。そこで、周辺の企業に早めのライト点等を啓発するなど協力を働きかけたらどうか。自分たちも啓発ポスターを作って呼びかけることができると思う。 地元の自治会の人にも危険性を認識してもらい、蛍光塗料で道路上にラインを引くなどの対策を講じる必要がある。
桑名高校	<ul style="list-style-type: none"> 多くの国からの外国人が増え、言葉も多様化していることから、ごみ出しのルールなどが理解されていない。多言語で表示した看板、チラシなどを充実して外国人にも知らせることが必要である。 言葉で通じないとすぐ違ったままとなる。お互いに気持ちが通じ合うような多文化共生のまちとすることが重要である。
北星高校	<ul style="list-style-type: none"> 若い人は長島や名古屋などに遊びに行くがことが多く、交通費が負担となっている。まちを盛り上げるために自分たちができるることは多くあると思うが、市内に若い人が楽しめる場所があると、市外からも若い人が集まり、まちは盛り上がる。現状では、イオンには行くが、四日市には遊びに来ない。 JR四日市駅周辺は、他の都市の駅前に比べてさびしい。若い人向けの気軽に遊べ、服が買える店が増えれば、まちも変わっていくと思う。
四日市高校	<ul style="list-style-type: none"> 自転車を通学しているが、通学路の道端に、たばこの吸い殻や空き缶が捨ててあって目に付く。ごみが一つ捨ててあると、そこにごみ捨てる人が出てきて、またごみが増えるという状況になっている。みんなが気付いたら、通学ついでの感覚でごみ拾うこともできる。 まちなかにごみ箱が少ない。ごみ箱が無いので捨ててしまう人もいるのではないか。ごみ箱を増やせば、ごみ捨てる人も少なくなるのではないか。
朝明高校	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便の悪さに困っている。学校への通学は三岐電車が1時間に1本と少なく、駅からも徒歩30分なので、バスや電車を増やしてほしい。 学校のある保々地区も、交通が便利になればコミュニティも活性化され、住民の行動範囲も広がると思う。

高校名	提案の概要
四日市中央工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した時の避難場所を知らない人が多く、防災訓練が定着していないと感じる。市民の防災意識が低く、特に外から来た人たちは訓練に参加しない。避難場所で祭やイベントを開催するなど、日頃から防災の意識付けを行い、自然に防災意識が高まるような工夫をするといいと思う。
西日野にじ学園高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地や幹線道路沿いには大人の娯楽（パチンコ店など）が多いので、治安が心配である。大人も子どもも安心して入れる文化的な店が増えてほしい。 ・中心市街地だけではなく、各地区にも書店があつてほしい。

②四日市の中心市街地（近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅にかけて）を元気にするためのアイデアはありますか？

高校名	提案の概要
四日市商業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか文化祭や親子買物イベント、四日市産のお茶による商品開発などを通じて、様々なイベントを先輩たちが行ってきた。イベント時は活況であるものの、終わった後は閑散としてしまうので、イベントに頼らない活性化が必要だと感じた。 ・商店街でシャッターが閉まっている空き店舗を市が借りて、若い人に貸してはどうか。いろんなジャンルの店が増えれば、イベントが無くても人が集まるし、四日市の特産品を販売すれば、市外からも来訪者が集まるようになり、活気が生まれるのではないか。
四日市工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市にはイオン桑名と長嶋アウトレットが、鈴鹿市にはベルシティがあるように、若者から高齢者まであらゆる世代が買い物と遊びを楽しめる大規模なショッピングモールを四日市にも誘致してほしい。また、川越にはラウンドワンがあり羨ましい。 ・駅前人が増えたと思うが、朝の雰囲気が暗いので、中高生を中心となって「朝のあいさつ運動」を展開してはどうか。 ・市民運動会やマラソン大会、地区別対抗駅伝大会など、市民が自然と元気になれるイベントを開催してはどうか。年代別競技、市内の高校や中学の部活動との連携を図ることで、普段は交流が無くても盛り上がると思う。 ・観るスポーツの観点から、プロスポーツチームを誘致してはどうか。優勝した際にパレードを行うことで、市民の盛り上がりを促すといいのではないか。

高校名	提案の概要
川越高校	<ul style="list-style-type: none"> 商店街が中心市街地にあるので、若者向けのファッショナブルのお店、主婦や高齢者向けの喫茶店などを増やさないともったいないと思う。 空き店舗を安く貸すことで、経済力の弱い若者にビジネスのチャンスを与え応援する仕組みづくり、特産品を活用したPRなどに取り組むとともに、高校生が主催するフリーマーケットなどの行事・イベントを考えはどうか。
四日市西高校	<ul style="list-style-type: none"> 商店街のイベントの多くはお酒に関連するもので、昼間開いているお店には効果がない。家族で楽しめるようなイベントを企画・開催してはどうか。
四日市メリノール学院高校	<ul style="list-style-type: none"> 四日市はまだまだ公害のイメージが強く、市外から来た人は公害のまちという。外から人に来てもらうにはイメージをよくする必要がある。 四日市には夜景があるので、夜のイメージを良くしたい。夜景とコラボした夜市を開催すれば、四日市の名物になる。クルーズ船とコラボしてもよいと思う。夜景+夜市で売りにすればどうか。いつ訪れても楽しめる場所が必要だと思う。
四日市四郷高校	<ul style="list-style-type: none"> 四日市には和菓子の店が多いので、和菓子で活性化したらどうか。例えば、和菓子コンテストを実施して、来市者に投票してもらうなど、市の魅力広げていけば、様々な交流も深められると思う。

③人生100年時代と言われていますが、文化・スポーツや生涯学習、市民活動等を通して四日市でこれからも元気に楽しく過ごしていくために、どのような取組みがありますか。

高校名	提案の概要
四日市南高校	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりの希薄化対策として、豊中市のような見守り隊をつくってはどうか。地区・町単位のつながりを強めることで、高齢者への声かけや災害時等の安否の確認ができるようになり、一人でも多くの命を救うことができる。 幼稚園と老人ホームを一体化した幼老複合施設を設置して、世代間のギャップの交流を促進してはどうか。 四日市の郷土料理を地区単位で広め、それを発展させてB1グランプリのようなイベントを開催し、ふるまつてはどうか。 四日市市の駅前のイルミネーションは、きれいで魅力がある。各地区でイルミネーションコンテストを行えば更に盛り上がるのではないか。 地区単位でスポーツ大会を開催したり、有名選手を呼んで地元の選手との交流や指導を行ったりして、スポーツを盛り上げる。 以上のような取組によって、人生100年にわって全世代活躍社会をめざす。そのために、高校生一人一人がこれらの課題に向き合っていく必要がある。

高校名	提案の概要
暁高校（3年制）	<ul style="list-style-type: none"> 選挙について、投票率の向上が全国的に課題となっている。解決策として、投票した人にティッシュやヤクルトを配るということも考えたが、期日前投票制度もある中、投票に行けない理由はないため、むしろ、一部の外国で導入されている罰金制度を検討してはどうか。 産業都市としての四日市市の特性を考えると、市が企業や農業に投資をすることを検討してはどうか。それにより、企業等は信用力を高めることができ、外国人を含めた雇用の確保につながり、ひいては市税のアップも期待できる。
暁高校（6年制）	<ul style="list-style-type: none"> 東芝メモリの立地で随分人が増えたと思う。新名神の開通など広域的な交通利便性を活かして、コストコやららぽーとなどの大規模商業施設を誘致したり、物流の拠点を配置したりしてはどうか。 最先端の設備が整った大学があるとよい。大学や研究機関と連携し、四日市に住みながら高度で新しい研究開発ができ、社会に貢献できるという点で、産業環境の強化も考えられるのではないか。 国体開催を機にスポーツへの意識が高まる。競技場と日々のスポーツ活動場所を整備することにより、健康づくりに取り組む市民が増えるのではないか。 高校生クイズを誘致するなど四日市市内の高校同士の交流を積極的に行ってはどうか。市議会の高校生議会が定期的に行われることもよい。
桑名北高校	<ul style="list-style-type: none"> 新図書館の整備にあたり、いくつか提案を考えた。仕事や部活帰りの人々が夜遅くに使えるよう、例えば、24時間365日開いている図書館。ゆとりあるスペースが確保されていて、立ち読みしやすい図書館。市民が不要になった本を持ち寄り、リユースできるコーナーの設置。話している場所と静かな場所の分離。お泊り会などのイベント開催、本棚のすぐ近くに腰掛けがあるなど。 高齢者が社会とのかかわりを持ち続けられるように、小学校の体育館を活用したレクリエーションを行ってはどうか。 東京では、空き家を改良して若者に安く貸すホームシェアという取組がある。高齢者の収入にもつながるので行ってみてはどうか。